



滋賀県立大学 2022年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110121	英語	A (活性化コース)	(人文)	木村 紀子	前期	・ ・ ・	1
1110122	英語	B (活性化コース)	(人文)	木村 紀子	後期	・ ・ ・	3
1110131	英語	A (活性化コース)	(人文)	Matthew Thornton	前期	・ ・ ・	5
1110132	英語	B (活性化コース)	(人文)	Matthew Thornton	後期	・ ・ ・	7
1110141	英語	A (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	9
1110142	英語	B (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	11
1110151	英語	A (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	13
1110152	英語	B (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	15
1110161	英語	A (活性化コース)	(人文)	森田 真	前期	・ ・ ・	17
1110162	英語	B (活性化コース)	(人文)	森田 真	後期	・ ・ ・	19
1110331	英語	A (応用コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	・ ・ ・	21
1110332	英語	B (応用コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	・ ・ ・	23
1110341	英語	A (応用コース)	(人文)	真島 アマンダ	前期	・ ・ ・	25
1110342	英語	B (応用コース)	(人文)	真島 アマンダ	後期	・ ・ ・	27
1110351	英語	A (応用コース)	(人文)	Ashley Stevens	前期	・ ・ ・	29
1110352	英語	B (応用コース)	(人文)	Ashley Stevens	後期	・ ・ ・	31
1110361	英語	A (応用コース)	(人文)	Alexandra Jane Burke	前期	・ ・ ・	33
1110362	英語	B (応用コース)	(人文)	Alexandra Jane Burke	後期	・ ・ ・	35
1110371	英語	A (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	37
1110372	英語	B (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	後期	・ ・ ・	39
1110531	英語	A (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	41
1110532	英語	B (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	43
1110541	英語	A (充実コース)	(人文)	真田 満	前期	・ ・ ・	45
1110542	英語	B (充実コース)	(人文)	真田 満	後期	・ ・ ・	47
1110551	英語	A (充実コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	・ ・ ・	49
1110552	英語	B (充実コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	・ ・ ・	51
1110561	英語	A (充実コース)	(人文)	Janeth Hori	前期	・ ・ ・	53
1110562	英語	B (充実コース)	(人文)	Janeth Hori	後期	・ ・ ・	55
1110571	英語	A (充実コース)	(人文)	Christopher Garth	前期	・ ・ ・	57
1110572	英語	B (充実コース)	(人文)	Christopher Garth	後期	・ ・ ・	59
1110741	英語	A (展開コース)	(人文)	西堀 彰子	前期	・ ・ ・	61
1110742	英語	B (展開コース)	(人文)	西堀 彰子	後期	・ ・ ・	63
1110751	英語	A (展開コース)	(人文)	Ashley Stevens	前期	・ ・ ・	65
1110752	英語	B (展開コース)	(人文)	Ashley Stevens	後期	・ ・ ・	67
1110761	英語	A (展開コース)	(人文)	近藤 佑樹	前期	・ ・ ・	69
1110762	英語	B (展開コース)	(人文)	近藤 佑樹	後期	・ ・ ・	71
1110771	英語	A (展開コース)	(人文)	真島 アマンダ	前期	・ ・ ・	73
1110772	英語	B (展開コース)	(人文)	真島 アマンダ	後期	・ ・ ・	75
1110781	英語	A (展開コース)	(人文)	坂本 輝世	前期	・ ・ ・	77
1110782	英語	B (展開コース)	(人文)	坂本 輝世	後期	・ ・ ・	79
1120505	英語	A (国際a)	山本 薫	前期	・ ・ ・	81	
1120506	英語	B (国際a)	中谷 博美	前期	・ ・ ・	83	
1120507	英語	A (国際b)	山本 薫	前期	・ ・ ・	85	
1120508	英語	B (国際b)	中谷 博美	前期	・ ・ ・	87	
1120515	英語	A (国際a)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	89	
1120516	英語	B (国際a)	Alexandra Jane Burke	前期	・ ・ ・	91	
1120517	英語	A (国際b)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	93	
1120518	英語	B (国際b)	Alexandra Jane Burke	前期	・ ・ ・	95	
1120525	英語	A (国際a)	Antonija Cavcic	前期	・ ・ ・	97	
1120526	英語	B (国際a)	坂本 輝世	前期	・ ・ ・	99	
1120527	英語	A (国際b)	Antonija Cavcic	前期	・ ・ ・	101	
1120528	英語	B (国際b)	坂本 輝世	前期	・ ・ ・	103	
1120535	英語	A (国際a)	真島 アマンダ	後期	・ ・ ・	105	
1120536	英語	B (国際a)	坂本 輝世	後期	・ ・ ・	107	
1120537	英語	A (国際b)	真島 アマンダ	後期	・ ・ ・	109	
1120538	英語	B (国際b)	坂本 輝世	後期	・ ・ ・	111	
1120541	ドイツ語	A (国際)	吉村 淳一	前期	・ ・ ・	113	
1120542	ドイツ語	B (国際)	Anja Sliwa	前期	・ ・ ・	115	
1120551	ドイツ語	A (国際)	吉村 淳一	後期	・ ・ ・	117	
1120552	ドイツ語	B (国際)	Anja Sliwa	後期	・ ・ ・	119	
1120561	フランス語	A (国際)	長谷川 拓彌	前期	・ ・ ・	121	
1120562	フランス語	B (国際)	Gilles Fernandez	前期	・ ・ ・	123	
1120571	フランス語	A (国際)	長谷川 拓彌	後期	・ ・ ・	125	
1120572	フランス語	B (国際)	Gilles Fernandez	後期	・ ・ ・	127	
1120581	中国語	A (国際)	Borjigin Burensain	前期	・ ・ ・	129	
1120582	中国語	B (国際)	呉 凌非	前期	・ ・ ・	131	
1120591	中国語	A (国際)	Borjigin Burensain	後期	・ ・ ・	133	
1120592	中国語	B (国際)	呉 凌非	後期	・ ・ ・	135	
1120601	朝鮮語	A (国際)	河 かおる	前期	・ ・ ・	137	
1120602	朝鮮語	B (国際)	松井 聖一郎	前期	・ ・ ・	139	
1120611	朝鮮語	A (国際)	河 かおる	後期	・ ・ ・	141	
1120612	朝鮮語	B (国際)	松井 聖一郎	後期	・ ・ ・	143	
1120620	リーディング(中級)	a	Antonija Cavcic	後期	・ ・ ・	145	
1120621	リーディング(中級)	b	Antonija Cavcic	後期	・ ・ ・	147	
1120632	Integrated English	a	Peter Sterlacci	前期	・ ・ ・	149	

1120633	Integrated English b Peter Sterlacci	前期	151
1120640	リスニング(中級) a 吉田 悦子	前期	153
1120641	リスニング(中級) b 吉田 悦子	前期	155
1120653	Introduction to Discussion & Debate a Martin Hawkes	前期	157
1120654	Introduction to Discussion & Debate b Martin Hawkes	前期	159
1120675	Essay Writing John Rippey	後期	161
1120686	Intermediate Academic English John Rippey	前期集中	163
1120695	Advanced Academic English I Martin Hawkes	後期	165
1120705	Advanced Academic English II John Rippey	後期	167
1120715	English for Business Fuisting Bjorn	前期集中	169
1120725	English in Media 吉田 悦子	後期	171
1130090	情報リテラシー(情報倫理を含む)(人文a) 山本 洋紀	前期	173
1130100	情報リテラシー(情報倫理を含む)(人文b) 亀田 彰喜	前期	175
1130110	情報リテラシー(情報倫理を含む)(人文c) 山本 洋紀	前期	177
1130120	情報リテラシー(情報倫理を含む)(人文d) 亀田 彰喜	前期	179
1130200	情報科学概論(人文b) 亀田 彰喜	後期	181
1130210	情報科学概論(人文a) 山本 洋紀	後期	183
1130220	情報科学概論(人文c) 山本 洋紀	後期	185
1130230	情報科学概論(人文d) 亀田 彰喜	後期	187
1150391	人間探求学(国際コミュニケーション) 学科教員	前期	189
1201180	経済学(国際経済を含む) 村上 一真	前期	191
1203110	法学概論(国際法を含む) 坂田 雅夫	前期	193
1400013	Discussion & Debate Peter Sterlacci	前期	195
1400014	Academic Writing Martin Hawkes	後期	197
1400057	アジア文化特論A Borjigin Burensain	後期	199
1400058	アジア文化特論B 河 かおる	前期	201
1400059	アジア文化特論C 間 永次郎	前期	203
1400061	アジア文化論A Borjigin Burensain	前期	205
1400062	アジア文化論B 河 かおる	後期	207
1400063	アジア文化論C 間 永次郎	前期	209
1400064	アジア文化論D 棚瀬 慈郎	後期	211
1400072	移民社会論A 窪田 暁	前期	213
1400073	移民社会論B	前期集中	215
1400074	移民社会論C 河 かおる	後期	217
1400091	English Lecture A Martin Hawkes	後期	219
1400092	English Lecture B Martin Hawkes	前期	221
1400093	English Lecture C Antonija Cavcic	前期	223
1400094	English Lecture D 吉田 悦子	後期	225
1400095	English Lecture E John Rippey	前期	227
1400096	English Lecture F Antonija Cavcic	後期	229
1400097	English Lecture G 間 永次郎	後期	231
1400102	英語学概論 中谷 博美	後期	233
1400103	英語文献講読A 棚瀬 慈郎	前期	235
1400104	英語文献講読B 棚瀬 慈郎	後期	237
1400107	英米文学概論 山本 薫	前期	239
1400108	英米文学講読 山本 薫	後期	241
1400221	欧米文化特論A 吉村 淳一	後期	243
1400222	欧米文化特論B	後期	245
1400223	欧米文化特論C 山本 薫	後期	247
1400224	欧米文化特論D John Rippey	前期	249
1400225	欧米文化論A 吉村 淳一	前期	251
1400226	欧米文化論B 長谷川 拓彌	後期	253
1400227	欧米文化論C 山本 薫	後期	255
1400228	欧米文化論D Antonija Cavcic	後期	257
1400261	海外留学 学科教員	通年	259
1400262	開発人類学	後期	261
1400361	環琵琶湖文化論実習(国際) 学科教員	通年	263
1400421	基礎演習(国際コミュニケーション) 学科教員	前期	265
1400422	基礎演習(国際コミュニケーション) 学科教員	後期	267
1400611	研究演習(国際コミュニケーション) 学科教員	前期	269
1400612	研究演習(国際コミュニケーション) 学科教員	後期	271
1400632	言語接触論 吳 凌非	前期	273
1400633	現代英文法 吉田 悦子	前期	275
1400634	英語学基礎 吉田 悦子	前期	277
1400635	日本語教育基礎 安本 博司	前期集中	279
1400685	国際社会論	前期	281
1400861	国際関係論 今西 貴夫	後期集中	283
1400911	サブカルチャー交流論 金 悠進	前期	285
1400965	英語E-learning A Martin Hawkes	後期集中	287
1400966	英語E-learning B John Rippey	前期集中	289
1400967	英語E-learning C Antonija Cavcic	後期集中	291
1400981	Introduction to Academic English John Rippey	前期	293
1400985	Debating Global Issues	前期集中	295
1401720	政治経済学	後期	297
1401759	西洋史 村上 司樹	後期	299
1401826	卒業研究・論文(国際コミュニケーション) 学科教員	前期研究	301
1401828	卒業研究・論文(国際コミュニケーション) 学科教員	後期研究	303
1401865	多文化社会論A 河 かおる	前期	305
1401866	多文化社会論B Borjigin Burensain	後期	307
1402061	チベット語基礎 棚瀬 慈郎	前期	309

1402062	チベット語基礎	棚瀬 慈郎	後期	...	311
1402081	中国語コミュニケーション	A Borjigin Burensain	後期	...	313
1402082	中国語コミュニケーション	B 呉 凌非	後期	...	315
1402083	中国語コミュニケーション	A Borjigin Burensain	前期	...	317
1402084	中国語コミュニケーション	B 呉 凌非	前期	...	319
1402087	中国語留学対策	呉 凌非	前期	...	321
1402151	朝鮮語コミュニケーション	A 崔 眞善	後期	...	323
1402152	朝鮮語コミュニケーション	B 松井 聖一郎	後期	...	325
1402153	朝鮮語コミュニケーション	A 河 かおる	前期	...	327
1402154	朝鮮語コミュニケーション	B 松井 聖一郎	前期	...	329
1402157	朝鮮語留学対策	崔 眞善	前期	...	331
1402203	通訳ガイド講座	石井 隆之	前期	...	333
1402281	ドイツ語コミュニケーション	A 吉村 淳一	後期	...	335
1402282	ドイツ語コミュニケーション	B Anja Sliwa	後期	...	337
1402283	ドイツ語コミュニケーション	A 吉村 淳一	前期	...	339
1402284	ドイツ語コミュニケーション	B Anja Sliwa	前期	...	341
1402287	ドイツ語留学対策	Anja Sliwa	前期	...	343
1402540	人間文化論A	中井 直也	前期	...	345
1402550	人間文化論B	櫻井 悟史	後期	...	347
1402560	人間文化論C	宮本 雅子	後期	...	349
1402621	発展演習	学科教員	前期	...	351
1402622	発展演習	学科教員	後期	...	353
1402624	Public Speaking	John Rippey	前期	...	355
1402901	フランス語コミュニケーション	A 長谷川 拓彌	後期	...	357
1402902	フランス語コミュニケーション	B Gilles Fernandez	後期	...	359
1402903	フランス語コミュニケーション	A 長谷川 拓彌	前期	...	361
1402904	フランス語コミュニケーション	B Gilles Fernandez	前期	...	363
1402907	フランス語留学対策	Gilles Fernandez	前期	...	365
1402960	文化人類学概論[文化人類学概論A]	棚瀬 慈郎	後期	...	367
1402980	文化人類学特論	棚瀬 慈郎	前期	...	369
1402991	ポストコロナ論	間 永次郎	後期	...	371
1402992	翻訳文化論	呉 凌非	後期	...	373
1403051	モンゴル語コミュニケーションA	[モンゴル語コミュニケーション A]	高橋 梢	...	375
	後期			...	377
1403052	モンゴル語コミュニケーションB	[モンゴル語コミュニケーション B]	高橋 梢	...	379
	前期			...	381
1403063	ウイグル式モンゴル文字史料講読	[モンゴル語史料講読]	後期	...	383
1403075	比較宗教論	間 永次郎	後期		
1403300	国際文化論	間 永次郎	前期		

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	木村 紀子
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業の目的は、英語の話を聴き取る、読み取る、書く、話す技術を伸ばすことである。具体的には、身近な話題についての話を聴いて、ノートを取り、それに関する英文を読み、まとめや意見を書き、発表する技術を伸ばすことである。

到達目標

- (1) 英語の語彙の意味を理解して、使用することができる。
- (2) 英語の話を聴いて理解し、ノートを取ることができる。
- (3) 英文を読んで、主旨を理解することができる。
- (4) まとめや意見を、英語で書くことができる。
- (5) まとめや意見を、英語で発表することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	10%	到達目標(1)～(4)について、試験を行う。
レポート課題		
上記以外	90%	到達目標(1)～(4)について、毎回の小テストと宿題を評価する。(60%) 到達目標各項目について、発表、授業中の活動・提出物を評価する。(20%) 到達目標(1)～(4)について、到達確認テストを行う。(10%)

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。
評価に関する重要な事柄が、初回の授業で説明されるので、必ず出席する必要がある。

授業外学習

毎回、宿題と小テストへの備えをする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 1 (Fourth Edition)	Helen Solorzano & Laurie Frazier	Pearson	978-0-13-440064-8
2				
3				

教科書は、新品(オンライン・リソース・アクセス・コードが未使用のもの)を購入しておき、必ず初回授業に持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	木村 紀子
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業の目的は、英語の話を聴き取る、読み取る、書く、話す技術を伸ばすことである。具体的には、身近な話題についての話を聴いて、ノートを取り、それに関する英文を読み、まとめや意見を書き、発表する技術を学ぶことである。

到達目標

- (1) 英語の語彙の意味を理解して、使用することができる。
- (2) 英語の話を聴いて理解し、ノートを取ることができる。
- (3) 英文を読んで、主旨を理解することができる。
- (4) まとめや意見を、英語で書くことができる。
- (5) まとめや意見を、英語で発表することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	10%	到達目標(1)～(4)について、試験を行う。
レポート課題		
上記以外	90%	到達目標(1)～(4)について、毎回の小テストと宿題を評価する。(60%) 到達目標各項目について、発表、授業中の活動・提出物を評価する。(20%) 到達目標(1)～(4)について、到達確認テストを行う。(10%)

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。
評価に関する重要な事柄が、初回の授業で説明されるので、必ず出席する必要がある。

授業外学習

毎回、宿題と小テストへの備えをする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 1 (Fourth Edition)	Helen Solorzano & Laurie Frazier	Pearson	978-0-13-440064-8
2				
3				

教科書は、前期に新品(オンライン・リソース・アクセス・コードが未使用のもの)を購入して使用していたものを、引き続き初回授業から使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	Matthew Thornton
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

The purpose of this class is to cultivate various skills in English through activities based about topics of the selected TED talks. We will spend two classes per Unit in our textbook, covering the first half of the book. The students will give one presentation in front of class, turn in various short writing assignments, and take quizzes for each Unit. Please keep in mind that the class will take place entirely in English.

到達目標

1) By the end of the semester, you will be able to further reach the A2/B1 range (CEFR standard) in all four skills of English language. 2) You will have familiarized yourself with various ideas offered by TED talks, to further your learning on your own in the future.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% - Class participation
30% - Quizzes
25% - Writing assignments

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage Learning	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	Matthew Thornton
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

The purpose of this class is to cultivate various skills in English through activities based about topics of the selected TED talks. We will spend two classes per Unit in our textbook, covering the first half of the book. The students will give one presentation in front of class, turn in various short writing assignments, and take quizzes for each Unit. Please keep in mind that the class will take place entirely in English.

到達目標

1) By the end of the semester, you will be able to further reach the A2/B1 range (CEFR standard) in all four skills of English language. 2) You will have familiarized yourself with various ideas offered by TED talks, to further your learning on your own in the future.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% - Class participation
30% - Quizzes
25% - Writing assignments

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage Learning	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

デザインについて英語でコミュニケーションできるように練習します。

英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)があります。期末テストの他に英文の暗唱テストを行います。

なお状況によりシラバスは変更になりますのでご了承ください。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

学期末に英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません、自分で管理してください)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストが絶版のためプリントを使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	This Means This, This Means That Second Edition: A User's Guide to Semiotics	Sean Hall	Laurence King Publishing	9781856697354
2				
3				

テキストとして使用する書籍のKindle版です。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

デザインについて英語でコミュニケーションできるように練習します。

英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)があります。期末テストの他に英文の暗唱テストを行います。

なお状況によりシラバスは変更になりますのでご了承ください。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

学期末に英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません、自分で管理してください)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストが絶版のためプリントを使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	This Means This, This Means That Second Edition: A User's Guide to Semiotics	Sean Hall	Laurence King Publishing	9781856697354
2				
3				

テキストとして使用する書籍のKindle版です。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

この授業では、TOEIC受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習 (予習・復習) をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度 (授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度 (授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど) の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない) 2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったリスニング活動とそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	TOEIC L&R 出る単語特急金のフレーズ		朝日新聞出版	
3	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/映画 Roman Holiday(1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など				90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容を理解して次回の
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から							
TOEIC受験に向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して、課題にも積極的に取り組んでしっかりと英語力を身につけてください。							

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

この授業では、TOEIC受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習 (予習・復習) をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度 (授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったリスニング活動とそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	TOEIC L&R 出る単語特急金のフレーズ		朝日新聞出版	
3	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/映画 Roman Holiday(1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など				90分	指定された教科書を手にしておく ガイダンスの内容を理解して次回の
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から							
TOEIC受験に向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して、課題にも積極的に取り組んでしっかりと英語力を身につけてください。							

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	森田 真
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業では、リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの英語の4技能の向上を目指します。コミュニケーションは身近なトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の考えや意見を述べることや相手の話を理解し質問をする練習をします。また、英語的な表現で自分の考え、意見が述べられるように英作文を行い、その作文を基に会話を進めていきます。そして、基礎文法をしっかりと身につけて英語の理解力をのばします。さらにスキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、CDとそのスクリプトを使ったリスニング練習も行います。

到達目標

- (1) 日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
- (2) 英文読解の方法を知り、英文が速く正確に読めるようになる。
- (3) 基礎文法をしっかりと身につけて、正しい文法で文章を書くことができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30	英作文のレポート (15%) や小テスト (15%) などの課題。
上記以外	20	授業に参加する積極的な態度 (授業内の発言やペアワーク・グループワークに自発的に取り組む)

授業の3分の1以上 (5回以上) 欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NEW CONNECTION BOOK 2	Teruhiko Kadoyama etc	SEIBIDO	9784791934126
2				
3				

教科書は必ず購入してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	森田 真
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業では、リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの英語の4技能の向上を目指します。コミュニケーションは身近なトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の考えや意見を述べることや相手の話を理解し質問をする練習をします。また、英語的な表現で自分の考え、意見が述べられるように英作文を行い、その作文を基に会話を進めていきます。そして、基礎文法をしっかりと身につけて英語の理解力をのばします。さらにスキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、CDとそのスクリプトを使ったリスニング練習も行います。

到達目標

- (1) 日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
- (2) 英文読解の方法を知り、英文が速く正確に読めるようになる。
- (3) 基礎文法をしっかりと身につけて、正しい文法で文章を書くことができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30	英作文のレポート (15%) や小テスト (15%) などの課題。
上記以外	20	授業に参加する積極的な態度 (授業内の発言やペアワーク・グループワークに自発的に取り組む)

授業の3分の1以上 (5回以上) 欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NEW CONNECTION BOOK 2	Teruhiko Kadoyama etc	SEIBIDO	9784791934126
2				
3				

教科書は必ず購入してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms
- 2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms
- 2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the spring semester covers the following topics: Hometown, music, books, and family.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
- (2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
- (3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

We will continue to develop the skills that were practiced in the spring semester.

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the fall semester covers the following topics: Travel, school, food, and friends.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
- (2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
- (3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will get an all-English listening and speaking experience through studying world cultures via a text, interactive activities and multimedia including quizzes. This goal of this course is to build skills and confidence in students to use English in social, research and work situations. Classes will follow the textbook in the order given below. Tasks will include geography, vocabulary building, grammar in context, dictation, reading comprehension, summarising, retelling, analysis and spoken interviews. Regular homework will be assigned. It is also expected that students will read upcoming units in advance.

到達目標

The instructional emphasis will be on communication on themes drawn from the textbook as well as current events. Students will: (1) develop their critical thinking skills using English on issues in Japan and internationally, (2) be able to use new vocabulary in speaking and writing. (3) be able to work independently outside of class and work together cooperatively inside class. (4) be able to gain confidence in using English pitch intonation, word & sentence stress.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	A solo presentation and a 2-way discussion (videod) (30%) participation in pair-work, small group and small and large group activities (25%) completion of set quizzes (30%) 2 short videos. (15%). Students will be assessed on how well they demonstrate progress on goals 1 - 4.

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

The goal is to talk freely about the difference between other countries and Japan. We will use free study games you can play on a phone/computer by yourself or with classmates. Study a little, daily.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Around the World in 15 Chapters Beginner Book 2nd Edition	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-56-1
2				
3				

Bring textbook, device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will get an all-English listening and speaking experience through studying world cultures via a text, interactive activities and multimedia including quizzes. This goal of this course is to extend the conversational skills used in English IIA. Classes will follow the textbook in the order given below. Tasks will include geography, vocabulary building, grammar in context, dictation, reading comprehension, summarising, retelling, analysis and spoken interviews. Regular homework will be assigned. It is also expected that students will read upcoming units in advance.

到達目標

The instructional emphasis will be on communication on themes drawn from the textbook as well as current events. Students will:
 (1) develop their critical thinking skills using English on issues in Japan and internationally,
 (2) be able to use new vocabulary in speaking and writing.
 (3) be able to work independently outside of class and work together cooperatively inside class.
 (4) be able to gain confidence in using English pitch intonation, word & sentence stress.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	A pair discussion and a 3-way discussion (videod) (30%) participation in pair-work, small group and small and large group activities (25%) completion of set quizzes (30%) 2 short videos. (15%). Students will be assessed on how well they demonstrate progress on goals 1 - 4.

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

The goal is to talk freely about the difference between other countries and Japan. We will use free study games you can play on a phone/computer by yourself or with classmates. Study a little, daily.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Around the World in 15 Chapters Beginner Book 2nd Edition	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-56-1
2				
3				

Bring textbook, device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習(予習・復習)をしっかりとやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度(授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521
2	TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック	Education Testing Service	LiBC	9784906033560
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画								
回数	テーマ	概要					90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など					90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容をしっかりと理解し
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ						指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から								
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、積極的に授業に参加して、さらに指定された家庭学習にもしっかりと取り組んで大学生にふさわしい程度の英語力								

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習(予習・復習)をしっかりとやってそれぞれの授業の学習内容をしっかりと理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度(授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521
2	TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック	Education Testing Service	LiBC	9784906033560
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など				90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容をしっかりと理解し
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から							
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、積極的に授業に参加して、さらに指定された家庭学習にもしっかりと取り組んで大学生にふさわしい程度の英語力							

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

現代社会の諸問題についての英語教材を使い、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材等を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において英語を音読し、弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。教科書の設問や教員の質問にグループやペアで討議し、英語で答えることで、英語による発信力も育成する。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標 に関し、2回小テストを行う。 到達目標 と に関しては授業での発表をもとに、毎回の宿題と合わせて評価する。

総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えることで予習をしっかり行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Explorer Third Edition Level 2 Student Book Test Only	David Bohlke他	Cengage	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし。

前提学力等

英語Iおよび英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

現代社会の諸問題についての英語教材を使い、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材等を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において英語を音読し、弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。教科書の設問や教員の質問にグループやペアで討議し、英語で答えることで、英語による発信力も育成する。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で書くことができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標 に関し、2回小テストを行う。 到達目標 と に関しては授業での発表をもとに、毎回の宿題と合わせて評価する。

総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してこよう。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Explorer Third Edition Level 2 Student Book Text Only	David Bohlke他	Cengage	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.
- 2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.
- 2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In the continuation to this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In the continuation to this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-back-into-the-swing-of-things activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
第2回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Look over unit 8	1
第3回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 1	3
第4回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	All unit 8 materials	2
第5回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	Prepare discussion materials	3
第6回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Unit 8 topics	2
第7回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Prepare for vocabulary quiz 2	3
第8回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	All unit 9 materials	2
第9回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	Prepare discussion materials	3
第10回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Unit 10 topics	2
第11回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Prepare for vocabulary quiz 3	3
第12回	Unit13	Theme: Manga	90	All unit 10 materials	2
第13回	Unit 13	Theme: Manga	90	Prepare discussion materials	3
第14回	Unit 14	Theme: Karaoke	90	Unit 12 topics	2
第15回	Unit 14 - Final class	Theme: Karaoke Short presentations	90	Prepare for vocabulary quiz 4	3
				All unit 11 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 12 topics	2
				Prepare for vocabulary quiz 5	3
				All unit 12 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 13 topics	2
				Prepare last vocabulary quiz	3
				All semester materials	3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

- (1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
- (2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
- (3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
- (4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する (30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する (30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する (15%) 到達目標(4)について小テストで評価する (25%)

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

- (1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
- (2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
- (3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
- (4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する (30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する (30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する (15%) 到達目標(4)について小テストで評価する (25%)

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Group Presentations 25% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Supplied Material			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Group Presentations 25% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Supplied Material			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

英語で書かれた短編作品を、続きが読みたくなるような興味深い形で紹介する教科書を用いて、英語をしっかりとインプット（聞く、読む）した上で、レポートや発話練習などのアウトプット（話す、書く）する能力を培えるような授業にしたいと考えております。適宜、短編の本文を読んでもらうこと、あるいは単語テストを受験してもらってもあります。

到達目標

- 1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
- 3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、単語テスト(30%)、期末レポート(30%)

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回の内容を参照。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Top 30 Essential Short Stories in English: 1843 to 2000.	Jim Knudsen, Hiromi Tsuda, Ria Taketomi	南雲堂	978-4-523-17875
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

英語で書かれた短編作品を、続きが読みたくなるような興味深い形で紹介する教科書を用いて、英語をしっかりとインプット（聞く、読む）した上で、レポートや発話練習などのアウトプット（話す、書く）する能力を培えるような授業にしたいと考えております。適宜、短編の本文を読んでもらうこと、あるいは単語テストを受験してもらったこともあります。後期はLesson 20からLesson 30を扱います。

到達目標

- 1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
- 2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
- 3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、単語テスト(30%)、期末レポート(30%)

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回の内容を参照。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Top 30 Essential Short Stories in English: 1843 to 2000.	Jim Knudsen, Hiromi Tsuda, Ria Taketomi	南雲堂	978-4-523-17875
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Building on the English skills the students practiced in their first year, this course aims to develop students' reading, writing, speaking, and listening skills in topics beyond their own life and interests. Students should expect to consider their own culture and views while practicing expressing their ideas and opinions as a cultural ambassador would.

The course covers a range of topics, supported by nonfiction readings in areas such as technology, ecology, fashion, and psychology.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities, as well as improving students' abilities to engage in group discussions in English.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English, especially in group discussions.
- (2) Improve reading and writing fluency on topics further from students' own lives.
- (3) Better express complex concepts and personal opinions in English.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Vocabulary quizzes (25%); Content quizzes (25%)
レポート課題	20	Speed writings (10%); Written homework assignments (10%)
上記以外	30	Final project (10%); Speed reading log (5%); Participation (15%)

授業を 5 回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30 分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3 回の遅刻で 1 回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Core Nonfiction Reading 2	Stephanie Alexander & Liana Robinson	Compass Publishing	9781613527412
2				
3				

You will need a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary (paper or electronic).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

This course is intended to continue to develop the skills practiced in the spring semester.

Building on the English skills the students practiced in their first year, this course aims to develop students' reading, writing, speaking, and listening skills in topics beyond their own life and interests. Students should expect to consider their own culture and views while practicing expressing their ideas and opinions as a cultural ambassador would.

The course covers a range of topics, supported by nonfiction readings in areas such as art, ecology, extreme sports, and culture.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities, as well as improving students' abilities to engage in group discussions in English.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English, especially in group discussions.
- (2) Improve reading and writing fluency on topics further from students' own lives.
- (3) Better express complex concepts and personal opinions in English.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Vocabulary quizzes (25%); Content quizzes (25%)
レポート課題	20	Speed writings (10%); Written homework assignments (10%)
上記以外	30	Final project (10%); Speed reading log (5%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Core Nonfiction Reading 2	Stephanie Alexander & Liana Robinson	Compass Publishing	9781613527412
2				
3				

You will need a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary (paper or electronic).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
- (2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
- (3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
- (4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
- (2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
- (3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
- (4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	山本 薫
講義コード	1120505	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業の目標は、英語の4技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語」は国際コミュニケーション学科の1年生前期配当の英語関連必修科目のうちの1科目である。

(山本担当)本授業では、リスニングに特化した教科書を用いる(リーディングの部分もリスニング用練習として使用します)。授業では、リスニング内容のディクテーションや音読を繰り返し行い、リスニング力の強化を目指す。また、会話で用いられる様々な表現や知識を身につけることを目指す。

到達目標

- (1) 日常の英語対話を聞いて理解できる。
- (2) 多様な場面における英語を聞いて、ある程度理解できる。
- (3) 対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造、語彙・表現が理解でき、それらを正しく用いることができる。
- (4) 正確に発音・音読できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	毎回重要表現を選び出し、定義・例文を英英辞典で調べてファイルで提出する。
上記以外	40	小テスト(聞き取り)を行う。

本人の責めに帰せない特別な理由がある場合を除いて、4回以上欠席したものは評価の対象としない(欠席回数が4回に達した時点で試験を受ける資格を失う)。

授業外学習

語彙力強化とリスニング力向上のために、授業中に紹介するBBC Radio 4等の英語のニュースを読む・聞くことを毎日行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『問題意識を持って読むイギリス 15のトピック』	板倉巖一郎	松柏社	978-4-88198-704-9
2				
3				

初回にはChapter 1を使って授業の進め方を説明するので、教科書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	中谷 博美
講義コード	1120506	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業の目的は、リスニング能力の向上にある。リスニングと発音の練習活動を通じて、英語を正しく聞き取り、まとまりのある内容を理解するための基礎力を養う。
 本授業では、リスニングによる内容把握とディクテーションを行い、内容についてペアあるいは小グループで確認をする。リーディングと語彙は予習、内容理解とスクリプトのディクテーションは授業内で行い、語彙とスクリプト確認課題 (Forms)、発音の録音課題を課す。また、期間中に2回のレクチャー発表を行う。

到達目標

- (1) 英文を聞いて、その内容を理解できる。
- (2) 英文理解に必要な語彙や表現を聞いて英語で書きとることができる。
- (3) まとまりのある英文を正しい発音で暗唱できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標に示す(1)(2)の観点について、50点満点の試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標に示す(1)(2)の観点について、提出課題により評価する。(40%) 到達目標に示す(3)の観点について、学期中に課す発表により評価する。(20%)

欠席が4回以上となる場合は評価の対象としない。

授業外学習

授業連絡・資料配布・課題提出をTeamsを通して行います。毎回の課題の提出をしっかりと行うこと。また、教科書に付属のDVDを利用して、暗唱課題に備えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English in 30 Seconds	青木 雅幸	南雲堂	978-4-523-17618-3
2				
3				

教科書は初回授業より持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に課題プリントを配布する。

前提学力等

前期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。
後期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。

履修資格

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	山本 薫
講義コード	1120507	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業の目標は、英語の4技能のなかでもとりわけリスニング能力の向上にある。豊富なリスニング練習活動を通して、英語を正しく聞き取り発話内容を理解する力を養う。本授業「英語」は国際コミュニケーション学科の1年生前期配当の英語関連必修科目のうちの1科目である。

(山本担当)本授業では、リスニングに特化した教科書を用いる(リーディングの部分もリスニング用練習として使用します)。授業では、リスニング内容のディクテーションや音読を繰り返し行い、リスニング力の強化を目指す。また、会話で用いられる様々な表現や知識を身につけることを目指す。

到達目標

- (1) 日常の英語対話を聞いて理解できる。
- (2) 多様な場面における英語を聞いて、ある程度理解できる。
- (3) 対話コミュニケーションで用いられる標準的な英文構造、語彙・表現が理解でき、それらを正しく用いることができる。
- (4) 正確に発音・音読できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	毎回重要表現を選び出し、定義・例文を英英辞典で調べてファイルで提出する。
上記以外	40	毎回小テスト(聞き取り)を行う。

本人の責めに帰せない特別な理由がある場合を除いて、4回以上欠席したものは評価の対象としない(欠席回数が4回に達した時点で試験等を受ける資格を失う)。

授業外学習

語彙力強化とリスニング力向上のために、授業中に紹介するBBC Radio 4等の英語のニュースを読む・聞くことを毎日行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代英国の文化・社会・歴史	三好道子	松柏社	978-4-88198-767-4
2				
3				

初回にはChapter 1を使って授業の進め方を説明するので、教科書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	中谷 博美
講義コード	1120508	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業の目的は、リスニング能力の向上にある。リスニングと発音の練習活動を通じて、英語を正しく聞き取り、まとまりのある内容を理解するための基礎力を養う。
 本授業では、リスニングによる内容把握とディクテーションを行い、内容についてペアあるいは小グループで確認をする。リーディングと語彙は予習、内容理解とスクリプトのディクテーションは授業内で行い、語彙とスクリプト確認課題 (Forms)、発音の録音課題を課す。また、期間中に2回のレクチャー発表を行う。

到達目標

- (1) 英文を聞いて、その内容を理解できる。
- (2) 英文理解に必要な語彙や表現を聞いて英語で書きとることができる。
- (3) まとまりのある英文を正しい発音で暗唱できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標に示す(1)(2)の観点について、50点満点の試験で評価する。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標に示す(1)(2)の観点について、提出課題により評価する。(40%) 到達目標に示す(3)の観点について、学期中に課す発表により評価する。(20%)

欠席が4回以上となる場合は評価の対象としない。

授業外学習

授業連絡・資料配布・課題提出をTeamsを通して行います。毎回の課題の提出をしっかりと行うこと。また、教科書に付属のDVDを利用して、暗唱課題に備えること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English in 30 Seconds	青木 雅幸	南雲堂	978-4-523-17618-3
2				
3				

教科書は初回授業より持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に課題プリントを配布する。

前提学力等

前期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。
後期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。

履修資格

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1120515	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1120516	単位数	1	開講期	前期	授業方法	アク	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will do a great deal of speaking to give their own ideas and know how to react in a social or public situation. Students will also be directed toward many other speaking opportunities and resources at USP outside of the classroom. Students will finish the course with greater confidence and comfort in speaking, and with strengthened motivation to look for speaking opportunities in English after the course ends.

到達目標

Students will be able to speak English with:

- (1) good pronunciation (especially sounds and syllables that are different such as th, l and other sounds),
- (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly; memorize required material)
- (3) good delivery (aiming for natural usage of eye contact and gestures)
- (4) grammatically correct patterns at on familiar topics and the ability to ask for more information on unfamiliar topics.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Overall course evaluation centers on performance on speaking tasks including: 4 videos. (2 solo, 1 pair video, 1 in a group of 4/5, doing the quizzes as assigned.)

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Regular homework assignments involve listening for meaning to a wide range of English voices through games, movies, and other media and developing speaking skills using other media.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

This class does not have a textbook.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Bring a device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1120517	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1120518	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will do a great deal of speaking to give their own ideas and know how to react in a social or public situation. Students will also be directed toward many other speaking opportunities and resources at USP outside of the classroom. Students will finish the course with greater confidence and comfort in speaking, and with strengthened motivation to look for speaking opportunities in English after the course ends.

到達目標

Students will be able to speak English with:

- (1) good pronunciation (especially sounds and syllables that are different such as th, l and other sounds),
- (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly; memorize required material)
- (3) good delivery (aiming for natural usage of eye contact and gestures)
- (4) grammatically correct patterns at on familiar topics and the ability to ask for more information on unfamiliar topics.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Overall course evaluation centers on performance on speaking tasks including: 4 videos. (2 solo, 1 pair video, 1 in a group of 4/5, doing the quizzes as assigned.)

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Regular homework assignments involve listening for meaning to a wide range of English voices through games, movies, and other media and developing speaking skills using other media.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

This class does not have a textbook.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Students should bring a dictionary or use the dictionary application on their phone.

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	Antonija Cavcic
講義コード	1120525	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授業	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この科目の目的は、多様な分野から見る現代社会に関するコンテンツに触れつつ、英語の4技能全体的に磨く事です。しかし、特に読解能力を磨くことに重点をおきます。ただ読む力だけを単独で伸ばすことはできません。読むことは、知ること・書くこと・考えること・伝えること・聴くことと密接に繋がっています。即ち、この授業では、現在と将来の社会についての知識・書く力・考える力・伝える力・聴く力のすべてに働きかけながら読む力を養うことを目指します。現代社会に関する英文を建設的に批判できる読み手となり、情報を駆使する技術を身につけ、やがて地域だけではなく、国際社会で活躍するための視野を広げることができるようになるのが本科目の目的です。

到達目標

- (1) 知る力：テキストの内容をじっくり読み、テーマについての不可欠な語彙・テキストに関する文法・文構造の知識を広げることができる。
- (2) 書く力：授業中に本文を1段落の英語(またはポスター)でまとめるし、発表する。そして、自分の考えを明確に表現する。
- (3) 考える力：様々なテーマに関する内容を把握しながら、批判的な思考を養うことができる。
- (4) 聴く力：テキストの音声の聞くことだけでなく、本文の内容をめぐる他者の意見を英語で聴き、英文の熟読に不可欠な批判的な視野を磨くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) 授業中のリーディング課題 (読解、語彙、文法) 30点の絶対評価 (2) 中間とまとめテスト (授業内に2回実施) 40点の絶対評価 (2x20点) (3) Unit Review(復習) 課題 30点の絶対評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

各Unitの単語帳は教科書の「Vocabulary List」ところで書いてあります。毎回しっかり復習し、Unitの主なリーディング問題もう一度繰り返し読んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading and Vocabulary Development 2 (Fourth Edition)	Patricia Ackert, Linda Lee, Harry Haynes	Cengage	978-981-48-9657-3
2				
3				

Reading and Vocabulary Development 2 (Fourth Edition). Cengage. ISBN : 978-981-48-9657-3

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120526	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in reading, writing, and speaking activities to improve their ability to communicate in English. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of the unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to read and respond to English texts critically against their own values and experiences.
- (2) Students will increase their knowledge of English structures and vocabulary necessary for reading and writing English texts.
- (3) Students will engage in extensive reading activities to establish the habit of reading English as it is without translating it into Japanese.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	Goal (1): Evaluated by the written response to an English text. Goal (2): Evaluated by the review of English structures and vocabulary studied during the semester
レポート課題		
上記以外	60%	Goal (1): Evaluated by the individual presentation, submission of assignments, and participation in weekly activities. (20%) Goal (2): Evaluated by vocabulary and review quizzes. (25%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Advanced Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-695-0
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	Antonija Cavcic
講義コード	1120527	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授業	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この科目の目的は、多様な分野から見る現代社会に関するコンテンツに触れつつ、英語の4技能全体的に磨く事です。しかし、特に読解能力を磨くことに重点をおきます。ただ読む力だけを単独で伸ばすことはできません。読むことは、知ること・書くこと・考えること・伝えること・聴くことと密接に繋がっています。即ち、この授業では、現在と将来の社会についての知識・書く力・考える力・伝える力・聴く力のすべてに働きかけながら読む力を養うことを目指します。現代社会に関する英文を建設的に批判できる読み手となり、情報を駆使する技術を身につけ、やがて地域だけではなく、国際社会で活躍するための視野を広げることができるようになるのが本科目の目的です。

到達目標

- (1) 知る力：テキストの内容をじっくり読み、テーマについての不可欠な語彙・テキストに関する文法・文構造の知識を広げることができる。
- (2) 書く力：授業中に本文を1段落の英語(またはポスター)でまとめるし、発表する。そして、自分の考えを明確に表現する。
- (3) 考える力：様々なテーマに関する内容を把握しながら、批判的な思考を養うことができる。
- (4) 聴く力：テキストの音声の聞くことだけではなく、本文の内容をめぐる他者の意見を英語で聴き、英文の熟読に不可欠な批判的な視野を磨くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) 授業中のリーディング課題 (読解、語彙、文法) 30点の絶対評価 (2) 中間とまとめテスト (授業内に2回実施) 40点の絶対評価 (2x20点) (3) Unit Review(復習) 課題 30点の絶対評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの学習の効果を損なうからです。

授業外学習

各Unitの単語帳は教科書の「Vocabulary List」ところで書いてあります。毎回しっかり復習し、Unitの主なリーディング問題もう一度繰り返し読んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading and Vocabulary Development 2 (Fourth Edition)	Patricia Ackert, Linda Lee, Harry Haynes	Cengage	978-981-48-9657-3
2				
3				

Reading and Vocabulary Development 2 (Fourth Edition). Cengage. ISBN : 978-981-48-9657-3

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120528	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in reading, writing, and speaking activities to improve their ability to communicate in English. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of the unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to read and respond to English texts critically against their own values and experiences.
- (2) Students will increase their knowledge of English structures and vocabulary necessary for reading and writing English texts.
- (3) Students will engage in extensive reading activities to establish the habit of reading English as it is without translating it into Japanese.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	Goal (1): Evaluated by the written response to an English text. Goal (2): Evaluated by the review of English structures and vocabulary studied during the semester
レポート課題		
上記以外	60%	Goal (1): Evaluated by the individual presentation, submission of assignments, and participation in weekly activities. (20%) Goal (2): Evaluated by vocabulary and review quizzes. (25%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Advanced Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-695-0
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際a)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1120535	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Students will learn the foundations of academic writing through a focus on paragraph writing, essay construction, and structured peer review. The course will combine communicative activities and group discussions to facilitate learning.

By the end of the course, students will feel more confident writing paragraphs and essays in academic English to effectively share their opinions and ideas.

In particular, this course covers the basics of academic writing and the structure and development of cause-effect essays and comparison essays.

到達目標

- (1) Students will be able to write paragraphs and essays that follow all standard conventions for academic writing.
- (2) Students will also understand the steps of process writing and work to refine their own and others' work, both in terms of content and technical features.
- (3) Students will have a solid understanding of and come to realize the importance of peer review in the writing process.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	20	Concept quizzes (20%)
レポート課題	65	Paragraph HWx3 (3x5%=15%); Cause-effect essay (25%); Comparison essay (25%)
上記以外	15	Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and do your homework! It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Great Writing 3	Keith S. Folse, Elena Vestri, and David Clabeaux	Cengage Learning	9780357020845
2				
3				

You will need to type and print out your writing assignments to bring them to class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際a)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120536	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, this class will teach students how to write paragraphs and essays with proper forms and structure in English. The goal at the end of the semester is for students to construct their own essay that persuades the reader by stating their thoughts logically while anticipating the reader's response. Students will also read their essays to their classmates and share their thoughts with each other.

到達目標

- (1) Students will learn how to construct English paragraphs and essays properly.
- (2) Students will be able to write an essay that persuades the reader by stating their thoughts logically while anticipating the reader's response.
- (3) Students will increase their knowledge of English structures and vocabulary necessary for writing English paragraphs and essays.
- (4) Students will learn how to convey their ideas effectively through spoken and written English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goals (1) (2) (3): Evaluated by the quality of paragraphs and essays submitted by the student (60%) Goals (1) (2) (3): Evaluated by the student's submission of weekly assignments and participation in activities (25%)

As a rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Great Writing 3	Keith S. Folse, Elena Vestri, & David Clabeaux	National Geographic Learning	978-0-357-02084-5
2				
3				

英語IVA (真島先生クラス) と共通の教科書です。重複して買わないように気をつけること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (国際b)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1120537	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Students will learn the foundations of academic writing through a focus on paragraph writing, essay construction, and structured peer review. The course will combine communicative activities and group discussions to facilitate learning.

By the end of the course, students will feel more confident writing paragraphs and essays in academic English to effectively share their opinions and ideas.

In particular, this course covers the basics of academic writing and the structure and development of cause-effect essays and comparison essays.

到達目標

- (1) Students will be able to write paragraphs and essays that follow all standard conventions for academic writing.
- (2) Students will also understand the steps of process writing and work to refine their own and others' work, both in terms of content and technical features.
- (3) Students will have a solid understanding of and come to realize the importance of peer review in the writing process.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	20	Concept quizzes (20%)
レポート課題	65	Paragraph HWx3 (3x5%=15%); Cause-effect essay (25%); Comparison essay (25%)
上記以外	15	Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and do your homework! It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Great Writing 3	Keith S. Folse, Elena Vestri, and David Clabeaux	Cengage Learning	9780357020845
2				
3				

You will need to type and print out your writing assignments to bring them to class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (国際b)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120538	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, this class will teach students how to write paragraphs and essays with proper forms and structure in English. The goal at the end of the semester is for students to construct their own essay that persuades the reader by stating their thoughts logically while anticipating the reader's response. Students will also read their essays to their classmates and share their thoughts with each other.

到達目標

- (1) Students will learn how to construct English paragraphs and essays properly.
- (2) Students will be able to write an essay that persuades the reader by stating their thoughts logically while anticipating the reader's response.
- (3) Students will increase their knowledge of English structures and vocabulary necessary for writing English paragraphs and essays.
- (4) Students will learn how to convey their ideas effectively through spoken and written English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goals (1) (2) (3): Evaluated by the quality of paragraphs and essays submitted by the student (60%) Goals (1) (2) (3): Evaluated by the student's submission of weekly assignments and participation in activities (25%)

As a rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Great Writing 3	Keith S. Folse, Elena Vestri, & David Clabeaux	National Geographic Learning	978-0-357-02084-5
2				
3				

英語IVA(真島先生クラス)と共通の教科書です。重複して買わないように気をつけること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (国際)						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1120541	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101FRL101							

授業概要

外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、文法や語彙を学び、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、楽しんで文法を学べるように配慮する。また、できるかぎり実物教材やプリントを使って、文化紹介をしたり、5分から10分程度の音楽や映像を提示したりする。

到達目標

発音、語順、動詞（現在人称変化、話法の助動詞、分離動詞）、名詞類（性・数・格）、冠詞についての文法的な知識を習得する。単文レベルの簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（１）授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。（２）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（３）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（４）参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。（５）参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(2)と(3)に関しては筆記試験(30%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:20%)、(3)に関しては小テスト(10%)、(4)に関しては口述試験(30%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン 1 場面て学ぶドイツ語 (CD付)	佐藤修子/ハイケ・パーベンティン/下田恭子/ゲーザ・オルデハー	三修社	978-4-384-12244-2
2				
3				

ドイツ語 Bと共通。ただし、主として配布資料(プリント)+パワーポイントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブックを用意

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 B (国際)						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1120542	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101FRL102							

授業概要

ドイツ語 Aとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では、ドイツ語 Aで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。簡単な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(2) と (3) に関しては筆記試験 (50%) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(1) に関しては学期末の課題 (模擬試験: 10%)、(3) に関しては小テスト (10%)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習: 30%) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン1. 場面で学ぶドイツ語 (CD付)	佐藤修子 / ハイケ・パーペンティン / 下田恭子 / ゲーザ・	三修社	978-4-384-12244-2
2				
3				

ドイツ語 Aと共通。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (国際)						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1120551	単位数	1	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	201FRL201							

授業概要

ドイツ語 で習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な会話の練習をする。その際、教科書のテーマに沿って、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識を深めるように努める。授業の進め方に関しては、前回の復習、文法事項の確認、会話の練習(プリント教材)、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしていきたい。

到達目標

zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の変化、受動態、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。比較的難しい会話表現を習得することを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3)参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4)参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(5)参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(2)と(3)に関しては筆記試験(30%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:20%)、(3)に関しては小テスト(10%)、(4)に関しては口述試験(30%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書や配布プリントに記載されている語彙や表現は会話練習で繰り返し使用しますので覚えてください。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2コンパクト 場面で学ぶドイツ語(CD&ワークブック付き)	佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーベンティン/ゲーザ・オーデル	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

教科書はドイツ語 Bと共通。ただし、主として配布資料(プリント)+パワーポイントで授業を行う。プリントをたくさん配布するのでクリアブツ

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 B (国際)						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1120552	単位数	1	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	201FRL202							

授業概要

ドイツ語 同様、ドイツ語 Aとペアになって連携しながら授業を進めていく。こちらの授業では引き続き、ドイツ語 Aで学んだ文法事項を日常の様々な場面で実際に使う練習をする。ドイツ語圏に行った場合、どのような場面でどのような表現を使えばよいのか学習し、習得していく。また文法と語彙の知識に合わせ、より複雑な表現も身につけていくようにする。ドイツ語 同様、今年度が初めての授業になるので、履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ある程度複雑な会話ができることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(2) と (3) に関しては筆記試験 (50%) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(1) に関しては学期末の課題 (模擬試験: 10%)、(3) に関しては小テスト (10%)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習: 30%) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2. コンパクト 場面で学ぶドイツ語 (CD&ワークブック付き)	佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オー	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

ドイツ語 Aと共通。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)						担当教員	長谷川 拓彌
講義コード	1120561	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101FRL111							

授業概要

この授業では、フランス語をはじめて学ぶ人を対象に、フランス語の基礎的な単語や文法を学習します。語学を学ぶにあたって文法の基礎を理解することは、読み書きだけでなく会話を含めたあらゆる局面で重要なことです。授業や宿題、復習をこなすことで、一つずつ身につけていきましょう。

到達目標

- (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
- (2) フランス語の基礎的な単語を修得できている。
- (3) 授業で学習した内容を定着させるべく、自学の習慣を身につけている。
- (4) 分からない箇所があった場合、辞書をひいたり、動詞活用表を参照するなど、適切な方法で自ら問題解決することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	期末試験 (50%) (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。 (2) フランス語の基礎的な単語を修得できている。
レポート課題		
上記以外	50%	小テスト (25%) 課題提出 (25%) (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。

授業外学習

授業の進度にしたがって、宿題を課します。
また復習のための小テストを行います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Chocolatine	R. プレッフル、五十嵐玲美、M. サガス	第三書房	978-4-8086-2056-1
2				
3				

辞書については特に指定はありませんが、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』（旺文社）をすすめます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて適宜プリント等を配布します。

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 B (国際)						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1120562	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	101FRL112							

授業概要

この授業では、フランス語の文法の基礎を学び、自然な日常会話が出来ようになることを目標とします。授業の中では学生がフランス語を話す時間を最大限に作り、楽しくてアクティブなクラスになるよう、いつもペアで発音と会話を練習します。「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

到達目標

この授業では4つのスキル(聞く・話す・読む・書く)に力を入れる。

フランス語の基礎を学びながら徐々に自信を構築することを目指す。

フランス語 B・フランス語 Bを通じて、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベル相当の基礎習得を目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	まとめ会話テスト
レポート課題		
上記以外	70	小テスト (書く・オンラインクイズ・会話) +

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Moi, je ... コミュニケーション	Bruno Vannieuwenhuysse ; Jean-Luc Azra	アルマ出版社	978-4-905343-03-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語 A (国際)						担当教員	長谷川 拓彌
講義コード	1120571	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201FRL211							

授業概要

前期に引き続き、フランス語をはじめて学ぶ人を対象にした、基本的な文法の授業です。授業に出席し、宿題や復習をこなすことで、フランス語の基礎を一つずつ身につけていきましょう。

到達目標

- (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
- (2) フランス語の基礎的な単語を修得できている。
- (3) 授業で学習した内容を定着させるべく、自学の習慣を身につけている。
- (4) 分からない箇所があった場合、辞書をひいたり、動詞活用表を参照するなど、適切な方法で自ら問題解決することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	定期試験 (50%) (1) フランス語初級前期に学習すべき文法事項について理解できている。
レポート課題		
上記以外	50%	小テスト (25%) 課題提出 (25%)

授業外学習

授業の進度にしたがって宿題を課します。また小テストを実施します。
基本的に毎回出席することが必須ですが、やむをえず小テストを欠席する場合には教員に相談して下さい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Chocolatine	R. プレップフル、五十嵐玲美、M. サガス	第三書房	9784808620561
2				
3				

辞書については特に指定はありませんが、『プチ・ロワイヤル仏和辞典』(旺文社)をすすめます。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

フランス語IAを履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	フランス語 B (国際)						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1120572	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	201FRL212							

授業概要

この授業はフランス語 Bの続きです。

到達目標

この授業では4つのスキル(聞く・話す・読む・書く)に力を入れる。

フランス語の基礎を学びながら徐々に自信を構築することを目指す。

フランス語 B・フランス語 Bを通じて、ヨーロッパ言語共通参照枠のA1レベル相当の基礎習得を目標とする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	まとめ会話テスト
レポート課題		
上記以外	70	小テスト (書く・オンラインクイズ・会話) +

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Moi, je ... コミュニケーション	Bruno Vannieuwenhuysse ; Jean-Luc Azra	アルマ出版社	978-4-905343-03-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 A (国際)						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1120581	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL121							

授業概要

中国語 Aは中国語の基礎を学びます。先ず徹底して発音の習得に努め、簡単な日常の挨拶語などを学びます。それと同時に基本文型（文法知識）はもちろんのこと、簡単なリスニングを含めた大量の練習問題を用いて解いていきます。

到達目標

- (1) 中国語の発音を習得する。
- (2) 基本文型を学び、簡単なコミュニケーションができるようになる。
- (3) 中国語検定試験の準4級レベルに達する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験(発音に関するリスニング問題を含む)を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新編 実用漢語課本	相原茂・徐甲申	東方書店	978-4-497-20418-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 B (国際)						担当教員	呉 凌非
講義コード	1120582	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL122							

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	75	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「ジョイフル中国語――初級編」	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 A (国際)						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1120591	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201FRL221							

授業概要

中国語 A は、中国語 A と同じテキストを使用し、引き続き中国語の基本文型（文法知識）を学びます。その過程で簡単なリスニングなどを含めた大量の練習問題を用いて解きます。

到達目標

- (1) 中国語で自己紹介ができるようになる。
- (2) 簡単な中国語を「聞き取り、応答ができるようになる。
- (3) 中国語検定試験4級に合格できるレベルに到達する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験(リスニング問題を含む)を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新編 実用漢語課本	相原茂・徐甲申	東方書店	978-4-497-20418-9
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 B (国際)						担当教員	呉 凌非
講義コード	1120592	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL222							

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語-初級編	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)						担当教員	河 かおる
講義コード	1120601	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	101FRL131							

授業概要

文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。ハングル能力検定試験5級合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は、朝鮮語 Aと Bが同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。学修時間も Aと Bをあわせた時間数。

到達目標

- (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。
- (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。
- (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
- (4) 400語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (5) 漢数詞を対応する助数詞とともに用いることができる。
- (6) 決まり文句としてのあいさつやあいづち・簡単な質問とそれへの受け答えができる。
- (7) 自己紹介、家族、趣味などの私的な話題、日課や予定などの身近なことについて伝え合うことができる。
- (8) 過去表現までの簡単な文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。 (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題等を通じて以下を評価する (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。

授業外学習

テキストの練習問題などの宿題を課す。
 単語テストなどの小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本 ハングルマダン改訂版	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55673-4
2				
3				

教科書は生協ショップ等で購入のうえ、初回の授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に補助教材プリントを随時配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)						担当教員	河 かおる	
講義コード	1120601	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演		
ナンバリング番号	101FRL131								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	文字と発音	第1課 ハングル、母音	2	教科書に目を通す。 小テストに向けた復習。
第2回	文字と発音	第2課 1.子音の発音(1)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第3回	文字と発音	第2課 2.合成母音(1)、子音の発音(2)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第4回	文字と発音	第3課 合成母音(2)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第5回	文字と発音	第4課 終声	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第6回	文字と発音	第5課 表記、漢字語	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第7回	文字と発音	発音の変化、あいさつ、教室用語	2	練習問題の宿題。 到達確認テストに向けた復習。
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第7回までの学習内容の確認テスト	2	到達確認テストに向けた勉強。 到達確認テストの振り返り
第9回	第1課	私は～です(指定詞と名詞文)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第10回	第1課	私は～です(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第11回	第2課	それは何ですか(疑問文と答え方)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第12回	第2課	それは何ですか(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第13回	第3課	これは私の家族写真です(ヘヨ体の名詞文、否定文、親族名称、国家や地域名)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第14回	第3課	これは私の家族写真です(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第15回	第4課	あの建物の裏にあります。(存在文、位置名詞)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第16回	第4課	あの建物の裏にあります(道案内)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第17回	第5課	街でショッピングをします。(動詞文と語尾、朝・昼・夜)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第18回	第5課	街でショッピングをします。(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第19回	第5課	街でショッピングをします。(一日の行動)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第20回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(ヘヨ体)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第21回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(語尾)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第22回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第23回	第7課	夏だから冷麺はいかがですか(店や場所の名前、語尾)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第24回	第7課	夏だから冷麺はいかがですか(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第25回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね(固有数詞、尊敬表現、語尾、ㄹ変則用言)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第26回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね(料理の注文)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第27回	第9課	今日忙しいですか(語幹、願望、勧誘、推量意思)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第28回	第9課	今日忙しいですか(電話の練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第29回	第10課	ご馳走様でした(過去形、逆接、漢数詞)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第30回	第10課	ご馳走様でした(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 期末テストに向けた復習。

担当者から

講義名	朝鮮語 B (国際)						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1120602	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	101FRL132							

授業概要

文字のしくみ、発音の学習から始まり、基礎的な語彙と文法を理解し、簡単な文章作成、自己紹介など日常の基礎的な表現、辞書の活用法などを学び、最も基本的なコミュニケーションに必要な基礎的な力をつける。ハングル能力検定試験5級合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は、朝鮮語 Aと Bが同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。学修時間も Aと Bをあわせた時間数。

到達目標

- (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。
- (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。
- (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
- (4) 400語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (5) 漢数詞を対応する助数詞とともに用いることができる。
- (6) 決まり文句としてのあいさつやあいづち・簡単な質問とそれへの受け答えができる。
- (7) 自己紹介、家族、趣味などの私的な話題、日課や予定などの身近なことについて伝え合うことができる。
- (8) 過去表現までの簡単な文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。 (3) ハングル能力検定5級程度の基本文法を理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題等を通じて以下を評価する (1) 文字の仕組みを理解し、正確に読み、書くことができる。 (2) 発音の規則を理解し、正確に聞きとり、話すことができる。

授業外学習

テキストの練習問題などの宿題を課す。
 単語テストなどの小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本 ハングルマダン改訂版	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55673-4
2				
3				

教科書は生協ショップ等で購入のうえ、初回の授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に補助教材プリントを随時配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 B (国際)						担当教員	松井 聖一郎	
講義コード	1120602	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演		
ナンバリング番号	101FRL132								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	文字と発音	第1課 ハングル、母音	2	教科書に目を通す。 小テストに向けた復習。
第2回	文字と発音	第2課 1.子音の発音(1)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第3回	文字と発音	第2課 2.合成母音(1)、子音の発音(2)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第4回	文字と発音	第3課 合成母音(2)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第5回	文字と発音	第4課 終声	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第6回	文字と発音	第5課 表記、漢字語	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第7回	文字と発音	発音の変化、あいさつ、教室用語	2	練習問題の宿題。 到達確認テストに向けた復習。
第8回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第7回までの学習内容の確認テスト	2	到達確認テストに向けた勉強。 到達確認テストの振り返り
第9回	第1課	私は～です(指定詞と名詞文)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第10回	第1課	私は～です(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第11回	第2課	それは何ですか(疑問文と答え方)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第12回	第2課	それは何ですか(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第13回	第3課	これは私の家族写真です(ヘヨ体の名詞文、否定文、親族名称、国家や地域名)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第14回	第3課	これは私の家族写真です(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第15回	第4課	あの建物の裏にあります。(存在文、位置名詞)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第16回	第4課	あの建物の裏にあります(道案内)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第17回	第5課	街でショッピングをします。(動詞文と語尾、朝・昼・夜)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第18回	第5課	街でショッピングをします。(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第19回	第5課	街でショッピングをします。(一日の行動)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第20回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(ヘヨ体)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第21回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(語尾)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第22回	第6課	正門前で会って一緒に行きましょう(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第23回	第7課	夏だから冷麺はいかがですか(店や場所の名前、語尾)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第24回	第7課	夏だから冷麺はいかがですか(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第25回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね(固有数詞、尊敬表現、語尾、ㄹ変則用言)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第26回	第8課	ピョンヤン冷麺にしますね(料理の注文)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第27回	第9課	今日忙しいですか(語幹、願望、勧誘、推量意思)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第28回	第9課	今日忙しいですか(電話の練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第29回	第10課	ご馳走様でした(過去形、逆接、漢数詞)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第30回	第10課	ご馳走様でした(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 期末テストに向けた復習。

担当者から

講義名	朝鮮語 A (国際)						担当教員	河 かおる
講義コード	1120611	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201FRL231							

授業概要

朝鮮語 A・Bで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は朝鮮語 Aと Bで同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は、朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。学修時間も Aと Bをあわせた時間数。

到達目標

- (1) ハングル能力検定試験4級程度の基本文法を理解できる。
- (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合うことができる。
- (4) 注文や買い物の際の依頼や簡単な誘い、道案内などを行うことができる。
- (5) ハングル能力検定試験4級程度のヒアリング能力がある。天気予報やニュースなど、教材以外の音声を聞いて、内容を概ね理解することができる。
- (6) 簡単な日記や手紙、メールなどの文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。 (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合う表現が理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題などを通じて以下の評価を行う。 (1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。

授業外学習

テキストの練習問題などを宿題として課す。
 単語テストなどの小試験を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本 ハングルマダン改訂版	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55673-4
2				
3				

前期に引き続き同じ教科書を使用するので、初回の授業に『韓国語教本 ハングルマダン』を持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 A (国際)						担当教員	河 かおる	
講義コード	1120611	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演		
ナンバリング番号	201FRL231								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	第11課	本日のコーヒー二杯ください(固有数詞と助数詞、特殊な尊敬語、授受表現、依頼表現)	2	教科書に目を通す。 小テストに向けた復習。
第2回	第11課	本日のコーヒー二杯ください(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第3回	第12課	美術教室に通っています。(～になる、現在進行、状況提示の語尾、ㄷ変則用言)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第4回	第12課	美術教室に通っています(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第5回	第13課	KTXを予約したいんですが(時刻、条件、不可能、許可、禁止)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第6回	第13課	KTXを予約したいんですが(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第7回	第14課	若い人に人気があります(現在連体形、確認疑問、同時進行、ㄹ変則用言)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第8回	第14課	若い人に人気があります(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第9回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに(過去連体形、形容詞の動詞化、経験、禁止)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第10回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第11回	第16課	壊れ物も送ることができますか(未来連体形、可能、意思推量、～する時、強調)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第12回	第16課	壊れ物も送ることができますか(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第13回	第17課	その代わりに僕と一緒に映画を見に行きますよ(計画、予定、義務、否定の経験)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第14回	第17課	その代わりに僕と一緒に映画を見に行きますよ(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 到達確認テストに向けた復習。
第15回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第14回までの内容に関する到達確認テスト	2	到達確認テストの準備。 到達確認テストの振り返り。
第16回	第18課	朝鮮時代に来たいみたいです(婉曲推量、意思、原因理由、感嘆)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第17回	第18課	朝鮮時代に来たいみたいです(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第18回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところさ(身に着けるもの、へ体、～ている途中で、間接疑問)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第19回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところだよ(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第20回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです(お祝いの言葉、目的、予想、目標、状態の継続)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第21回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第22回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか(確認、～以来、価値、交通機関)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第23回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第24回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね(性格・気分、～のとおり、譲歩、使役、～さえすれば)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第25回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第26回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい(ハンダ体、受身、料理のレシピ)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第27回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい(会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第28回	第24課	私はもう自信ができました。(さまざまな引用文)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第29回	第24課	スピーチをする	2	練習問題の宿題。 スピーチの準備。
第30回	スピーチテスト		2	スピーチの準備。 期末テストに向けた復習。

担当者から

講義名	朝鮮語 B (国際)						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1120612	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201FRL232							

授業概要

朝鮮語 A・Bで修得した基礎的な力を、語彙・文法両面において充実させ、より複雑な言い回しや文法を学び、語彙を増やし、中級程度のコミュニケーションに必要な力をつける。ハングル能力検定試験4級程度合格程度を目標に、総合的に学習する。
 なお、授業は朝鮮語 Aと Bで同じテキストを用いて一体的に進行する。
 授業計画は、朝鮮語 Aと Bをあわせた30回分の計画。学修時間も Aと Bをあわせた時間数。

到達目標

- (1) ハングル能力検定試験4級程度の基本文法を理解できる。
- (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。
- (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合うことができる。
- (4) 注文や買い物の際の依頼や簡単な誘い、道案内などを行うことができる。
- (5) ハングル能力検定試験4級程度のヒアリング能力がある。天気予報やニュースなど、教材以外の音声を聞いて、内容を概ね理解することができる。
- (6) 簡単な日記や手紙、メールなどの文章を作ることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	(1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。 (3) 決まり文句を用いて様々な場面であいさつや事実を伝え合う表現が理解できる。
レポート課題		
上記以外	60	小テスト、到達確認テスト、宿題などを通じて以下の評価を行う。 (1) ハングル能力検定4級程度の基本文法を理解できる。 (2) 比較的使用頻度の高い約900語程度の基礎的な語彙を理解できる。

授業外学習

テキストの練習問題などを宿題として課す。
 単語テストなどの小試験を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語教本 ハングルマダン改訂版	松崎真日他	朝日出版社	978-4-255-55673-4
2				
3				

前期に引き続き同じ教科書を使用するので、初回の授業に『韓国語教本 ハングルマダン』を持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 B (国際)						担当教員	松井 聖一郎	
講義コード	1120612	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演		
ナンバリング番号	201FRL232								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	第11課	本日のコーヒー二杯ください (固有数詞と助数詞、特殊な尊敬語、授受表現、依頼表現)	2	教科書に目を通す。 小テストに向けた復習。
第2回	第11課	本日のコーヒー二杯ください (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第3回	第12課	美術教室に通っています。(～になる、現在進行、状況提示の語尾、ㄷ変則用言)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第4回	第12課	美術教室に通っています (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第5回	第13課	KTXを予約したいんですが (時刻、条件、不可能、許可、禁止)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第6回	第13課	KTXを予約したいんですが (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第7回	第14課	若い人に人気があります (現在連体形、確認疑問、同時進行、ㄹ変則用言)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第8回	第14課	若い人に人気があります (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第9回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに (過去連体形、形容詞の動詞化、経験、禁止)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第10回	第15課	今まで欠席したことはなかったのに (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第11回	第16課	壊れ物も送ることができますか (未来連体形、可能、意思推量、～する時、強調)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第12回	第16課	壊れ物も送ることができますか (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第13回	第17課	その代わりに僕と一緒に映画を見に行きますよ (計画、予定、義務、否定の経験)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第14回	第17課	その代わりに僕と一緒に映画を見に行きますよ (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 到達確認テストに向けた復習。
第15回	到達確認テストおよび解説、事後説明	第14回までの内容に関する到達確認テスト	2	到達確認テストの準備。 到達確認テストの振り返り。
第16回	第18課	朝鮮時代に来たいみたいです (婉曲推量、意思、原因理由、感嘆)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第17回	第18課	朝鮮時代に来たいみたいです (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第18回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところさ (身に着けるもの、へ体、～ている途中で、間接疑問)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第19回	第19課	先生は朝早く上って今降りてきたところだよ (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第20回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです (お祝いの言葉、目的、予想、目標、状態の継続)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第21回	第20課	最初の誕生日を祝うためのパーティです (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第22回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか (確認、～以来、価値、交通機関)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第23回	第21課	どちらまでお乗せしましょうか (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第24回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね (性格・気分、～のとおり、譲歩、使役、～さえすれば)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第25回	第22課	最後までベストを尽くしてくださいね (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第26回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい (ハンダ体、受身、料理のレシピ)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第27回	第23課	ご飯と一緒に食べるとさらにおいしい (会話と練習)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第28回	第24課	私はもう自信ができました。(さまざまな引用文)	2	練習問題の宿題。 小テストに向けた復習。
第29回	第24課	スピーチをする	2	練習問題の宿題。 スピーチの準備。
第30回	スピーチテスト		2	スピーチの準備。 期末テストに向けた復習。

担当者から

講義名	リーディング(中級) a						担当教員	Antonija Cavcic
講義コード	1120620	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授業	
ナンバリング番号	137ENG104							

授業概要

この科目の目的は、幅広い分野・テーマについての英文に触れつつ、読解能力を磨くことです。読む力を単独で伸ばすことはできません。なぜなら、読むことは知ること・書くこと・考えること・伝えること・聴くことと密接に繋がっているからです。したがって、知る力・書く力・考える力・伝える力・聴く力のすべてに働きかけながら読む力を養うことを目指します。その中で欠かせないのが自主的に地道な学習を継続させる心意気です。そういう意味では、当科目が対象としているのは、自学力を鍛えたいという意欲のある「意識高い系」の方だけです。英文を建設的に批判できる読み手となり、情報を駆使する技術を身につけ、やがて国際社会で活躍するための視野を広げることができるようになるのが本科目の価値です。

到達目標

- (1) 知る力：2回以上本文に目を通し、英文の精読に不可欠な語彙・文法・文構造の知識を広げることができる。
- (2) 書く力：授業中に本文を1段落の英語でパラフレーズしながら要約し、英文の判読に不可欠な要点を把握することができる。そして、自分の考えを明確に表現する。
- (3) 考える力：授業中に本文理解のポイントを1つの英語の図表に提示し、英文の解読に不可欠な論理的思考を養うことができる。
- (4) 聴く力：本文の内容をめぐる他者の意見を英語で聴き、英文の熟読に不可欠な批判的な視野を磨くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	1) 授業中のリーディング課題とアクティビティ 15点の絶対評価 2) Unit・要約テスト(授業内に3回実施) 60点の絶対評価(3x20点) 3) My English Labのオンライン セルフ・スタディの成績 25点の絶対評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの双方の学習の効果を損なうからです。

授業外学習

My English Labのオンライン学習と毎回の課題と毎回の授業の予習はしなければなりません。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Academic Reading Series 3	Judy L. Miller, Robert F. Cohen	Pearson	9780134663371 10-digit: 0134663373
2				
3				

Longman Academic Reading Series 3. Judy L. Miller, Robert F. Cohen. Pearson. ISBN: 9780134663371

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Academic Reading Series 3	Judy L. Miller, Robert F. Cohen	Pearson	9780134663371 10-digit: 0134663373
2				
3				

前提学力等

Intermediate-level reading skills are required for this course.

履修資格

講義名	リーディング(中級) b						担当教員	Antonija Cavcic
講義コード	1120621	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授業	
ナンバリング番号	137ENG104							

授業概要

この科目の目的は、幅広い分野・テーマについての英文に触れつつ、読解能力を磨くことです。読む力だけを単独で伸ばすことはできません。なぜなら、読むことは知ること・書くこと・考えること・伝えること・聴くことと密接に繋がっているからです。したがって、知る力・書く力・考える力・伝える力・聴く力のすべてに働きかけながら読む力を養うことを目指します。その中で欠かせないのが自主的に地道な学習を継続させる心意気です。そういう意味では、当科目が対象としているのは、自学力を鍛えたいという意欲のある「意識高い系」の方だけです。英文を建設的に批判できる読み手となり、情報を駆使する技術を身につけ、やがて国際社会で活躍するための視野を広げることができるようになるのが本科目の価値です。

到達目標

- (1) 知る力：2回以上本文に目を通し、英文の精読に不可欠な語彙・文法・文構造の知識を広げることができる。
- (2) 書く力：授業中に本文を1段落の英語でパラフレーズしながら要約し、英文の判読に不可欠な要点を把握することができる。そして、自分の考えを明確に表現する。
- (3) 考える力：授業中に本文理解のポイントを1つの英語の図表に提示し、英文の解読に不可欠な論理的思考を養うことができる。
- (4) 聴く力：本文の内容をめぐる他者の意見を英語で聴き、英文の熟読に不可欠な批判的な視野を磨くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	1) 授業中のリーディング課題とアクティビティ 15点の絶対評価 2) Unit・要約テスト(授業内に3回実施) 60点の絶対評価(3x20点) 3) My English Labのオンラインセルフ・スタディの成績 25点の絶対評価

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象としません。語学は遅刻や欠席によって自分やクラスメイトの双方の学習の効果を損なうからです。

授業外学習

My English Labのオンライン学習と毎回の課題と毎回の授業の予習はしなければなりません。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Academic Reading Series 3	Judy L. Miller, Robert F. Cohen	Pearson	9780134663371 10-digit: 0134663373
2				
3				

Longman Academic Reading Series 3. Judy L. Miller, Robert F. Cohen. Pearson. ISBN: 9780134663371

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Academic Reading Series 3	Judy L. Miller, Robert F. Cohen	Pearson	9780134663371 10-digit: 0134663373
2				
3				

前提学力等

Intermediate-level reading skills are required for this course.

履修資格

講義名	Integrated English a						担当教員	Peter Sterlacci
講義コード	1120632	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	237ENG202							

授業概要

This practical, multi-skills English course is designed to support students who are preparing to study abroad, in particular in the USA. The course focuses on key skills necessary to successfully cope with academic challenges in American colleges. Organized around realistic college lectures, students will be guided through sequenced activities in skills such as note-taking, academic listening, vocabulary building, presenting information, and critical thinking. The topics covered are from a range of academic disciplines including sociology, psychology, business, education, public health, and linguistics.

到達目標

- 1) If you are absent more than 3 weeks, you cannot receive credit for the course.
- 2) If you are more than 30 minutes late for class it will be counted as an absence.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	Mini-Presentations (6) - There will be 6 short presentations about the topics covered in class. These will be presented in small groups NOT in front of the class.
レポート課題	30%	Final Group Presentation (1) - There will be a final group presentation to the entire class.
上記以外	20%	Class Participation - This includes attendance, completion of homework, and active contribution in class.

See the rubric for evaluation details.

授業外学習

Homework: 2-3 hour/week

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 2 - 4th Edition	Ellen Kisslinger	Pearson	978-0-13-440080-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Integrated English b						担当教員	Peter Sterlacci
講義コード	1120633	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	237ENG202							

授業概要

This practical, multi-skills English course is designed to support students who are preparing to study abroad, in particular in the USA. The course focuses on key skills necessary to successfully cope with academic challenges in American colleges. Organized around realistic college lectures, students will be guided through sequenced activities in skills such as note-taking, academic listening, vocabulary building, presenting information, and critical thinking. The topics covered are from a range of academic disciplines including sociology, psychology, business, education, public health, and linguistics.

到達目標

- 1) If you are absent more than 3 weeks, you cannot receive credit for the course.
- 2) If you are more than 30 minutes late for class it will be counted as an absence.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Mini-Presentations (6) - There will be 6 short presentations about the topics covered in class. These will be presented in small groups NOT in front of the class.
レポート課題	30%	Final Group Presentation (1) - There will be a final group presentation to the entire class.
上記以外	20%	Class Participation - This includes attendance, completion of homework, and active contribution in class.

See the rubric for evaluation details.

授業外学習

Homework: 2-3 hour/week

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 2 - 4th Edition	Ellen Kisslinger	Pearson	978-0-13-440080-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リスニング(中級) a						担当教員	吉田 悦子
講義コード	1120640	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	237ENG201							

授業概要

本授業のテーマは、自然な英語のスピードに慣れ、日常生活で使われる英語のリスニング能力を高め、IELTSのリスニングで高得点を目指すことである。特に、学習者が能動的に取り組めるタスク練習活動を通して、英語の正確な聴き取りを向上させ、スピーキング・ライティングにも応用し、反復練習で定着するようにつなげることがねらいである。
 本授業では、IELTSのテストに対応している問題集を利用して、さまざまなタスク方式の問題に取り組む。授業では、単語・語句チェックをペアで行い、解答についてはペアあるいは小グループで確認をする。小テストで内容理解に必要なディクテーション課題を課し、確認する。また、授業で内容に関するディスカッションを小グループで行い、スピーキングとライティングの応用につなげる。

到達目標

- 1) If you are absent more than 3 weeks, you cannot receive credit for the course
- 2) If you are more that 30 minutres late for class it will count as an absence

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		°
レポート課題		
上記以外	100	*Communicative Activities - 60% - 15% Mini Group Presentation - 15% Mini Individual Presentation

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Listening for IELTS (Collins English for Exams)	Fiona Aish and Jo Tomlinson	Collins	978-0-00-836752-7
2				
3				

Second edition (2019)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	リスニング(中級) b						担当教員	吉田 悦子
講義コード	1120641	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	237ENG201							

授業概要

本授業のテーマは、自然な英語のスピードに慣れ、日常生活で使われる英語のリスニング能力を高め、IELTSのリスニングで高得点を目指すことである。特に、学習者が能動的に取り組めるタスク練習活動を通して、英語の正確な聴き取りを向上させ、スピーキング・ライティングにも応用し、反復練習で定着するようにつなげることがねらいである。
 本授業では、IELTSのテストに対応している問題集を利用して、さまざまなタスク方式の問題に取り組む。授業では、単語・語句チェックをペアで行い、解答についてはペアあるいは小グループで確認をする。小テストで内容理解に必要なディクテーション課題を課し、確認する。また、授業で内容に関するディスカッションを小グループで行い、スピーキングとライティングの応用につなげる。

到達目標

- 1) If you are absent more than 3 weeks, you cannot receive credit for the course
- 2) If you are more that 30 minutres late for class it will count as an absence

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		°
レポート課題		
上記以外	100	*Communicative Activities - 60% - 15% Mini Group Presentation - 15% Mini Individual Presentation

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Listening for IELTS (Collins English for Exams)	Fiona Aish and Jo Tomlinson	Collins	978-0-00-836752-7
2				
3				

Second edition (2019)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Discussion & Debate a						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120653	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237ENG203							

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 15% Discussion preparation & performance: 35% Debate preparation & performance: 20%

- If you are absent more than three times, you cannot receive credit for this course.
- If you are more than 30 minutes late for class, it will be counted as an absence.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Discussion & Debate b						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120654	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237ENG203							

授業概要

On this course we will explore some engaging topics that are often found in mass media to practice discussion and debating skills. After an introduction to a theme, we will examine an article and discuss the ideas contained within it. Next, after a session practising internet research skills, students will find their own articles and lead a discussion in small groups. To conclude each theme, we will have a debate on some of the key issues. The course will cover two broad themes. In the final part of the course, students will prepare and give a poster presentation about their research.

到達目標

The primary goals of this course are as follows:

- to develop discussion and debating skills
- to practise internet research skills
- to introduce a common poster presentation format
- to practice giving a poster presentation

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		Participation: 15% Discussion preparation & performance: 35% Debate preparation & performance: 20%

- If you are absent more than three times, you cannot receive credit for this course.
- If you are more than 30 minutes late for class, it will be counted as an absence.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Essay Writing						担当教員	John Rippey
講義コード	1120675	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237ENG205							

授業概要

In this course, students improve their writing skills in English by composing works in four related writing genres: personal narrative, speculative essay, fictional narrative, and dramatic dialogue. The course offers students a chance to clarify their thoughts, deepen their self-understanding, and enhance their powers of expression on concerns and subjects which interest them. The course represents an opportunity for students to experience the pleasure of writing and for exposure to the thoughts of other people about writing. The four papers that students produce in the course through a drafting process are each, finally, approximately 1,000 words in length.

到達目標

- (1) Ability to generate an extended account of an actual event in accurate and natural written English.
- (2) Ability to express an extended and persuasive argument in accurate and natural written English.
- (3) Ability to relate an evocative extended narrative in accurate and natural written English.
- (4) Ability to render a complex extended conversation in accurate and natural written English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1) 25%, as expressed in the overall quality of the personal narrative. (2) 25%, as expressed in the overall quality of the short story. (3) 25%, as expressed in the overall quality of the speculative essay.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Course readings will be distributed in class throughout the semester.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Intermediate Academic English						担当教員	John Rippey
講義コード	1120686	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137ENG102							

授業概要

This course provides students the opportunity for better understanding of and more practice for the TOEFL ITP paper test. Students increase their knowledge of the structure and content of the TOEFL ITP test. Students also engage in a sustained and intensive program of practice exercises for the test in order to further strengthen their academic English skills. The most immediate aim of the course is to assist long-term efforts to raise individual TOEFL ITP scores, bridging other coursework done in the spring and fall semesters. (An IELTS study option is available for the course; students interested in this alternative should consult individually with the teacher prior to the start of the course.)

到達目標

(1) Students will increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students will strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on the final achievement (review) exam of all coursework.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by degree of documented completion of homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131408838
2	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key, CD	Deborah Phillips	Pearson Longman	9780131408845
3				

Students can borrow the audio CD set at the first class; it is not necessary to buy the CDs.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Advanced Academic English I						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1120695	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137ENG104							

授業概要

This course will focus on academic English skills (Reading, Writing, Listening & Speaking) and aspects of language knowledge (Grammar & Vocabulary), which are important for the IELTS tests. We will also practise test-taking strategies that can help students gain the highest score possible for study abroad applications.

While this course has an IELTS focus, it is also suitable for anyone who wants to build their academic English skills, and it should help students who plan to take other standardised tests such as TOEFL and TOEIC.

IMPORTANT: In order to do as many classes as possible before the IELTS test days in December and January, classes 13, 14, and 15 will be brought forward to 6th period (18:10 ~ 19:40) on the following dates: October 12, October 26, November 16th. Please plan ahead to join these classes.

到達目標

The overall goal of this course is to improve the students' IELTS (and TOEFL) scores for study abroad applications.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Participation: 20% Homework assignments: 10% Writing Assignments: 35%

- If you are absent more than three times, you cannot receive credit for this course.
- If you are more than 30 minutes late for class, it will be counted as an absence.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Complete IELTS (Bands 5 ~ 6.5) by Brook-Hart & Jakeman (978-1-316-60201-0)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Advanced Academic English II						担当教員	John Rippey
講義コード	1120705	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137ENG105							

授業概要

This course introduces students to the TOEFL iBT (Internet-based test) and provides the opportunity to prepare for that test through practice exercises, both receptive and productive. Through the course, students become familiar with the structure and content of the TOEFL iBT. Students also do significant amounts of academic reading, listening, speaking, and writing. The coursework also further prepares students for the TOEFL ITP (paper-based test). The aims of the course are to strengthen academic English abilities and raise individual TOEFL scores.

到達目標

- (1) Students increase their knowledge of and their working familiarity with the content and characteristics (skills, topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL iBT test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL iBT style exam questions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on a final achievement (review) exam.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL iBT Test	Deborah Phillips	Pearson Longman	978-0-13-324812-8
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English for Business						担当教員	Fuisting Bjorn
講義コード	1120715	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337ENG303							

授業概要

In this course the emphasis is on communication in business situations. Students will develop their oral and communication skills. They will learn the some key business skills such as introduction, business presentations and discussing graphs.

By the end of this course you should be able to:

- be comfortable meeting business partners
- be able to make bookings and requests
- be able to discuss graphs
- be able to make a short business presentation

到達目標

This is a 3 day Business English course and the focus will be on communication and pair/group work.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Attendance & active participation: 40% Quizzes & homework: 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Handouts will be provided.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English in Media						担当教員	吉田 悦子
講義コード	1120725	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	337LAC305							

授業概要

本授業の目的は、英語4技能の総合的な向上にある。英語で発信されているさまざまなメディアからの現実の情報（ニュース、レポート、ドキュメンタリー、スピーチ、インタビュー、広告、エンタメ等）を取り上げ、使われている英語表現・構成・スタイルなどを分析して、内容を正確に把握することを目指す。取り上げた情報を持ち寄り、ペアで確認し、小グループで分析し、ディスカッションを行う。グループごとに、分析の結果について英語でまとめ、メディアの特徴を解説するプレゼンテーションを行う。

到達目標

- (1) ジャンルの異なる動画や記事を視聴して、英語表現を理解し、その内容を正確に把握することができる。
- (2) 動画や記事の構成やテキストを分析して、その構成や伝えたいメッセージについて英語で紹介、解説することができる。
- (3) 複数の動画を比較して、ジャンルによるメディアの伝達方法の違いを理解し、批判的考察や意見交換を通して、英語でディスカッションできる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	到達目標に示す(1)の観点について、学期中に課すレポートにより評価する。
上記以外	60	"到達目標に示す(2)の観点について、学期に行うプレゼンテーションにより評価する。(40%) 到達目標に示す(3)の観点について、授業中の参加態度により評価する。(20%)"

欠席が4回以上となる場合は評価の対象としない。

授業外学習

英語によるメディアの情報をジャンルごとに収集し、内容把握と分析を進め、グループで意見交換して、英語による解説のプレゼンを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に課題プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		定期試験はせず、出席と課題等によって評価します。
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

出席状況と提出課題によって評価します。

授業外学習

図書館の書籍によって、事前に予習復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

教科書は毎回、持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布します。

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本講では今後高年次において開講される講義や演習で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つ情報処理技術、すなわちワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。
キーワード：電子メール、情報倫理、知的財産権、著作権、図書検索、Word、Excel

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	各到達目標に関連する課題を課す。(1)は10%、(2)、(3)はそれぞれ20%、(4)、(5)はそれぞれ25%で評価する。

授業外学習

進度に応じ宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	978-4-407-34833-0
2				
3				

初回講義には入学時に配布された「アカウント情報通知書」を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インターネット社会を生きるための情報倫理	情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ	実教出版	978-4-407-33031-1
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報科学概論(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的な手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的な手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	人間探求学(国際コミュニケーション)						担当教員	学科教員/棚瀬 慈郎/呉 凌非/ 山本 薫/河 かおる/吉村 淳一/ Borjigin Burensain/John Rippey/Martin
講義コード	1150391	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101HUM101							

授業概要

国際コミュニケーション学科での留学を含めた4年間の学びについて、学生自らがヴィジョンを持ち探求してけるよう支援する。対話型の少人数学習の機会も設定しながら、大学で学んでいくためのアカデミック・スキルズを身につけるための導入教育を行う。
授業計画は、スケジュール等が未確定のもの(図書館ガイダンス、情報セキュリティーセミナー)を含むため、一部変更されることもある。初回の授業で今年度の授業計画を発表する。

到達目標

- (1) 研究の基盤となるような基本的な学問の手続きを習得する。
- (2) 学問に対する主体的なあり方についての自覚をもつ。
- (3) 自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養い、さらに多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

成績は合否

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	経済学（国際経済を含む）						担当教員	村上 一真
講義コード	1201180	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	212ETC201, 3371LA302							

授業概要

マクロ経済学の基本について講義する。マクロ経済学の標準的な理論を解説するだけでなく、実際の統計データや現実の経済現象に着目し、日本や関国が抱える経済問題を、マクロ経済学の観点から理解できるようになることを目指す。
 講義では、現在の日本経済を理解する上で最小限必要なトピックスについて、新聞記事も使って解説を行うことで、理論と実際を結びつけながら解説し、理論、経済指標、経済動向・見通しをあわせて理解することを学ぶ。
 最終的には日本経済新聞の内容を理解でき、就職活動における「円安が当社に与える影響は?」「最近の景気をどうみる?」などに答えられるように、仕事における経済環境の変化（為替、金利など）に伴う意志決定に役立つように、日常生活における消費・貯蓄行動、資産運用に活かせるようなレベルを目指す。

到達目標

- (1) マクロ経済学の基礎概念
 - (2) 家計、企業、政府の行動理論と現状
 - (3) マクロ政策の理論と現状
- を理解し、説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(3)のそれぞれについて、小テスト・レポート16.7(50/3)％、期末試験16.7(50/3)％で評価する。
上記以外		

授業外学習

新聞やテレビ、インターネットでは毎日多くの経済問題が取り上げられている。講義に出席して終わりにするのではなく、講義を通じて得たマクロ経済学の知識を使って、現実に生じている経済問題の原因や対策を自分の頭で考えるトレーニングをしてみることを。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にレジメ配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	マクロ経済学・入門(第5版)	福田慎一・照山博司	有斐閣	
2				
3				

授業中にレジメ配布

前提学力等

履修資格

講義名	法学概論（国際法を含む）						担当教員	坂田 雅夫
講義コード	1203110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	212PEL302, 1371LA202							

授業概要

この授業では法律に関する基本知識を講義します。隣の人が自分の家の壁を壊した。怒って訪問しても、のりくりにして、金を払うどころか、謝りさえしない。訴えてやりたいけど、どうすれば良いのか。ある朝、家にいきなり警察が来て、心当たりがないことで、逮捕された、自分はもうなってしまうのか。こういった、本当は余り身近に来てほしくないけど、運が悪ければいつかやってくる厄介ごと。皆さんが思い浮かべる法律とは、こうした問題にからむものばかりでしょう。もちろん、こういう問題もこの授業では取り上げます。それ以外にも法律は、皆さんの日常生活にいろいろと深く結びついています。ニュース、街角、そして日常生活でみるいろいろな問題や単語が法律と結びついているのか理解してもらえるのがこの授業の目標です。

又、この授業では国際法についても講義します。国際問題が我々の生活や社会にどのように関係するのか、取り上げていきます。

到達目標

- (1) ニュースで出てくる法律関係の用語を理解できるようになる。
- (2) 公務員試験の法律・政治学関係の問題に対する勉強を始めるに当たって、その前提となる基礎的知識を習得する
- (3) 上述の諸知識の繋がりを適切な文章により説明できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

初回講義時に指示

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	判例法学	西村健一郎・他	有斐閣	9784641184046
2				
3				

授業で取り上げる判例などが要領よく纏まっていて良い本なのだが、いかんせん古くなってきています。より新しい判例は、授業時に補足していき

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Discussion & Debate						担当教員	Peter Sterlacci
講義コード	1400013	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	337ENG301							

授業概要

Outline:

Students will gain confidence and ability in English language skills through enjoyable and educational communicative discussions and debates on a wide range of topics including animal welfare, homelessness, poverty, bullying, crime, punishments, work benefits, environmental problems, waste, materialism, environmental solutions, population, ethical dilemmas, stereotypes, and ancient cultures. Students will use critical thinking skills to formulate ideas and opinions on complex issues. They will also present their opinions in recorded Flipgrid summaries and group presentations.

到達目標

- 1) If you are absent more than 3 weeks, you can not receive credit for the course.
- 2) If you are more than 30 minutes late for class it will be counted as an absence.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30%	Flipgrid Summaries (6) - There will be 6 video summaries recorded on Flipgrid. Each is worth 5% for a total of 30%
レポート課題	50%	Group Presentations (2) - There will be a mid-term and final group presentation each worth 25% for a total of 50%.
上記以外	20%	Class Participation - This includes attendance, completing homework assignments, and active contribution during class.

See the rubric for evaluation details.. 国際コミュニケーション学科:欠席が4回を超える場合は評価の対象としない

授業外学習

Homework: 2-3 hours a week.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Are You a Critical Thinker? Book 2	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-57-8
2				
3				

separate hand-outs on presentation tips will be provided

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Academic Writing						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400014	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337ENG304							

授業概要

In this course, we take a 'process' approach to writing where we will first develop ideas from readings and discussions. Next, we take these ideas and make an outline and then produce the first draft. Further drafting and improvements are needed before an essay is completed.

After an introduction to the basic structure of an academic essay, we will look at three kinds of essay: an opinion essay, a cause & effect essay and a compare & contrast essay. In addition to essay structure, we will focus on grammar at the sentence level, and cohesion (how words and sentences are linked) at the paragraph level. We will also look at how to correctly cite and reference sources.

IMPORTANT: This course is only available for 3rd and 4th year students. If you are a 1st or 2nd year student, please do not register.

到達目標

The goals of this course are as follows:

- to learn the basic structure of an academic essay
- to practise writing three kinds of academic essay
- to develop editing skills
- to develop grammatical knowledge relevant for academic writing
- to practise following a style guide to correct reference sources

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	85	Writing assignments: 85% Japanese culture: 10%
上記以外	15	Class participation: 15%

Student who are absent more than three times cannot receive credit for this course.

Students who are more than 30 minutes late for class will be considered absent.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化特論 A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400057	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337WOC305							

授業概要

本講義では主にモンゴルなどを事例に、内陸アジアや北アジア地域における諸民族の暮らしをその自然地理的要素に基づいて解説する。具体的にはこれらの地域に居住する諸民族の歴史的経緯と現代的動向を交錯しながら展開する。特にこれらの諸民族と中国との歴史のかかわりについて解説する。

到達目標

本講義の目標は、内陸アジアや北アジアに暮らす人々の歴史的経緯に関する基礎知識をは踏まえた上で、グローバル化が進む現代における彼らの立場を再認識することにある。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	レポート と を提出し、期末試験に参加すること
レポート課題	25%	課されたレポートの提出とその内容による評価
上記以外	25%	三分の二の出席とレスポンスカードによる積極的なやりとりを評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	内モンゴル知るための60章	ボルジギン プレンサイン	明石書店	ISBN978-4-7503-4223
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化特論 B						担当教員	河 かおる
講義コード	1400058	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	337WOC306							

授業概要

朝鮮半島の近現代史を理解することを目的とする。近現代の通史を時系列に従って基本的な流れをつかみつつ、特に困難な近代の幕開け、植民地化、今も続く民族分断を経験した朝鮮半島の歴史への理解を深める。植民地化と民族分断を経験した近現代史の「困難さ」への想像力を鍛え、朝鮮の近現代史を密接な関連を持つ日本の近現代史を省察的にとらえ直すことを授業のねらいとする。

到達目標

- (1) 講義および配付資料の内容を理解し、小レポート毎に与えられた課題に適切に取り組める。
- (2) 朝鮮の近現代史、特に日本とかわる事柄に関して正確に理解し、基本的な説明ができる。
- (3) 講義の内容を踏まえ、植民地化と民族分断を経験した朝鮮近現代史に関するテーマを自ら立て、そのテーマについて論理的に説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末レポート 40%
上記以外	60	小レポート 50% 振り返りレポート 10%

授業外学習

ほぼ毎回小レポート課題を出す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	朝鮮の歴史	田中俊明	昭和堂	
2	植民地朝鮮 その現実と解放への道	趙景達編	東京堂出版社	
3	日本の植民地支配 肯定・賛美論を検証する	水野直樹・藤永壯・駒込武	岩波書店	

授業内容に関する文献リストを授業で配付する。

前提学力等

3・4年生配当科目だが、前期開講のため、留学の関係で所定の学年で履修しにくいので、2年生での履修も認めている。韓国に留学を予定している学生は、留学前に履修することが望ましい。

履修資格

講義名	アジア文化特論C						担当教員	間 永次郎
講義コード	1400059	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	337WOC307							

授業概要

目覚ましいIT産業の発展や高度な哲学体系を持つことで知られるインド。近年では美術や音楽の領域でも高く注目されている。この国が世界を魅惑する多くの文化的・知的遺産を生み出してきた背景にあったものは何か？

本講義では、アジア人初のノーベル経済学賞を受賞したハーバード大学のアマルティア・センの著作『議論好きなインド人』（明石書店、2008年）を読みながら、その原因を探っていく。セン曰く、インドの豊かな文化や技能を生み出して背景にあったものとは、インド人の徹底的な「議論（ディスカッション）」の慣習である。本講義は、センの著作を精読し、インドの文化や社会について、皆で議論・プレゼンし、理解を深めていくことを目的とする。

「授業計画」については授業の進み具合や履修状況を鑑みて、適宜前後・変更する。

到達目標

- (1) インドの文化・哲学・歴史に関する知識を習得する。
- (2) インド人に特徴的な「批判的思考」能力について学び、その能力の習得に努める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	平常点(50%)：毎回のコメントシート、参加態度 その他(50%)：本に関するプレゼンテーションなど

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『議論好きなインド人：対話と異端の歴史が紡ぐ多文化世界』	アマルティア・セン	明石書店	4750327956
2				
3				

教科書の購入は任意。私の方で毎回資料（読書箇所等）を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「アジア文化論C」を受講「済み」であることが望ましい。もし受講済みではない場合は、内藤雅雄の『南アジアの歴史』（有斐閣）あるいは赤松明彦の『ヒンドゥー教10講』（岩波書店）などを読み、インドの歴史や文化の基礎的知識を事前に習得しておくことをおすすめする。

履修資格

講義名	アジア文化論 A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1400061	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137WOC205							

授業概要

農村と都市が半々を占めるようになったといわれている現代中国社会の激変の原動力は何か。またその原動力の裏にはどんな仕組みが存在するのであろうか。本講義では、現代中国語が抱える様々な問題を総合的に取り上げることとするが、中国本土を知る視点と周辺少数民族地域や内陸地域を知る視点という二つの視点を柱に展開して行きたい。

到達目標

本講義は、「本土」と「周辺」という二つに視点を持ち合わせながら現代中国が抱える様々な問題を理解できるよう目指したい。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に参加すること
レポート課題	30	課されたレポートの提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席とレスポンスカードによる積極的なやり取りを評価。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	アジア文化論 B						担当教員	河 かおる
講義コード	1400062	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	137WOC206							

授業概要

この授業では、隣国「朝鮮」（現在朝鮮半島にある二つの国家およびそれ以前も含む）について、次のような手順で理解を深め、考察していきます。
前半は、「国の名前」「人」「言葉」等についての歴史や現状について確認しつつ、呼称の問題について考えて行きます。前半の締めくくりとしてレポート課題を出します。
後半は、韓国・朝鮮に関するトピックをいくつかとりあげて講義した後、受講生の皆さん自身が見つけたトピックについて（グループで）調べ、最終的にプレゼンテーションをします。

到達目標

- (1) 朝鮮にまつわる呼称の問題（差別的呼称を含む）について、その歴史的背景を理解し、論理的に説明できる。
- (2) 韓国・朝鮮に関するいくつかのトピックについて理解を深める。
- (3) 韓国・朝鮮に関するトピックについてグループで調査を深め、プレゼンテーションできる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	
上記以外	70	小レポート 30% プレゼンテーション 30% 振り返りレポート 10%

授業外学習

小レポート課題

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「日韓」のモヤモヤと大学生のわたし	加藤 圭木 監 一橋大学社会学部 加藤圭木ゼミナール 編	大月書店	9784272211258
2	だれが日韓「対立」をつくったのか	岡本 有佳 編 加藤 圭木 編	大月書店	9784272211227
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	アジア文化論C						担当教員	間 永次郎
講義コード	1400063	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	137WOC207							

授業概要

本講義は、近年グローバルなレベルで存在感を増しているインド（南アジア）を対象地域とする。現代インドは著しいITの発展や映画産業などで知られるが、その歴史は古代に遡る。インドは紀元前3000年頃のインダス文明から始まる長大な歴史を持つ。インドからはヒンドゥー教だけでなく、日本にも大きな影響を与えた仏教が生まれ、さらに、中世以降にイスラーム王朝が栄え、多文化・多言語的な社会が形成された。近代のイギリス植民地期には西洋文化が流入し、伝統と近代が習合していった。急速な経済発展を遂げる現代インドの輝かしい側面一方で、国内はヒンドゥー・ナショナリズムといった伝統回帰の勢力が影響力を増大させている。本講義では、インドの歴史を学び、インドの現代をより深く理解できるようになることを目的とする。「授業計画」については授業の進み具合や履修状況を鑑みて、適宜前後・変更する。

到達目標

本講義の到達目標は次の二点を得ることにある。
 (1) 古代から現代に至るインドの歴史的知識を習得すること。
 (2) 現代インドを特徴付ける近代化と伝統回帰のパラドックスを理解し、その原因を探究する方法・視点を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	期末試験
レポート課題	20%	期末レポート
上記以外	40%	平常点

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『南アジアの歴史－複合的社会的歴史と文化』	内藤雅雄・中村平治	有斐閣	4641122911
2				
3				

授業内容は基本的に教員独自のものだが、上記の教科書はテストとも密接にかかわるので、各自、読んでおくことをおすすめする。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『インド人の謎』	拓徹	星海社	4861100488
2				
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	アジア文化論D						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400064	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137WOC208							

授業概要

インド仏教は、7世紀以降にヒマラヤを越えてチベットの地にもたらされた。本講義では、インド仏教について概観した上で、そのチベットにおける展開と社会的な影響について検討する。

到達目標

- (1) 仏教の基本的な概念と考え方についての知識。
- (2) 仏教の歴史的な展開に関する知識。
- (3) 内陸アジアにおいて、仏教が果たしてきた役割に関する知識。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	移民社会論 A						担当教員	窪田 暁
講義コード	1400072	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	337MUS301							

授業概要

現代世界の特徴のひとつに国境を越える人の移動があげられる。そのほとんどが労働移民とよばれる人びとだが、彼らはなぜ移民となり、移民先でどのように暮らしているのだろうか。
この授業ではまず、移民の発生要因を世界経済の構造、移民の社会的ネットワーク、移民個人という三つのレベルから考える。次に、アメリカのドミニカ系移民や日本国内の移民を事例に、移民が本国の文化を移住先にもちこんで生活世界を構築している現状について検討する。また、移民の言語使用の実態から浮かびあがるホスト社会の移民への対応をアメリカや日本の事例を中心に考察する。とくに、ここ数年で顕在化するようになった移民をめぐる具体的な問題（テロ事件、差別、移民のこどもたちの言語習得等）を事例として、移民をうけいれるホスト社会のありかたについて検討していきたい。
こうした作業を通して、世界中で進行するグローバル化がもたらす問題を発見し、自分たちが生きている社会や文化について理解を深めることをめざす。

到達目標

- (1) グローバル化の影響で増加する移民の発生要因についての基本的な知識を獲得する。
- (2) 移民の日常的な実践について学び、ホスト社会や故郷の人びとに与える影響について考える能力を身につける。
- (3) 文化的背景の異なる移民について学ぶことで、自分たちが生きている社会や文化の価値観を相対化して眺める視点を獲得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	授業終了後に提出するレポート課題：60%
上記以外	40%	(1) 授業時のディスカッション：10% (2) 3回目、6回目、9回目、12回目の授業終了時に提出するコメントペーパー：30%

授業外学習

移民社会について他人事ではなく、自身が生きる社会の問題として捉えることができるように、日ごろからニュースや文献などによって情報収集をしておくこと。そのうえで、自分の問題意識を明確にしておくことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	移民社会論 B							担当教員	
講義コード	1400073	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号	337MUS302								

授業概要

現在、世界で2億人近い人々が国境を超えて移動する「移民」となっている。グローバル化の進行により、世界人口の流動化はさらに加速すると考えられる。それにともない、一定の「地域」といわゆる「民族」、そしてその「文化」を結びつける考え方を基礎とした国民国家の制度的枠組みでは、これからの世界のあり方を捉えきれなくなってきた。本講義では、移民の発生メカニズムや社会文化的状況などについて、日本やヨーロッパの事例から多角的に考察する。

到達目標

- (1) 移民という現象を通して、国民国家システムの流動化とグローバル化する世界の変動要因を理解する。
- (2) 多様性を織り込んだ新しい社会のあり方について主体的に考察する視点を養う。
- (3) 今後の多文化共生のあり方について知見を持つ。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

新聞やニュースで移民、難民関連の報道をチェックして現状を知るよう努める。報道や授業で扱った話題について図書館などで資料を探して理解を深める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	移民社会論C						担当教員	河 かおる / Borjigin Burensain / 根川 幸男
講義コード	1400074	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	337MUS303							

授業概要

日本人の海外移民の歴史について学ぶ。日本の近代史は、移民活動をめきにしては語れない。本学が位置する滋賀県も多くの移民を送り出した。日本人の移住先は、ハワイ、アメリカ本土やカナダをはじめ、メキシコ、ブラジルなどの中南米、朝鮮、満洲、中国本土、ロシア極東、樺太、南洋群島、東南アジア、オセアニアとひろい範囲におよんでいる。日本人が、いつ、どこへ移住し、どんな仕事についたか、移住先の地域の性格にどのような違いがあったかなどについて、概要とともに、いくつかの地域を取り上げて具体的に学ぶ。

到達目標

- (1)日本人の海外移民の歴史について概要を理解する。
- (2)特に朝鮮、満洲、中南米、北米への移民について、その特徴を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	期末プレゼンテーション 30% 期末レポート 30%
上記以外	40	小レポートなど 30% 振り返りレポート 10%

授業外学習

課題レポート

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	海を渡った日本人	岡部牧夫	山川出版社	978-4634545601
2				
3				

講義内容に関連する文献リストを授業で配付する

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	English Lecture A						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400091	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137LAC102							

授業概要

In this course, we will explore the topic second language acquisition (SLA). We will start by looking at some of the differences between learning a first and second language. Next, we will explore the history of second language teaching and learning, and how people have learned over time, including various popular approaches of recent years. Then, we will look at the factors which make a good language learner. After that, we will look at the 'systems' and 'skills' that are needed to master a second language. As learners of English and another foreign languages, the knowledge gained on this course should help students understand what it is required to become a good language learner.

到達目標

The goal of this course is both to learn about how second languages are acquired, and for students to apply this knowledge to their own language learning. Also, this course aims to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	45	Mid-term assignment: 10% Final writing assignment: 35%
上記以外	65	Weekly quizzes: 35% Participation: 20%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook for the course. Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture B						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400092	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237LAC203							

授業概要

On this course we will explore the history of the English language. The story of English begins with England and what is now the United Kingdom. We will start by looking at languages that preceded English in the British Isles. We will chart how various groups that invaded Britain brought parts of the English language with them, and how it evolved and grew over the centuries. Next, we will look at the varieties of English that developed within the UK and overseas in places like the USA and Australia. Finally, we will take a critical look at the spread of English as a global language. We will discuss the reasons why the current situation came to be, the benefits this might have for international communication, and also the way it threatens other languages around the world.

到達目標

The goal of this course is to learn about the story of the English language over the past 1500 years, build vocabulary for academic purposes, and to practice and develop important listening and note-taking skills for lecture courses.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	Mid-term assignment: 10% Writing assignment: 30%
上記以外	60	Participation: 20% Note taking: 10% Weekly quizzes: 30%

- If you are absent more than three times, you cannot receive credit for this course.
- If you are more than 30 minutes late for class, it will be counted as an absence.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The history of the English language	Viney, B.	Oxford University Press	978-0-19-423397-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture C						担当教員	Antonija Cavcic
講義コード	1400093	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237LAC204							

授業概要

This is not an English course, but a content course conducted in English. This course is about Japanese popular culture and its global impact. The aim of this course is not only to develop students' understanding of various aspects of Japanese popular culture, but ultimately, students will exercise their critical thinking skills and enhance their ability to hold discussions in English. They will reevaluate Japanese culture from different viewpoints and compare and contrast it with cultural trends in other countries.

到達目標

- (1) To clarify your position on the weekly topic and express your opinions
- (2) To read academic papers and find the key points of these articles each week
- (3) To undertake research about one of the topics and explore it in depth
- (4) To present your research findings in groups or individually
- (5) To demonstrate that you have understood the contents of the course and express your overall views

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) The evaluation of Goal 1 and 2: Article summaries and weekly reports 40% (2) The evaluation of Goal 3 and 4: presentations (conducted in Week 13,14) 30% (3) The evaluation of Goal 5: Final written exam 30%

If you are late and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attendance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you might have an academic reading assignment or video to watch which helps you understand the lecture. You are required to study by yourself in advance.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in the classes.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in the classes.

前提学力等

Some basic report writing skills and presentation skills are necessary.

履修資格

講義名	English Lecture D						担当教員	吉田 悦子
講義コード	1400094	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	237LAC206							

授業概要

This course provides an introductory analysis of meaning involved in the study of linguistics, and will primarily focus on basic ideas of semantics and pragmatics and the mechanisms of meaning that are vital to successful human communication. Most examples will be drawn heavily from Indo-European languages, particularly English, although examples from other languages radically different from English will also be introduced to illustrate the main points we will be covering.

到達目標

The purpose of this course is for students (1) to understand the mechanisms of meaning in words, sentences, utterances, and discourse, and (2) to be able to analyze, consider, and discuss meanings systematically by using the terminology of semantics and pragmatics. (3) The students will be able to develop their basic knowledge and understanding of the semantics and pragmatics by the group /class discussion on the answers/feedback of the practice exercises provided in the textbook.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	Final report:40% ((2)40%)
レポート課題		
上記以外	60	Class participation and contribution:20% ((1)10%; (2)10%) Pre-tasks:20% Post-tasks:20%

Those who misses 4 classes out of 15 will not be allowed to take the final exam.

授業外学習

Pre-tasks:20% Post-tasks:20%

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Material will be handed out in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Semantics: A Coursebook (2nd ed.)	James R. Hurford, Brendan Heasley, and Michael B. Smith	Cambridge University Press.	978-0-521-67187-3
2	『コースブック意味論』	J. R. ハーフオード(著); 吉田悦子他(共訳)	ひつじ書房	978-4-89476-568-9
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture E						担当教員	John Rippey
講義コード	1400095	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337LAC302							

授業概要

The subtitle and theme of this course is "Loving Nature." The course introduces outlooks, ideas and actual practices for living in a more environmentally sustainable manner. Course materials introduce traditional and contemporary approaches to environmentally friendly lifestyles, incorporating a cross-cultural perspective. Students become more familiar with attitudes and practices toward plants, animals, and natural environments in Japan, the United States, as well as other countries and cultures. As part of the coursework, students also innovate novel lifestyle approaches of their own. The course is centered on the question of how to live ethical, happy, and fulfilling lives in the accelerating environmental crisis.

到達目標

- (1) Students gain broader and deeper knowledge of the range of traditional and contemporary environmental practices and of how these can be adopted into their own lifestyles.
- (2) Students become more familiar with environmentally informed writing in various genres.
- (3) Students become more grounded in environmental ethics generally, in general, as well as more conscious of their individual codes of environmental ethics.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	Achievement of learning goal (3) is measured by quality of a final research project (describing firsthand interaction with nature) report.
上記以外	70%	Achievement of learning goal (1) is measured by quality of a midterm paper on a sustainable lifestyle project (30%). Achievement of learning goal (2) is measured by quality of weekly in-class response papers on reading

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture F						担当教員	Antonija Cavcic
講義コード	1400096	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337LAC306							

授業概要

This is not an English course, but a content course conducted in English. This course is about manga and how it reflects and has an impact on society. The aim of this course is not only to develop students' understanding of various genres and ways of storytelling, but ultimately, students will exercise their critical thinking skills and enhance their ability to hold discussions in English. They will reevaluate culture and different issues by critically examining manga and extracting meaning from it.

到達目標

- (1) To clarify your position on the weekly topic and express your opinions
- (2) To read academic papers and find the key points of these articles each week
- (3) To undertake research about one of the topics and explore it in depth
- (4) To present your research findings in groups or individually
- (5) To demonstrate that you have understood the contents of the course and express your overall views

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) The evaluation of Goal 1 and 2: Article summaries and weekly reports 40% (2) The evaluation of Goal 3 and 4: Group presentations (conducted in Week 14) 30% (3) The evaluation of Goal 5: Final written exam 30%

If you are late for a class and/or absent from a class four times, you will fail. Coming late and low attendance will do harm on your own learning as well as others' learning.

授業外学習

Before each class, you have a reading assignment. You need to read it as it helps you understand the lecture.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in the classes.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

You have no required textbook for this course. Materials will be distributed in class.

前提学力等

履修資格

講義名	English Lecture G						担当教員	間 永次郎
講義コード	1400097	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	437LAC308							

授業概要

This course deals with various problems surrounding the subject of “neo-colonialism”, a striking global phenomenon since the latter half of the twentieth century.

What is neo-colonialism? It can be defined simply as a form of economic exploitation, or as the ideology used by “developed” countries to sustain their exploitation of “developing” countries following the political decolonization of the 1960s.

In every session of this course, you will watch a documentary film or listen to a short lecture. You are required to voice your opinion after watching the film or listening to the lecture. At the end of every session you must write a comment paper.

到達目標

The three goals of this course are:

- (1) To acquire a broad knowledge and the ability to critically think about the global phenomenon of neo-colonialism and its various derivative forms of structural violence.
- (2) To enhance your capacity to imagine the sufferings of others from a global perspective beyond your national framework.
- (3) To improve your English speaking and writing skills in relation to the subject matter of this course.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	Term paper
上記以外	80%	(1) English comprehension and speaking level (40%): As mentioned above, you are required to speak your opinion about the film or the lecture delivered at the beginning of every lesson.

- (1) If you are absent four times, you will lose your course credit.
- (2) If you are more than 10 minutes late to a class, you will lose 10% of your total mark each time.

授業外学習

When reading materials are distributed in class, you must carefully read them in order to prepare for the next lesson.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Materials will be distributed in class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Small Is Beautiful: Economics as if People Mattered	E. Schumacher	Harper Perennial	185984393X
2	21 Lessons for the 21st Century	Yuval Harari	Jonathan Cape	9781787330870
3	Biopiracy: The Plunder of Nature and Knowledge	Vandana Shiva	South End	0896085562

前提学力等

履修資格

講義名	英語学概論						担当教員	中谷 博美
講義コード	1400102	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	137ENG103							

授業概要

英語学の低位領域のうち、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論の5領域を中心に基礎的な知識を身につける。加えて英語の歴史の変遷（古英語、中英語、近代英語）について音韻、形態、統語の観点から概観する。英語表現の構造理解に必要な基本的な知識を身につけ、英文を客観的に考察する力を身につけることを目指す。これに加え、英語で書かれた教科書を使用することで、論理的議論の展開を理解できる英文読解力も併せて養うことを目指す。

到達目標

- (1) 英語学・言語学に関する研究領域について理解する。
- (2) 各領域に関する言語現象に関心を持つ。
- (3) 各領域に関する内容について、英文を読んで理解し、まとめることができる。
- (4) 英語に関して疑問に思うことを調査研究し、まとめて発表することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標に示す(1)の観点について、50点満点の試験を2回実施して評価する。
レポート課題	30	到達目標に示す(2)(4)の観点について、調査研究発表および論文で評価する。
上記以外	30	到達目標に示す(3)の観点について、毎回の提出課題で評価する。 到達目標に示す(2)の観点について、レポート課題で評価する。

4回以上欠席したものは評価の対象としない。なお、特別な事情がないかぎり遅刻はすべて欠席としてカウントするものとします。

授業外学習

授業連絡・資料配布・課題提出をTeamsを通して行います。毎回の課題の提出をしっかりと行うこと。また、英語学という専門的科目を英文で書かれたテキストを利用して学習する科目です。理論的、抽象的レベルでの思考が求められるため、入念な予習は不可欠となります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	First Steps in English Linguistics 2nd Edition 英語言語学の第一歩	影山太郎ほか(編)	くろしお出版	978-487424-277-3 C3082
2				
3				

教科書は初回授業より持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

専門的内容を英語で書かれた教科書で学習するため、英文の基本構造を十分理解している必要がある。

履修資格

講義名	英語文献講読 A						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400103	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	3371LA303							

授業概要

Richard Rothsteinの"The Color of Law"を読むことによって、英文の読解力を高める。またアメリカ社会における有色人種への差別、偏見の問題への理解を深める。

到達目標

- (1) 英語の構文に慣れ、それを自然な日本語に訳すことができるようになる。
(2) アメリカ社会における人種差別の歴史と構造についての理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	テキストの精読、発表(原則毎回)を授業参加の条件とする。精読と、発表の状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The Color of Law	Richard Rothstein	Liveright	978-1-63149-453-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語文献講読 B						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1400104	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	3371LA304							

授業概要

Richard Rothsteinの"The Color of Law"を読むことによって、英文の読解力を高める。またアメリカ社会における有色人種への差別、偏見の問題への理解を深める。

到達目標

- (1) 英語の構文に慣れ、それを自然な日本語に訳することができるようになる。
(2) アメリカ社会における人種差別の歴史と構造についての理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	テキストの精読、発表(原則毎回)を授業参加の条件とする。精読と、発表の状況によって評価する。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The Color of Law	Richard Rothstein	Liveright	978-1-63149-453-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英米文学概論						担当教員	山本 薫
講義コード	1400107	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237LAC201							

授業概要

英米の主要な文学を通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。英語と英語社会の背後にある思想的・文化的源流を辿り、その歴史的变化を学ぶ。英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。毎回の授業では、英米の代表的な文学作品を取り上げ、時代背景の中で作家・作品を位置づけ、映画化された作品も用いながら理解を深める。授業では原典からの抜粋を用いる。受講生は翻訳でもかまわないので、取り上げる作品は読むことが望ましい。

到達目標

- (1) 英米の主要な文学を通覧し、英米文学の大きな伝統を把握する。
- (2) 英語と英語社会の背後にある思想的・文化的源流を辿り、その歴史的变化を学ぶ。
- (3) 英米の言語・文化の共通点だけでなく相違点についても考察する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	授業で取り上げた作品についてレポート
上記以外	40	シェイクスピアその他何人かの作家については、毎回ではないが複数回個別のレスポンスあるいはミニ・レポートを課す。

本人の責めに帰せない特別な理由がある場合を除いて、4回以上欠席したものは評価の対象としない(欠席が4回に達した時点で評価を受ける資格を失う)。

授業外学習

時代の雰囲気や背景を理解する、つまり、異文化理解のためにも、できる限り原典を原書あるいは翻訳で読み、映画化・ドラマ化されたものもなるべく観ること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Literature Ideas You Really Need to Know: From "Mimesis" to "Sexual Politics"	John Sutherland	松柏社	978-4-88198-769-8
2				
3				

初回授業に教科書を持参すること。一部オンラインの書店やフリーマーケットで安価で販売されている大学教科書の多くは「サンプル」品で、簡略

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。補助テキストはプリントあるいはパワーポイントにて配布あるいは提示する。

前提学力等

まずは、授業に関して、日本語での基本的な指示をきちんと理解できることが求められます。

履修資格

講義名	英米文学講読						担当教員	山本 薫
講義コード	1400108	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337LAC304							

授業概要

この授業では、2017年にノーベル文学賞を受賞した英国の作家カズオ・イシグロの短編を読み、アイデンティティ、過去（歴史）の過ち等イシグロの作品から読み取れるさまざまな問題について議論し、理解を深める。

*目標

正確な英文読解力・把握力をつける
（同時に、読み取った内容を日本語でも表現することで、思考力・表現力を磨く）

問題意識を持って文章を読み、問題提起し、議論を構成する力を養う

必要や要望に応じてイシグロ以外の小説家の作品も取り入れることがあります。

到達目標

- (1) 英文を正確に読みこなす。
- (2) 作品の歴史的背景を理解する。
- (3) 上記の読みと理解に基き、自分の考えをまとめ、発表する。
- (4) 議論を通じて、作品そのものに対する理解及び、異文化理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	30	各自の読みと授業中の議論をもとに、テーマを決めてエッセイを書く。 (1) どれだけ正確に作品が読めているか (2) テーマ設定がどれだけユニークか
上記以外	70	授業中の発表（予習をどれだけ丁寧にしているかを見ます）と議論（どれだけ自分なりに作品を理解できているかを見ます）への積極的な参加を評価する。

本人の責めに帰せない特別な理由がある場合を除いて、4回以上欠席したものは評価の対象としない（欠席回数が4回に達した時点で評価を受ける資格を失う）。予習ができていない場合出席点は与えられない。

授業外学習

日本語・英語を問わず、いろいろな作品を多読すること（レポートに加えて提出した場合、+ として成績に加味します）（対象作品等については授業中に指示する）

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストはすべてプリント配布あるいはPDFで提供。その他必要なテキストは授業中に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

中級以上の英文読解力と世界史の知識がある程度は必要ですが、それよりも海外の小説を読みたいという意欲があることが大事です。英文読解力と世界史の知識について不安がある場合は事前に問い合わせてください。

履修資格

講義名	欧米文化特論 A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1400221	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	337WOC301							

授業概要

欧米文化論Aが現代のドイツ文化を広く取り扱うのに対して、欧米文化特論Aはドイツ語の歴史の変遷をたどることでドイツ文化についての理解を深めることをねらいとしている。主としてドイツ語史、ドイツ文化史、ドイツ文学史、メディア学の観点からドイツの言語・文化・社会がどのように変化したかを概観し、技術の進歩や社会の変化が言語にどのような影響を与えてきたのかについて考える。また文化の担い手が交代してきたことや文化の中心地が移動したことがドイツ語の標準語の成立に果たした役割についても言及する。

到達目標

ドイツ語の歴史についての素養を身につける。また習得した知識に基づいて情報収集を行い、自分の考えをより正確にまとめる力を養う。具体的には以下のことを目標とする。(1) 講義内容を正しく理解し整理することができる。(2) 講義で扱ったテーマに関して、興味をもった事柄について詳しく調べた上で、その内容を口頭で説明することができる。また(3) その内容を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	(3) に関してはレポート(70%)の成績により評価する。
上記以外	30	(1) に関してはノートのコピーの提出(10%)、(2) に関しては口頭でのミニ報告(20%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。また、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

最初の授業で参考文献リストを配布するので、興味のあるテーマを見つけて、それらの関連図書を参照すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。プリントを配布する。配付資料はPDFファイルにして初回授業までにTeamsフォルダ内にも入れておくので、予習に役立てるこ

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総論ドイツ語の歴史	ヴィルヘルム・シュミット著 / 西本美彦 他訳	朝日出版社	978-4255002699
2	ドイツ文学案内	手塚富雄 / 神品芳夫	岩波書店	978-4003500033
3	物語ドイツの歴史	阿部謹也	中央公論社	978-4121014207

初回の授業で参考文献リストを配布する予定(Teamsでは初回授業の前に提供する)。

前提学力等

ドイツ語やドイツ史に関する基礎知識があり、それらの分野に対する関心があることが望ましい。また、3年次以降の履修が望ましい。

履修資格

講義名	欧米文化特論 B						担当教員	
講義コード	1400222	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337WOC302							

授業概要

「ことばと食」をテーマに、近代フランスの美食文化について講義を行う。今日、フランスがその高度な食文化を誇る背景として、食を様々な角度から語る「ことば」の豊富さが不可欠の要素として挙げられる。授業では食をめぐる様々な言説の歴史をたどり、歴史的知識を学ぶとともに、食について考えるための視点を養う。また授業で提示された主題の中から、自らの関心に最も合うものを見出し、それに関して自ら調べ、考えることも求める。

到達目標

- (1) フランス近代の美食文化の歴史について知識を得る。
- (2) 自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
- (3) 自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

注意：ミニ発表については、新型コロナウイルスの感染状況等の影響により、レポートによる評価へ切り替える可能性があります。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：プリント配布。参考書：橋本周子『美食家の誕生』（名古屋大学出版会）；八木尚子『フランス料理と批評の歴史』（中央公論新社）；

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考文献などは授業内で適宜、指示する。また必要なものはプリントにして配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化特論C						担当教員	山本 薫
講義コード	1400223	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337WOC303							

授業概要

基盤や根拠を失ったと言われる現代において、ポスト・ヒューマニズムの名の下に、「人間」以後の、「人間」の枠組みを越えたパラダイム（ある時代や分野において常識とされる物の考え方）が注目されているが、この授業では、そうした「人間」以後を思考する一つの手立てとして、これまでの哲学が問題にしてきた認識・真理・存在ではなく、「生成」や「生命」を切り口として、「人間」を越えたリアリティーの可能性を探る。（受講者には講義に基づいて学んだこと・考えたことを頻繁に発表してもらいます）

到達目標

- (1) 卒論にも役立つように、日本語で書かれた論理的な文章の意味を正確に理解する。
- (2) 西欧の思想・文化を理解する。
- (3) 上記の読みと理解に基き、自分の考えをまとめ、発表する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	40	授業中の議論をもとに、テーマを決めてエッセイを書く。 (1) どれだけ正確に評論が読めているか
上記以外	60	授業中の発表と議論への積極的な参加を評価する。

本人の責めに帰せない特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点でレポート提出の資格を失う）。予習ができていない場合出席点は与えられない。

授業外学習

ニュース等には目配りし、世界のどの地域でもかまわないので時事問題を考える習慣を持ってください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストはすべてプリント配布あるいはPDFにて提供。その他必要なテキストは授業中に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ドゥルーズ 解けない問いを生きる	檜垣立哉	ちくま	
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

この授業では、哲学や思想についての知識を持っていることは前提ではありませんが、いろいろな時事問題等について「考え」、発表することが求められます。

履修資格

講義名	欧米文化特論D						担当教員	John Rippey
講義コード	1400224	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337WOC304							

授業概要

This course surveys the history of the United States by exploring the historical experiences of four social groups: Native Americans, African Americans, laborers, and women. The course takes a cultural or people's history approach to the topic, focusing on the viewpoints of ordinary people and considering issues of ethnicity, race, class, and gender in American society. Students discuss readings and draw connections between historical phenomenon and contemporary events. Students write a research paper about a specific topic in American history of their own choice.

到達目標

- (1) Students broaden and deepen their knowledge and understanding of the history of the United States in general terms, and of the historical experiences of four groups of Americans (Native Americans, African Americans, working class Americans, and women) in particular.
(2) Students develop their ability to research, analyze, and interpret social and cultural issues for both historical significance and contemporary relevance, and to communicate their interpretations to others.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on weekly, in-class response papers to reading assignments and discussion topics.
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on a final research paper (40%) and presentation on the research paper (10%).

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	A Young People's History of the United States: Columbus to the War on Terror	Howard Zinn, adapted by Rebecca Stefoff	Seven Stories Press	978-1583228692
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論 A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1400225	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	137WOC201							

授業概要

歴史、社会問題、環境政策、芸術運動などをテーマに取り上げてヨーロッパの一員であるドイツをさまざまな角度から考察する。その際、ただドイツ文化の知識を得るばかりではなく、ものの見方を身につける練習をする。

到達目標

ドイツ語の文化圏について幅広い知識を身につける。文化をさまざまな視点から観察する力を身につけるとともに、授業で得た知識をもとに情報を収集し、自分の考えをまとめる力を養う。具体的には以下のことを目標とする。(1) 講義内容を正しく理解し整理することができる。(2) 講義で扱ったテーマに関して、興味をもった事柄について詳しく調べた上で、その内容を口頭で説明することができる。また(3) その内容を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	(3) に関してはレポート(70%)の成績により評価する。
上記以外	30	(1) に関してはノートのコピーの提出(10%)、(2) に関しては口頭でのミニ報告(20%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。また、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

興味のあるテーマを見つけて、積極的にその関連図書を参照して理解を深めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	《最新版》ドイツの街角から 素顔のドイツ その文化・歴史・社会 2021	高橋 憲	郁文堂	978-4261012743
2				
3				

教科書は参考書のような位置づけとします。Teamsフォルダ内に講義資料(PDFファイル)を入れる予定です。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代ドイツを知るための67章【第3版】	浜本 隆志 / 高橋 憲	明石書店	978-4750349664
2	ドイツ文化55のキーワード 世界文化シリーズ	宮田 眞治 / 畠山 寛 / 濱中 春 (編著)	ミネルヴァ書房	978-4623072538
3				

参考書は授業中に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	欧米文化論 A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1400225	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	137WOC201							

授業計画							
回数	テーマ	概要		予習 / 復習			
第1回	ヨーロッパにおけるドイツ	ヨーロッパ、EU、ユーロ圏、シェンゲン協定など、現在のドイツを取り巻く国際的な環境について学び、地理的な側面や制度的な側面か	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第2回	伝統 vs グローバル化 (1) 食文化	ドイツの食文化を例に取り上げて、ステレオタイプがどのような役割を果たしているのかを考える。また、EUの中でドイツが、どのように	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第3回	伝統 vs グローバル化 (2) マイスター制度	中世から続く伝統であり、ドイツのものづくりを支えるマイスター制度がグローバル化の中で規制緩和を余儀なくされ、どのように変容し	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第4回	伝統 vs グローバル化 (3) 教育制度 & ボラ	ドイツの教育制度についての基礎知識を確認した上で、PISAショックやポロニーヤ改革についても触れる。それに加えて、若者が利用でき	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第5回	未来に向けての取り組み (1) 環境政策	ドイツの住民運動、エネルギー政策、ゴミ問題について取り上げる。	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第6回	未来に向けての取り組み (2) 環境教育	ドイツの環境教育について紹介する。その際に、具体例として、フライブルクやハノーファーの環境教育施設の取り組みを取り上げる。	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第7回	歴史教育・歴史認識	過去を克服する取り組みについて焦点を当て、ドイツの歴史認識が戦後どのように形成されてきたのかを概観する。その際に、想起の場	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第8回	東西ドイツの分断と再統一 (1)	二つのドイツがどのように分断されて、再統一したのかを概観した上で、「ベルリンの壁の建設」と「逃亡」という二つのサブテーマにつ	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第9回	東西ドイツの分断と再統一 (2)	旧東ドイツの監視社会について紹介した上で、「オスタルギー」というドイツ再統一前の旧東ドイツの状況を懐かしむ社会現象についても	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第10回	移民と社会統合	少子高齢化と労働力確保は、どの国においても深刻な問題となっている。ドイツの移民政策や難民政策を紹介した上で、現在、EU諸国が直	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第11回	選挙制度	ドイツの選挙制度や政党、1998年以降の連邦議会選挙の結果について基礎的な知識を確認した上で、選挙が実生活に及ぼす影響について考	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第12回	祭事	ドイツの法定祝日や伝統行事について紹介する。	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第13回	デザイン	地域性がある建築物や「バウハウス」という芸術運動について紹介し、伝統と革新について考える。	90分	Teamsフォルダ内にある講義資料	12	ノートを整理した上で、授業で取り	12
第14回	まとめ (1)	ミニ報告 (1) : 第1回~第13回で取り上げた内容を踏まえた上で、履修者の皆さんにはミニ報告をしてもらいます。質疑応答の時間を設	90分	発表する学生はその準備をするこ	12	発表内容に基づいてレポート作成の	12
第15回	まとめ (2)	ミニ報告 (2) : 第1回~第13回で取り上げた内容を踏まえた上で、履修者の皆さんにはミニ報告をしてもらいます。質疑応答の時間を設	90分	発表する学生はその準備をするこ	12	発表内容に基づいてレポート作成の	12

担当者から

ただ授業を聞くだけでなく、授業で得た情報をもとにして、さらに自分で文献にあたって内容を深めてください。卒業論文のテーマ探しのヒントにもなると思います。

講義名	欧米文化論B						担当教員	長谷川 拓彌
講義コード	1400226	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	137WOC202							

授業概要

この授業では、フランス文化のいくつかの側面について学び、自身の選んだテーマを主体的に詳しく調べ検討をするための練習もしてもらいます。フランスとはどのような国で、どのような歴史をたどってきたのか、そうした背景をふまえ、フランスの文化がどのような特徴を持っているかを考えます。広範なテーマを扱うため、個々のテーマについての解説は概略的なものとなりますが、フランス文化全体を広く知ることを目標とします。

到達目標

- (1) 文化について学問的に考えることの面白さを知る。
- (2) 自らの関心の在処を知り、適切な資料調査を行ったうえで、それを論理的にまとめることができる。
- (3) 自らの関心事を、他人に説明し、その魅力を説得することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	期末レポートによって評価 (1) 文化について学問的に考えることの面白さを知る。
上記以外	50%	コメントシートの提出状況(20%) ミニ発表(30%)

- (1) 講義では学生と教員の対話を重視する観点から、コメントシートの記入を求めます。
- (2) ミニ発表は、受講人数をみて、個人またはグループによるものとします。
- (3) ミニ発表へのコメントを踏まえた調査成果を反映させた期末レポートの提出を求めます。

授業外学習

自身のテーマに沿ったミニ発表の準備を行ってください。授業を踏まえて文献調査をおこなうなど、主体的な学習が求められます。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は特に指定せず、講師が適宜プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考図書、その他資料について、授業中に紹介する。授業初回に、進め方や授業の内容について説明する。

前提学力等

フランス語もあわせて履修しているとなお理解が深まるため、望ましい。

履修資格

講義名	欧米文化論 C						担当教員	山本 薫
講義コード	1400227	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137WOC203							

授業概要

この授業では、19世紀の末以降の英国の小説の中で描かれる英国文化のさまざまな側面と特異性をヨーロッパ大陸の文化と比較しながら議論し、理解することを目指す。必要に応じて、映画化された英国小説もあわせて用い、映像を通して理解を深める。

到達目標

- (1) 19世紀の末以降の英国の小説・映画の中で描かれる英国文化の（授業計画で挙げた）さまざまな側面についての議論を通して、「英国人気質」(Britishness)について理解する。
- (2) (1)で考察した英国文化の諸側面を、ヨーロッパ大陸の文化と比較しながら相対化しつつ理解を深める。
- (3) 「英国人気質」(Britishness)考察を通して異文化理解、また自国文化の理解についてそれぞれ独自の考えを構築する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	講義を基に理解したEnglishness' ('英国性'、'英国人気質' etc.)について自主的に調べたことも交えつつ論じる。詳細は授業中に指示する。
上記以外	60	授業に対する理解度と自分なりの英国像が構築できているかを確認するためにリスpons・ペーパー（数回程度）を集める

特別な理由がある場合を除いて、4回以上遅刻・欠席したものは評価の対象としない（遅刻・欠席回数が合わせて4回に達した時点でレポート提出及び評価を受ける資格を失う）。

授業外学習

異文化理解のためにも、授業中に紹介する文学作品や映画をできる限りたくさん読んだりみたりすることを勧める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは必要に応じてすべてプリントあるいはPDFとして配布・配信するか、パワーポイントで提示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示する。

前提学力等

レスポンスペーパーでの論述のために基本的な日本語能力が必要です。英語と西洋史の知識が必要です。

履修資格

講義名	欧米文化論D						担当教員	Antonija Cavcic
講義コード	1400228	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137WOC204							

授業概要

この科目の目的はアメリカの歴史、ダイバーシティ、平等、憲法、社会構造などを学ぶことによって現在のアメリカ社会の問題を見極め、その解決を見通す視野を培うことです。アメリカインディアンとアフリカ系アメリカ人の歴史についての見識を広げる受信力と、その知識をもとにアメリカ社会の課題を提起する発信力の両方を磨きます。そうしたなかで、アメリカ人の歴史をめぐる知見を養うと同時に、情報の整理力・論理的分析力・批判的思考力・問題解決力・専門書講読力といった学術スキルも高めていきます。過去と現在という時間軸と、アメリカと日本という空間軸をつなぐことが当科目の価値です。アメリカ留学を目指している人・アメリカ留学をひかえている人・アメリカ留学を経験した人には特に有益な学びの機会になるはずです。授業の全て（宿題含む）は英語のみで行われます。

到達目標

- (1) To clarify your position on the weekly topic about American history/society
- (2) To read academic papers about American history/society and find the key points
- (3) To undertake research about one of the topics related to American history and explore it in depth
- (4) To present your research findings about one of the topics related to American history in groups or individually
- (5) To demonstrate that you have understood the contents of the course and express your overall views

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	上記以外 100 (1) The evaluation of Goal 1 and 2: Weekly reports 40% (2) The evaluation of Goal 3 and 4: Group or solo presentations (conducted in Week 13, 14) 30%

4回以上遅刻または欠席した受講生は評価の対象にしません。参加型の授業は遅刻や欠席によって自らとクラスメイトの双方の学習効果を損なうからです。

授業外学習

毎回の内容を復習し、来週のテーマについてネットで検索し、少し読んでくれれば大前提です。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Academic Encounters Level 2 Student's Book Reading and Writing and Writing Skills	Jessica Williams	Cambridge.	9781107457584
2				
3				

Academic Encounters Level 2. Student's Book Reading and Writing. ISBN. 9781107457584

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Academic Encounters Level 2. Student's Book Reading and Writing. ISBN. 9781107457584

前提学力等

前期の欧米文化論の履修が望ましい

履修資格

講義名	海外留学						担当教員	学科教員
講義コード	1400261	単位数	12	開講期	通年	授業方法	演習	
ナンバリング番号	2371CC901							

授業概要

世界がグローバル化していく中、英語をはじめとする外国語の運用能力、また様々な価値観の並列する中で、互いを理解するためのセンスを磨くことがますます重要となっている。留学は、その中で実践的なコミュニケーション能力を習得し、国際感覚を身につけるといふ点において大きな教育的効果が期待できる。そのための事前学習の中では、留学に必要な行き先の言語の習得は勿論、それぞれの社会の持つ文化、習慣等の尊重など、異文化理解に関する基本的なルールを理解し、体得する必要がある。また留学後には、報告会開催やレポート提出などにより、学生それぞれが自身の体験についての省察を深めてゆくための働きかけをする。

到達目標

- (1) 留学先の大学で語学力を向上させる。
- (2) 海外での生活を通して、実践的なコミュニケーション能力を身につける。
- (3) 異文化理解に関する倫理的な要請を理解し、体得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	

留学帰国後、「海外留学単位認定申請書」に必要事項を記入し、ゼミ指導教員の確認印をもらい、CommunicationLoungeに提出する。トータルの滞在期間、ミニレポートの提出状況等を学科において総合的に判断し、概ね1か月1単位を目安として認定する単位数を学科で決定める。

授業外学習

留学中にレポート課題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

留学先大学が求める語学力をクリアしていること。

履修資格

講義名	海外留学						担当教員	学科教員
講義コード	1400261	単位数	12	開講期	通年	授業方法	演習	
ナンバリング番号	2371CC901							

授業計画

【留学前】留学の意義、海外滞在中に気を付けるべき点、留学中の課題などに関する説明を受ける。
 【留学中】ゼミ指導教員の指示に従い、「海外留学」単位認定にかかる課題（ミニレポート）を提出する。
 【留学後】「海外留学単位認定申請書」に必要事項を記入し、ゼミ指導教員の確認印をもらい、提出する。トータルの滞在期間、ミニレポートの提出状況等を学科において総合的に判断し、概ね1か月1単位を目安として認定する単位数を学科で決める。

担当者から

講義名	開発人類学						担当教員	
講義コード	1400262	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	3371LA306							

授業概要

本講義では、途上国に対する開発援助の実践を現地の人々の視点から論じていきます。そもそも途上国への開発援助はなぜ必要なのでしょうか。そしてそれにはどのような方法があるのでしょうか。発展途上国などで行われている開発計画や開発援助計画に我々はどのように関わるべきでしょうか。この講義では、具体的な事例をもとに開発が現地の人びとに及ぼした影響に目を向け、「開発をする側」ではなく「開発をされる人びとの側」からの視点からの理解を深めることを目指します。なお、受講生の理解を深めるため、テーマに関連する映像資料を適宜、使用します。

到達目標

- (1) 開発援助の手法と理論について知る。
- (2) 「開発をされる人びとの側」の視点から開発について理解を深める。
- (3) 開発人類学の特色について知る。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	定期試験の結果 (60点満点)
レポート課題	40	毎回の授業時に提出してもらったコメントペーパーの内容 (40点満点)
上記以外		

1/3以上欠席した場合は評価の対象にしません。

授業外学習

新聞やテレビ、インターネット等を通して、授業テーマに関する情報に接するよう心がけてください。また、授業では、しばしば過去の授業の内容に触れるので、復習をして授業内容に対する理解を深めておいてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

なし。代わりに講義時に配布するプリントを使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『開発援助と人類学』	佐藤寛・藤掛洋子 (編)	明石書店	9784750334103
2	『実践と感情：開発人類学の展開』	関根久雄 (編)	春風社	9784861104695
3	『グローバル支援の人類学』	信田敏宏・宇田川妙子・白川千尋 (編)	昭和堂	9784812216095

授業中に適宜、紹介します。

前提学力等

文化人類学に関する科目を履修していることが好ましい。

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（国際）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1400361	単位数	2	開講期	通年	授業方法	実習	
ナンバリング番号	137BAC101-C							

授業概要

滋賀県の歴史、文化、生活を対象とする実習。テーマごとに班編成をし、事前学習、現地でのフィールドワークをおこなう。最終プレゼンテーションでは、実習の成果を英語で発表する。

到達目標

- (1) 文献調査、現地調査、聞き取り調査を体験し、文献収集とフィールドワークの基本を身につける。
- (2) 地域の歴史、文化、生活に対し、興味・関心を持つようになる。
- (3) 個人だけでなく、グループによる調査を行う能力を身につける。
- (4) 調査結果を発表する能力を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習への参加状況、議論への参加、最終的なプレゼンテーションの状況によって総合的に判断する。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

前期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。
後期に2回以上のNice Conversation プログラムへの参加が必要です。

履修資格

講義名	環琵琶湖文化論実習（国際）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 呉 凌非 / 山本 薫 / 河 かのる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1400361	単位数	2	開講期	通年	授業方法	実習	
ナンバリング番号	137BAC101-C							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	ガイダンス	班分けをし、全体の計画について説明する。	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第2回	班別学習（1）	事前学習	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第3回	班別学習（2）	事前学習	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第4回	班別学習（3）	事前学習	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第5回	班別学習（4）	事前学習	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第6回	班別学習（5）	事前学習	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第7回	班別学習（6）	事前学習	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第8回	班別実習（1）	現地でのフィールドワーク	3	
第9回	班別実習（2）	現地でのフィールドワーク	3	
第10回	班別実習（3）	現地でのフィールドワーク	3	
第11回	班別実習（4）	現地でのフィールドワーク	3	
第12回	班別実習（5）	現地でのフィールドワーク	3	
第13回	班別実習（6）	現地でのフィールドワーク	3	
第14回	班別実習（7）	現地でのフィールドワーク	3	
第15回	班別実習（8）	現地でのフィールドワーク	3	
第16回	班別実習（9）	現地でのフィールドワーク	3	
第17回	班別実習（10）	現地でのフィールドワーク	3	
第18回	班別実習（11）	現地でのフィールドワーク	3	
第19回	班別実習（12）	現地でのフィールドワーク	3	
第20回	班別実習（13）	現地でのフィールドワーク	3	
第21回	班別実習（14）	現地でのフィールドワーク	3	
第22回	班別実習（15）	現地でのフィールドワーク	3	
第23回	班別実習（16）	現地でのフィールドワーク	3	
第24回	班別実習（17）	現地でのフィールドワーク	3	
第25回	班別学習（7）	最終プレゼンテーションの準備	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第26回	班別学習（8）	最終プレゼンテーションの準備	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第27回	班別学習（9）	最終プレゼンテーションの準備	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第28回	班別学習（10）	最終プレゼンテーションの準備	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第29回	最終プレゼンテーション（1）	英語で成果発表を行う。	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1
第30回	最終プレゼンテーション（2）	英語で成果発表を行う。	2	担当教員が指定する教材、資料、課 1

担当者から

講義名	基礎演習（国際コミュニケーション）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1400421	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	2371CC201							

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。
年度はじめの学科オリエンテーションにおいて詳しく説明する。

到達目標

- (1) 各学問分野への理解を深める。
- (2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。
- (3) 研究、発表の方法について習熟する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表および討論への参加状況、学問の基本的的方法論への理解度によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎演習（国際コミュニケーション）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1400422	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	2371CC202							

授業概要

原則として基礎演習 から継続して同じゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこない、報告、発表する。
海外留学中の学生も履修し、インターネット等を通じて指導を受ける。

到達目標

- (1) 各学問分野への理解を深める。
- (2) 各人が大学において主体的に何を主題として研究を進めてゆくのかに関する問題意識をもつ。
- (3) 研究、発表の方法について習熟する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表および討論への参加状況、学問の基本的的方法論への理解度によって総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	研究演習 (国際コミュニケーション)						担当教員	学科教員/棚瀬 慈郎/呉 凌非/ 山本 薫/河 かおる/吉村 淳一/ Borjigin Burensain/John Rippey/Martin
講義コード	1400611	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	4371CC401							

授業概要

ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。各自の卒業論文のテーマを定め、論文完成へ向けての研究をおこなう。

到達目標

卒業論文の完成に向けての文献収集、調査研究を行い、実際に章立てをおこなってみる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表、討論への参加状況、また自らのテーマに対する取り組みの状況によって判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	研究演習 (国際コミュニケーション)						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1400612	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	4371CC402							

授業概要

ゼミ担当教員の指導のもと、卒業論文についての学習やフィールドワーク、また他のゼミ生、教員との討議をおこなう。各自の卒業論文のテーマを定め、論文完成へ向けての研究をおこなう。

到達目標

卒業論文の完成。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表、討論への参加状況、また自らのテーマに対する取り組みの状況によって判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	言語接触論						担当教員	呉 凌非
講義コード	1400632	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337LAC301							

授業概要

基本的には、異文化が接触すれば、言語の接触も伴い、その結果として、外来語が生まれます。異文化の接触を地層調査に類似する考え方で通時的に調査することで、外来語の発生についてみるすることができます。とくに日中間の文化交流が多く、外来語の発生も多いです。それらの外来語の発生の様相、そして現在日中両言語のなかでどのように使われているかなどを講義します。

到達目標

- (1) 言語学関連の基礎知識を習得すること
- (2) 外来語に関連する基礎知識を習得すること
- (3) 日中ことばの交流に関連する知識を習得すること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	20	
上記以外	10	

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書を使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の際に説明します。

前提学力等

履修手引きを参照のこと。

履修資格

講義名	現代英文法						担当教員	吉田 悦子
講義コード	1400633	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	237LAC202							

授業概要

この授業の目的は、英語の文を理解するのに必要な文法用語を用いて、具体的な文構造に照らしてその概念を理解して使い、コンテキストを踏まえて意味を解釈したり、なぜそのような意味に解釈されるのかを、文を超えた情報構造や談話的視点から説明できるようになることである。

到達目標

- (1) 英語で書かれた文法用語の意味を理解できる。
- (2) 英語の文構造を分析し、類似した語彙・表現の意味的違いを文法用語を使って説明できる。
- (3) 英語で書かれた説明を自分の言葉で言い換えることができる。
- (4) 「情報構造」やコンテキストが文理解に与える影響を理解できる。
- (6) 談話やテキストにおける文と文とのつながりを構造と関連づけて説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	学期末試験(1)-(5)
レポート課題	40%	毎回の授業の復習テスト(Forms活用)
上記以外	20%	授業内でのグループワーク、グループ発表

4回以上欠席したものは評価対象としない。理由のない遅刻はその程度に拘わらず欠席としてカウントする。

授業外学習

事前に教科書の該当箇所をを予習し、和訳およびその要旨を答えられるように準備すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	An Introduction to English Syntax	Jim Miller	Edinburgh University Press	978-0-7486-3361-6
2				
3				

その他、関連する教材は印刷媒体または、PDF電子媒体で事前に配布する。パワーポイント資料を用いて講義を行う。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Practical English Usage	Michael Swan	Oxford University Press	978-0-19-420241-1
2				
3				

前提学力等

2回生以降の英語圏への留学学生を念頭においた授業のため、1年次での履修は認めない。

履修資格

講義名	英語学基礎						担当教員	吉田 悦子
講義コード	1400634	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	337ENG302							

授業概要

本授業は英語圏への留学から帰国した学生を主たる受講対象として想定しており、講義およびディスカッションにはできるだけ英語を使用します。授業の目的は、共通語としての英語を研究テーマとして掘り下げる視点を提供し、具体的なデータをどう分析するかについて議論することです。受講者は、教科書の指定された章を予習として読みながら、キーワードについての定義や説明を求められます。授業の最後に、その内容を分かりやすく英文レポートにまとめ、英語でグループディスカッションと発表をすることが求められます。

到達目標

- (1) 共通語としての英語とは何かを説明できる。
- (2) 社会や対人関係から英語のコミュニケーションを説明できる。
- (3) 英語の文化や非言語コミュニケーションの役割を説明できる。
- (4) 英語のデータを言語学的視点から、英語の用語を使って説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80%	毎回の授業の復習テスト (Forms活用) 40% + 英語によるミニ・ペーパー40% いずれも(1)-(4)を含む
上記以外	20%	授業内でのグループワーク、グループ発表

4回以上欠席したものは評価対象としない。なお、特別な事情がないがぎり遅刻はすべて欠席としてカウントする。

授業外学習

徹底した予習を行い、読書指定箇所の内容を十分にお見込み理解しておくこと。プレゼン担当の場合は、必要に応じてパワーポイント、配布資料等を事前に準備し授業に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ベーシック新しい英語学概論	平賀正子	ひつじ書房	978-4-89476-554-2
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

本授業は英語圏への留学から帰国した学生を主たる受講対象として想定しており、グループディスカッションを英語で行い、練習問題の課題を英語でミニ・ペーパーにまとめることが求められる。

履修資格

講義名	日本語教育基礎						担当教員	安本 博司
講義コード	1400635	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137LAC101							

授業概要

この授業では、日本語教育の現状の理解、また日本語教育に関わる知識を増やし、それらを基に学生が主体的に授業に参加できる環境をつくっていく。具体的には、教案の作成、模擬授業などを通して、日本語教育の現場では、どのような教え方がされているのかを体験してもらう。

到達目標

- (1) 日本語学習者のニーズを知り、日本語教育の現状を理解する
- (2) 普段、話している、聞いている日本語を意識し、客観的に捉える習慣を身につける
- (3) 日本語を教えるための基礎、方法（教え方の一例）を学び、実践で使えるようになる
- (4) 日本語教育を通して、異文化理解、多文化共生の重要性を認識できるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	0%	
上記以外	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業での発表 40% ・日本語教育に関する知識を問う小テスト 10% ・平常点（態度、出席、授業への参加度） 50%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

1. 日本語教育に関する小テストを実施するため、授業の復習は必須である
2. 模擬授業前の各グループの準備状況いかにによって、授業外で準備が必要になることもある

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みんなの日本語初級 第2版 本冊	スリーエーネットワーク 編著	スリーエーネットワーク	978-4-88319-603-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	国際社会論						担当教員	
講義コード	1400685	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	3371LA309							

授業概要

20世紀後半以降、これまでの国民国家を基本単位とする世界のありようが大きく変わってきました。この変動はグローバル化と呼ばれるものですが、グローバル化はテレビやスマホのなかの話ではなく、私たちの日常生活にも深く影響を及ぼしているものです。たとえば、BTSに夢中になる人たち、リヴァプールやバルセロナのサッカーに魅了されるサポーター、排外主義者のデモ、着ているジーンズやジャケット、温暖化の深刻化や異常気象、バイト先の外国人の同僚、今朝飲んだコーヒー、SNSでのコミュニケーション、そしていま私たちにとって深刻な脅威となっているCOVID-19。これらすべてがグローバル化の現象といえるものです。

この講義では、グローバル化する世界の変化を歴史的に学び考えていきます。具体的には、グローバル化が進行するなかで、どのような現象や問題が起こっているのかを理解し、グローバル化する世界と日本社会を的確に認識するための社会(科)学の理論や概念を身につけることを目標とします。みなさんの暮らしのなかにある出来事を素材に、考えていくことで、日常をとらえかす作業をしていきましょう。

到達目標

- (1) グローバル化の歴史的な展開を理解する。
- (2) グローバル化に関する社会(科)学の諸理論、概念、問題設定を理解する。
- (3) 現代世界で起きている諸現象や問題、実践について、自らの暮らしや経験にひきつけて、国際社会論の視点から分析し、論理的に考察できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

講義中に学んだことを、キャンパス内での知識にとどめず、現在進行形のさまざまな社会問題や自らの暮らしや生き方にひきつけて、日々考えてほしいと思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、レジュメと資料を配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	国境の越え方	西川長夫	平凡社	978-4582763805
2	魂の労働 ネオリベリズムの権力論	渋谷望	青土社	978-4791760688
3	グローバリゼーションと植民地主義	西川長夫・高橋秀寿	人文書院	978-4409240816

参考書や参考となる映像資料等については、随時紹介します。

前提学力等

履修資格

講義名	国際関係論						担当教員	今西 貴夫
講義コード	1400861	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1371LA201							

授業概要

「国際関係」、「国と国との関係」と聞くと、自分には縁遠い言葉に聞こえる。しかし、国家が自動的に動いて他国との関係を作っていくのではなく、国家を動かす「人」が他国を動かす「人」とともに関係を作っているのである。つまり国と国との関係は、私たち人と人との関係の積み重ねであり、そこには様々な人間ドラマがある。また、現代では国家以外のアクターも複雑に絡み合っており、国際関係が動いている。このような国際関係について、その歩み、また先人たちが築き上げた理論を学び、現代の国際関係を「外交」を切り口に分野ごとに学んでいく。そして最後に、私たちにとって身近な日本を取り巻く国際関係と、最近話題の国際関係を取り上げて考察する。

到達目標

- (1) 国際関係論や外交の基礎知識を習得する。
- (2) 国際社会のダイナミックな変化を理解する。
- (3) 多様な外交政策を観る視点を持つことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	到達目標(1)についての理解と、到達目標(2)及び(3)についての自らの考えを問うためのレポート課題を課す。
上記以外	50%	・グループワーク40% ・平常点(出席、授業への参加)10%

授業外学習

新聞、テレビ、インターネットニュースなどの外交・国際問題に関するニュースをフォローし、授業で扱った内容と関連づけるようにすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、レジュメを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

国際関係を理解するために読んでほしいサイトのURLを授業中に紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	サブカルチャー交流論						担当教員	金 悠進
講義コード	1400911	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	3371LA308							

授業概要

サブカルチャーとは何か、そして文化とは何かについて講義をおこなう。特に欧米や東南アジア、日本の事例を中心に取り上げる。講義内では、音源や写真、映像資料を用いて「文化」のあり方について分かりやすく提示する。また、実際に映画や動画作品などを地域・歴史横断的に分析し、現代におけるサブカルチャーについて考える。毎授業時に提出してもらったコメントペーパーを通じて、受講者間での関心や疑問点を共有し、講義の中でも取り上げる。

到達目標

講義を通じて、「文化」とは何か、「サブカルチャー」とは何かということについて地域・歴史的な文脈を踏まえて理解を深めるほか、文化の存在意義について自ら意見を表明できるようになることが、講義の到達目標である。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	授業内容を理解しているか、自分の力で論理的に文章を書くことが出来ているかを評価する。
上記以外	40	毎授業時のコメントペーパーの内容に基づいて評価をおこなう。

授業外学習

授業外でも、文芸作品や音楽、映画などの鑑賞を通じて講義内容を振り返りながら考えを深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning A						担当教員	Martin Hawkes
講義コード	1400965	単位数	1	開講期	後期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137ENG901							

授業概要

学生がe-learningの教材ALC NetAcademy NEXT (総合英語トレーニング上級コース)を用いて取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEIC等のスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

履修にあたっては、必ず担当教員の研究室を訪れて履修に関する説明を受けること。

到達目標

達成目標の一例(入学時400点前後の学生の場合):

3年次末: 700~800点

4年次末: 800~900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

自律学習として、毎週2時間、1セメスター計30時間をかけてTOEIC対策に取り組む。学生の自由な時間帯にどこで学習をしてもよい。本授業は後期の開講であるが、履修登録を済ませライセンスを購入した時点から1年間、当該のオンライン教材を使用できる。新しいバージョン

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC NetAcademy NEXT (総合英語トレーニング上級コース)			
2				
3				

ALC NetAcademy NEXT (総合英語トレーニング上級コース)のライセンス(1年間有効)を大学生協にて申し込む。学生自己負担額1500円を支払って手

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning B						担当教員	John Rippey
講義コード	1400966	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137ENG902							

授業概要

学生がe-learningの教材ALC Net Academy Next(TOEFL ITPテスト攻略コース)を用いて取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEFLスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。
【2015年度より開講開始科目】

到達目標

達成目標の一例(入学時400点前後の学生の場合):
4年次末: 730~900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	単位は認定で、学習時間とその進捗状況によりなされる。

- 1 学生は学内で、あるいは、学外(家庭)から、e-Learningでの学習を週2時間行う。
- 2 クラス管理者(教員)は週末の金曜日(あるいは週明けの月曜日)の設定した時刻に、学生の学習状況を定期的にチェックする。
- 3 1セメスター15回、合計30時間の自律学習状況と、以下の4.5.にあるクラス管理者からの指導を受けての学習に対して1単位を認定する。単

授業外学習

- 4 クラス管理者は学生の利用状況(利用時間、学習内容)を把握し、毎回その状況について本学のポータルサイトで学生に連絡する。必要に応じて指示を出し、指導する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC Net Academy Next(TOEFL ITPテスト攻略コース)			
2				
3				

ALC Net Academy Next(TOEFL ITPテスト攻略コース)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語E-learning C						担当教員	Antonija Cavcic
講義コード	1400967	単位数	1	開講期	後期集中	授業方法	授業	
ナンバリング番号	137ENG903							

授業概要

学生がe-learningの教材ALC NetAcademy NEXT (TOEIC L&Rテスト730点突破コース)を用いて取り組む自律学習科目である。学内もしくは学外の端末からアクセスし、毎週2時間、1セメスター計30時間を学習する。目標とするTOEIC等のスコア得点の向上を目指す科目なので、4年間の学習計画を立てながら他の英語講義・講座と併せて、学生の主体的・積極的な取り組みが求められる。

履修にあたっては、必ず担当教員の研究室を訪れて履修に関する説明を受けること。

到達目標

達成目標の一例（入学時400点前後の学生の場合）：

3年次末：700～800点

4年次末：800～900点

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	コースの完了した内容次第で評価されます。不・可の判断です。

授業外学習

自律学習として、毎週2時間、1セメスター計30時間をかけてTOEIC対策に取り組む。学生の自由な時間帯にどこで学習をしてもよい。本授業は後期の開講であるが、履修登録を済ませライセンスを購入した時点から1年間、当該のオンライン教材を使用できる。新しいバージョン

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ALC NetAcademy NEXT (TOEIC L&Rテスト730点突破コース)			
2				
3				

ALC NetAcademy NEXT (TOEIC L&Rテスト730点突破コース)のライセンス(1年間有効)を大学生協にて申し込む。学生自己負担額(残った分)を支払っ

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ALC NetAcademy NEXT (総合英語トレーニング上級コース)

前提学力等

履修資格

講義名	Introduction to Academic English						担当教員	John Rippey
講義コード	1400981	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137ENG101							

授業概要

This course introduces students to the TOEFL ITP (paper-based) test. The TOEFL ITP is a test of academic English. Academic English is the language used in coursework at universities in English-speaking countries. The TOEFL ITP contains reading, grammar, and listening sections. In the course, students learn about the structure, content, and question types on the test. Students also do extensive practice exercises in order to strengthen their academic English skills.

到達目標

(1) Students increase their knowledge of and working familiarity with the content and characteristics (topics, vocabulary, grammar, question types) of the TOEFL ITP test.
(2) Students strengthen their performance on TOEFL ITP style exam questions, improving their receptive academic English skills.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	Achievement of learning goal (2) is measured by performance on a final exam: one part of the final exam is an achievement test; the other part is a proficiency test.
レポート課題		
上記以外	50%	Achievement of learning goal (1) is measured by performance on weekly quizzes on homework assignments.

More than three absences (for any reason) results in loss of course credit.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Longman Preparation Course for the TOEFL Test, The Paper Test with Answer Key	Deborah Phillips	Pearson Longman	ISBN 0131408836
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Debating Global Issues						担当教員	
講義コード	1400985	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237LAC205							

授業概要

On this course, students will prepare for, and participate in, the 2021 Japanese English Model United Nations (JEMUN) conference. This year it will be held ONLINE from Friday July 23rd to Sunday July 25th.

Participation in an English MUN is a very challenging, but rewarding, experience. Consequently, this course is recommended for confident speakers of English who are willing to work hard.

The dates of the preparation sessions will be organised in April, after discussions with participating students. I hope to hold eight preparation sessions before the conference weekend. A ¥4,000 conference needs needs to be paid by early May.

Please contact Martin Hawkes <hawkes.m@shc.usp.ac.jp> before registering for this course.

到達目標

The aims of this course include the following:

- To learn about global issues
- To understand the workings of the United Nations
- To conduct research on contemporary global issues
- To practise English discussion and debating skills
- To participate in an international environment with students from many countries

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no required textbook. Materials will be distributed in class and/or by email.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	政治経済学						担当教員	
講義コード	1401720	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	335S0C305, 3371LA305							

授業概要

経済のグローバル化が深まるなかで、格差の拡大や地球規模での環境問題が深刻化するなど、ひたすら豊かさを追い求め、経済成長を迫ってきた私たちの経済活動のあり方を見つめ直してみようという問題意識も広がっています。本講義では、こうした問題意識を背景に、「市場経済システム」とはどのような特性を帯びた経済活動のあり方なのか、また「資本主義的経済システム」はどのような特性を帯びているのか、さらに豊かさを追い求めてきた「近代」という時代を見つめ直すとするばどのような点に注目してゆくことになるのだろうかといった問題を考察してゆきます。本講義では、経済学の授業に触れる機会はこの講義だけという受講生にも配慮して、現代経済学の主流派の考え方についてまず簡単に紹介します。そのうえで、政治経済学の特徴を明らかにしながら、資本主義的市場経済システムの特性をあらためて見つめ直そうとしたマルクスやJ.S.ミル、さらにセンやポランニーなどを参照しつつ、私たちが暮らしている経済のあり方が常識として見つけ直す、つまり「相対化」し、かつてJ.レノンが歌ったように柔軟に「想像力」を膨らませてゆく姿勢や力を培ってゆきたいと思えます。その結果、受講者が、ひとつの答えに満足するのではなく、むしろ複眼で、さまざまな視点から現代経済の課題をめぐって考える力、習慣を身につけてくれることを期待します。

到達目標

- (1) 市場経済システムの特徴と、そうした特質ゆえの独自の運動のあり方について知識や理解力を培う。
- (2) 資本主義経済システムについて、人間にとって労働が持つ意味、「豊かな」社会、格差の世代間固定化傾向が孕む問題点という3つの側面から知識や理解力を培う。
- (3) 現代資本主義について、グローバル化や情報社会化がもたらしているもの、及び環境問題について持つべき視点をめぐって知識や理解力を培う。
- (4) 上記の(1)～(3)を通じて、その世界に暮らすことで当然のことと常識化してしまっている事柄について、あらためて複眼で、多様な視点から見つめ直し、柔軟に想像力を膨らませて、現代社会が直面する問題の解決に向けて回答を模索する力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

授業の際に、4,5回復習のためのミニレポートを課します。成績評価に加えますので、しっかり提出してください。また、時間の制約によって直接に授業の中で触れることは難しいと思いますが、下記の参考書の中で授業中に指示する箇所については興味深い記述が含まれていますので、そ

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代経済学史の射程	長尾伸一ほか	ミネルヴァ書房	9784623084371
2	おいしいコーヒーの経済論	辻村英之	太田出版	9784778313074
3				

教科書は使いませんので、各回の要点を短くまとめたプリント(パワーポイントスライドなど)を配布します。

前提学力等

履修資格

講義名	西洋史						担当教員	村上 司樹
講義コード	1401759	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1371LA204							

授業概要

この授業は、歴史と言う視点から見た、ヨーロッパ論の講義です。なお、歴史を学ぶことは、過去をただ暗記することではありません。そんなつまらない一夜漬けの課題ではなく、現在を深く知り、未来を見通すための知恵を磨くことだと思います。遠い昔を分かっていくことで、自分たちが生きている今についても、だんだんよく分かるようになる。つまり一種の異文化理解です（異文化の理解は自文化の理解につながる）。だから必要なのは、暗記力ではなく、知らないうちは否定から入らない態度。自分たちと異なる未知なるもの（ふつう「異常」に見える）を否定したくなる感情に、理性でブレーキをかけて自分を変えていくことです。受講生の皆さんには、単位が取れるよう頑張ってもらいたいですが、合わせて単位以上の何かも手に入れてほしいと思います。

到達目標

歴史という視点からヨーロッパとは何か説明できるようになる。歴史的視野をもって、現在を見たり、未来を考えたりできるようになる。具体的・論理的な考え方、語り方を身に着ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	全15回の授業が終わった後、テスト期間に行う。論述1問、持ち込み可。具体的、論理的に書けているかどうかで評価する。具体的、論理的な書き方は、第1回目の授業から折に触れて説明する。
レポート課題	30	学期の途中で課題を出す。具体的、論理的に書けているかどうかで評価。課題と同時にマニュアル、「レポートの手引き」（基礎編、実践編の2種類）を配布する。
上記以外	30	毎回のレスポンス・ペーパー。具体的、論理的に書けているかどうかで評価する。具体的、論理的な書き方は、第1回目の授業から折に触れて説明する。

毎回の授業後にレスポンス・ペーパーを提出してもらいます。が、強制ではありません。つまりこのレスポンス・ペーパーを、「毎回だるい課題を押しつけられるピンチだ」と捉えて嫌そうな顔をするか、「毎回こつこつ点数を取れるチャンスだ」と捉えて目を輝かせるか、すべてはあなた次第。大学の授業と言うのは、良くも悪くも「大人の学び」、自分次第なものだ（「自由」とも「自己責任」とも言える）と思います。

授業外学習

プリントを読むときは手を動かす（アンダーラインを引く、印をつける、メモを取る）。これに加えて、予習・復習でプリントを読む回数と時期について、二言三言。すなわち、読む回数は最低でも2回、授業当日と次回授業の前日。県立大の入試を乗り越えた皆さんならご存知でしょう

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使いませんが、例えば「自分は世界史を履修していなかったので知識がありません」という方は、高校の教科書や以下に紹介する参考書を

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学で学ぶ西洋史 [古代・中世]	服部良久・南川高志・山辺規子	ミネルヴァ書房	978-4623045921
2	ヨーロッパの歴史 欧州共通教科書	フレデリック・ドリュージュ（木村尚三朗監修・花上克己訳）	東京書籍	978-4487761708
3	子どもたちに語るヨーロッパ史	ジャック・ル・ゴフ（前田耕作監訳・川崎万里訳）	筑摩書房	978-4480092465

「知識が足りない」「同じ疑問から脱け出せない」という人ほど参考書を読みません。負のループは断ち切りましょう。各回の個別内容についての

前提学力等

くりかえしますが暗記は不要です。しかし例えばスポーツ観戦でも、ルールや選手について豊かな知識を持っている方が適切なコメントや奥深い感想を語る事ができますし、なにより本人自身がゲームを楽しめます。ですからどうぞ手間暇を惜しまず、参考書を手にとってください。高校世界

履修資格

講義名	卒業研究・論文（国際コミュニケーション）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1401826	単位数	4	開講期	前期研究	授業方法	演習	
ナンバリング番号	4371CC403							

授業概要

発展演習I・II、研究演習I・IIでの指導と研究を踏まえて、各自の設定した課題についての研究をする。
7月下旬に進捗発表会にてそれまでの成果を発表する。

到達目標

研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現を備えた卒業論文を書き上げる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	4月から7月にかけての進捗状況を進捗発表会にて報告する。 成績評価は「合否」を与える。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究・論文（国際コミュニケーション）						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 呉 凌非 / 山本 薫 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1401828	単位数	4	開講期	後期研究	授業方法	演習	
ナンバリング番号	4371CC404							

授業概要

「発展演習Ⅰ・Ⅱ」、「研究演習Ⅰ・Ⅱ」、「卒業研究・論文Ⅰ」、での指導と研究を踏まえて、各自の設定した課題についての研究を深め、その成果を論文として提出する。

*

到達目標

研究内容や主張を効果的に他者に伝えるため、適切な構成と文章表現を備えた卒業論文を書き上げる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出された論文に対して、学科で定めた「卒業研究審査基準」に基づいて 審査をおこなう。 成績評価は「合否」を与える。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論A						担当教員	河 かおる
講義コード	1401865	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	137MUS201							

授業概要

単一民族国家であると理解されがちな日本について、多文化社会という観点から理解する。先住民族、在日コリアンの歴史と現状、1980年代のインドシナ難民受入と今日の難民受入問題、ブラジル人を中心とした日系人、外国人技能実習生と「外国人材」、結婚移民者、ケア労働など、テーマごとに扱っていく。その中で、滋賀県の事例を紹介しながら地域における多文化社会の形成についても理解を深める。

授業計画は、一部順序が入れ替わるなど変更の可能性があります。講義の初回にシラバスを示します。

到達目標

- (1)日本を多民族・多文化の観点から理解する。
- (2)在日外国人の歴史と現状について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	期末レポート
上記以外	60	小レポートなどの課題50%、振り返りレポート10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	在日外国人－法の壁、心の溝	田中宏	岩波書店	978-4004314295
2	にほんでいきる 外国からきた子どもたち	毎日新聞取材班 編	明石書店	9784750351193
3	在日朝鮮人 歴史と現在	水野 直樹 著，文 京洙 著	岩波書店	9784004315285

講義内容に関する文献リストを授業で配付する

前提学力等

履修資格

講義名	多文化社会論B						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1401866	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137MUS202							

授業概要

本講義は中国の少数民族自治区の一つとしての内モンゴルと「モンゴル世界」の一部としての内モンゴルの多角的な側面を見ることによって、「モンゴル」の多様化と、中国の周縁の少数民族居住地域の社会動向を把握しようとするものである。それらを通して多民族、多文化社会である中国周縁地域の複雑な状況を講義する。

到達目標

「モンゴル世界」の多様化した現実を紹介することによって「モンゴル=遊牧」というステレオタイプからの脱却を目指したい。また内モンゴルの成り立ちを通して中国の少数民族問題に対して一定の認識を持たせたい。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末試験に必ず参加すること。
レポート課題	30	レポート課題の提出とその内容による評価
上記以外	30	三分の二以上の出席が必要。また、レスポンスカードによる積極的な質問も評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	チベット語基礎						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402061	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237FRL160							

授業概要

チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。

到達目標

チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業での発表状況、習熟度によって評価する

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代チベット語会話	ロサン・トンデン	カワチェン	9784902464016
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

原則、後期のチベット語基礎 を引き続いて受講できる者。

履修資格

講義名	チベット語基礎						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402062	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237FRL161							

授業概要

チベット語の文字、発音、基礎的な文法を習得し、会話の練習や、チベット語文献の講読をおこなう。

到達目標

チベット語による基本的な会話が可能となること。また自分で辞書を用いてチベット文が読めるようになることを目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業での発表状況、習熟度によって評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代チベット語会話	ロサン・トンデン	カワチェン	9784902464016
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

チベット語基礎 を既に受講済みの者に限る。

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1402081	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	137CHN130							

授業概要

本授業は中国語 Aおよび中国語 Bの単位を取得した学生を対象に、中国語 Aおよび中国語 Bと並行開講され、既習の文法知識（基本文型）を整理・復習しながら、実用的な会話を中心としたテキストに沿って、大量の練習問題を解いて行きます。

到達目標

- (1) 簡単な文章を読み、書くことができるようになる。
- (2) 簡単なコミュニケーションがはかれるようになる。
- (3) 中国語検定試験4級に合格できるレベルに到達できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	仲間で話そう中国語 初級から中級へ	徐 送迎	朝日出版社	ISBN978-4-255-45320-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション B						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402082	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137CHN131							

授業概要

この授業は学生が中国語 A・Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連 性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるといった流れで進めていきます。

到達目標

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語 B、中国語 Bを履修した上で、本科目を履修することが望ましいです。

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション A						担当教員	Borjigin Burensain
講義コード	1402083	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	237CHN230							

授業概要

本授業は中国語 A、中国語 B、中国語コミュニケーション Aおよび中国語コミュニケーション Bの単位を取得した学生を対象に、初級レベルの能力の維持・強化を図り、実用的なコミュニケーションを中心とした中級レベルの到達を目指します。

到達目標

- (1) 中国語 Aおよび中国語 Aで学んだ文型が口頭で表現できるようになる。
- (2) 少し複雑な表現ができるようになる。
- (3) 比較的容易な読み物の内容を辞書を引きながら理解できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100%	到達目標(1)(2)(3)について、筆記試験を行う。(100%)
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	仲間で話そう中国語 初級から中級へ	徐 送迎	朝日出版社	ISBN978-4-255-45320-0
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語コミュニケーション B						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402084	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237CHN231							

授業概要

この授業は学生が中国語コミュニケーション Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75	定期試験のでき具合に基づいて評点します。
レポート課題	25	出席、授業態度、課題などを総合的に評点します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語コミュニケーション Bを履修していることが望ましいです。

履修資格

講義名	中国語留学対策						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402087	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237CHN232							

授業概要

この授業は創作会話を中心に内容を組み立てます。毎回異なるシチュエーションを設定し、受講生みずから中国語で作文し、それを発表します。それを通して、文法を学び、使う表現と使わない表現を区別し、会話能力を高めると同時に作文力とリスニング能力の向上も目指します。

到達目標

- (1) 中国語による作文力を高めること
- (2) 中国語会話力を鍛えること
- (3) 中国語語彙を増強すること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題	20	
上記以外	10	

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて授業中に指定します。

前提学力等

教員が判断します。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション A						担当教員	崔 眞善
講義コード	1402151	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	137KOR140							

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Aで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。TOPIK (1~2級)合格レベルを目標に、会話表現を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK (1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK (1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 決まり文句以外の表現を用いてあいさつなどができ、丁寧な依頼や誘いはもちろん、指示・命令、依頼や誘いの受諾や拒否、許可の授受など様々な意図を大まかに表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	作文、読解など留学に必要な語学能力の評価
レポート課題	30%	授業内容の復習
上記以外	20%	口頭試験、作文能力の確認

会話中心の授業なので、3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

テキストの問題(宿題)単語、会話テスト(小試験)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語へ旅しよう	李昌圭	朝日出版社	978-4-255-55630-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・ B、朝鮮語 A・ B、朝鮮語コミュニケーション A・ Bを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・ Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション B						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1402152	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	137KOR141							

授業概要

朝鮮語 A・Bで学んだ語彙・文法を基礎にして、辞書を積極的に活用しながら朝鮮語（韓国語）を話す訓練をすることで表現力を身につける。あわせて朝鮮の文化に触れる。

到達目標

- (1) 朝鮮語の表現能力をつける。自分のことについて朝鮮語で表現できる。
- (2) 朝鮮語の質問に朝鮮語で答えられる。
- (3) 朝鮮語で作文する力をつける。
- (4) 特定のテーマに関して、朝鮮語のニュースや会話の内容が理解できる力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、論述式試験を行う。(10%) 到達目標(2)について、論述式試験を行う。(10%) 到達目標(3)について、論述式試験を行う。(10%)
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標各項目について、到達確認テストおよび授業中のパフォーマンスを通じて評価する。到達目標(1)15%、(2)15%、(3)10%、(4)20%。

欠席の場合、レポート提出などの代替課題を課することがある。

授業外学習

テキストの『文法と表現』
語彙や表現の予習・復習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	テーマで読む韓国語（中級～中上級）	金昌九・酒匂康裕	駿河台出版社	978-4-411-03123-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

聴解教材など、授業中に追加配布する教材がある。

前提学力等

ハングルが読めることと、最低限過去形までの文法事項を理解していること。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション A						担当教員	河 かおる
講義コード	1402153	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	237KOR240							

授業概要

映画や韓国のインターネットメディアの記事(音源・文字)をテキストにして、読解力・聴解力をつける。さらに映画や記事を通じて現代韓国のホット・イシューについての理解を深めると同時に、記事の内容について朝鮮語(韓国語)で意見を述べたり質問をしたりするコミュニケーション能力をつける。TOPIK(1~2級)もしくはハングル能力検定試験3級レベルを目標に、聴解と読解を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK(1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK(1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 単語の範囲にとどまらず、連語など組合せとして用いられる表現や、使用頻度の高い慣用句なども理解し、使用することができる。
- (4) パソコンのキーボードで朝鮮語のタイピングができる。
- (5) 私的で身近な話題ばかりではなく、親しみのある社会的出来事についても話題にできる。
- (6) 辞書を用いてニュースや映画のシーンを読解、聴解することができる。
- (7) 学習した記事の内容について、質問や意見を表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1) TOPIK(1~2級)レベルの文法を理解できる。 (2) TOPIK(1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
レポート課題	10	パソコンのタイピングで朝鮮語でレポートを書く
上記以外	60	発表 20% ・鑑賞した映画について感想や意見を発表できる。 小テスト 20%

授業外学習

毎回の予習
毎回の小テストの準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語能力試験 初級対策単語集	金珉秀	駿河台出版社	978-4-411-03047-4
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・B、朝鮮語 A・B、朝鮮語コミュニケーション A・Bを履修済みであること。もしくは、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語コミュニケーション B						担当教員	松井 聖一郎
講義コード	1402154	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	237KOR241							

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Bで学んだ語彙・文法を基礎にして、朝鮮語（韓国語）を話す訓練をすることで表現力を身につける。あわせて韓国・朝鮮の人々の文化やその思考に触れる。

到達目標

- (1) 朝鮮語の表現能力をつける。自分のことについて朝鮮語で表現できる。
- (2) 朝鮮語の質問に朝鮮語で答えられる。
- (3) 朝鮮語で作文する力をつける。
- (4) 特定のテーマに関して、朝鮮語のニュースや会話の内容が理解できる力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、論述式試験を行う。(10%) 到達目標(2)について、論述式試験を行う。(10%) 到達目標(3)について、論述式試験を行う。(10%)
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標各項目について、到達確認テストおよび授業中のパフォーマンスを通じて評価する。到達目標(1)15%、(2)15%、(3)10%、(4)20%。

欠席の場合、レポート提出などの代替課題を課することがある。

授業外学習

テキストの『文法と表現』
語彙や表現の予習・復習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	テーマで読む韓国語（中級～中上級）	金昌九・酒匂康裕	駿河台出版社	978-4-411-03123-5
2				
3				

朝鮮語コミュニケーション Bと同じ教科書である。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

聴解教材など、授業中に追加配布する教材がある。

前提学力等

朝鮮語コミュニケーション Bの履修、または同等以上の朝鮮語の実力があることが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語留学対策						担当教員	崔 眞善
講義コード	1402157	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237KOR242							

授業概要

朝鮮語コミュニケーション Aで学んだ口語表現を基礎に、決まり文句以外の表現を用いた会話、依頼、指示、命令、誘いやそれへの受諾や拒否の表現、慣用句、ことわざ、四字熟語などを学び、私的で身近な会話ばかりではなく、大学生活の中で想定される会話や、親しみのある社会的出来事についても話題にできるようにする。TOPIK (1~2級)合格レベルを目標に、会話表現を中心に学習する。

到達目標

- (1) TOPIK (1~2級)レベルの文法を理解できる。
- (2) TOPIK (1~2級)で求められる1700語程度の語彙が理解できる。
- (3) 決まり文句以外の表現を用いてあいさつなどができ、丁寧な依頼や誘いはもちろん、指示・命令、依頼や誘いの受諾や拒否、許可の授受など様々な意図を大まかに表現することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	作文、読解など留学に必要な語学能力の評価
レポート課題	30%	授業内容の復習
上記以外	20%	口頭試験、作文能力の確認

会話中心の授業なので、3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

授業内容を基本として応用表現も身につけるように練習すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語へ旅しよう	李昌圭	朝日出版社	978-4-255-55630-7
2	韓国語中級2講義ノート	李昌圭	白帝社	978-4-86398-182-9
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A・ B、朝鮮語 A・ B、朝鮮語コミュニケーション A・ Bを履修済みであること。もしくは、韓国語能力試験(TOPIK)2級、ハングル能力検定試験4級合格程度の力があること。朝鮮語コミュニケーション A・ Bも履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	通訳ガイド講座						担当教員	石井 隆之
講義コード	1402203	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	337LAC307							

授業概要

通訳案内士試験では、外国語の運用力とともに日本の歴史や地理、文化の知識も必要とされますが、合格すれば有資格の観光ガイドとしての道が開けます。また、国際協力やビジネス、さらに、通訳者や翻訳家、そして英会話教育の方面に進む場合でも、この資格は有利です。授業では、英語の通訳案内士を目指すに当たり、その基礎となる英文解釈力、英作文力、日本事象説明力という基本3能力を身に付け、さらに、英文解釈に必要な語彙力、英作文に必要な文法力、日本事象に必要な文化力(=日本文化の知識)に磨きをかけます。特に、今期は「日本の宗教」を日本事象の総合テーマとします。

講義は、奇数回が4時間目、偶数回が5時間目となっており、第3回以降第12回まで、原則として、4時間目は、英語(文法、解釈、作文)を中心に学習し、最終的に、英語ライティング能力の向上を図り、5時間目は、日本事象(講義、演習、スピーキング、プレゼンなど)を中心に、日本文化の知識を深めつつ、英語によるプロダクションの能力を培います。

講義の第13回目と第14回目には、日本文化などを中心とした発表(英語によるプレゼン)の機会も設けます。「オタワ」(面白く、ためになり、分かりやすい)授業を目指しますので、積極的な授業参加を希望します。

【2015年度より開講開始科目】

到達目標

- (1) 通訳案内士試験の概要を把握しながら、受験の準備ができる。
- (2) 通訳ガイドに必要な日本の地理や歴史、文化の概略を確認できる。
- (3) 通訳ガイド(英語)に求められる「英語による基礎的なコミュニケーション」ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	文法力 10% 英文解釈力 10% 英作文力 10%
レポート課題		
上記以外	60%	各回の課題への取り組み 20% プレゼン 20% 以上が到達目標(2)に関係する

3分の1以上を欠席をした場合(但し、公欠を除く)、レポート課題を出す。この課題の評点を、「各課題への取り組み(20%)」に組み入れる。公欠とは、忌引き、交通事情、診断書付きの病欠を指す。

授業外学習

1. 授業で出されたテーマに関する研究を宿題とします。無理のない分量の宿題にします。
2. 小テストは特に行いませんが、各回の授業で、演習(主として課題に取り組んだり、試験問題を解くこと)、または、実践的練習(ペアやグループ)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、授業中に資料プリントを配布する。授業の前半は、パワーポイントなどを用いることがある。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書などは、授業中に提示する。また、授業中に補足プリントを出すことがある。

前提学力等

本講座を受けるにあたって、TOEICスコアでは600点以上(英検では2級以上)が望ましいですが、将来的に通訳案内士の資格を取りたい学生、また、英語力を向上させたいという熱意のある学生は、TOEICスコアや資格に関係なく受け付けます。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1402281	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	137GER110							

授業概要

ドイツ語 と (全学共通教育科目) で身につけた文法の知識を活用し、読解練習、聞き取り、書き取り、作文を通じてさらに高度なコミュニケーション能力を総合的に身につけることを目指す。授業の進め方に関しては、音読および訳出の練習、文法事項の確認を行う。

到達目標

海外留学先での日常生活などに必要となるドイツ語の運用能力(「読む・書く・聞く」能力)を身につけることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って簡単な文章を読解したり、(2) 作文したりすることができる。(3) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(4) 朗読された文章を聞いて、指定された語彙を書き取ることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	(3) に関しては筆記試験(60%)の成績で評価する。
レポート課題		
上記以外	40	(1) に関しては読解練習(20%)、(2) に関しては作文(10%)、(4) に関しては聞き取り練習(10%)の成績で評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

ドイツ留学を計画している人は特に語彙や表現を積極的に増やしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2コンパクト 場面で学ぶドイツ語(CD&ワークブック付き)	佐藤修子/下田恭子/ハイケ・パーベンティン/ゲーザ・オーデル	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

ドイツ語 A/Bと共通。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業中に適宜紹介します。

前提学力等

ドイツ語 Aと B(全学共通教育科目)を履修していること。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション B						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1402282	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	137GER111							

授業概要

ドイツ語 と (全学共通教育科目)で身につけた文法の知識、語彙、表現を活用する。主として会話練習、聞き取りに重点を置いてドイツ語によるコミュニケーション能力を身につけていく。履修する学生の様子を見ながら授業をすすめていく。基本的に教師は授業中、なるべくドイツ語で授業を進め、できるだけドイツ語をたくさん聞いてもらうようにする。しかし、わからないことが出てきたら、そのままにせず日本語で納得するまで質問してほしい。教師はドイツ人であるが、日本語も十分できるので不安にならず、授業を楽しんでほしい。

到達目標

発音や文章表現・文法的な知識を習得する。ドイツ(ドイツ語圏)に留学することになっても困らない程度のコミュニケーション能力を習得させることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(2)参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(3)参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(4)参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(1)と(2)に関しては筆記試験(30%)の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(2)に関しては小テスト(10%)、(3)に関しては口述試験(30%)、(4)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:30%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スツェーネン2. コンパクト 場面で学ぶドイツ語 (CD&ワークブック付き)	佐藤修子 / 下田恭子 / ハイケ・パーペンティン / ゲーザ・オー	三修社	978-4-384-13090-4
2				
3				

ドイツ語 A/Bと共通。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション A						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1402283	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	237GER210							

授業概要

読解能力の向上を図るため、ドイツ語で書かれた一般常識に関する文章を精読する。既習のドイツ語文法の知識を活用して、事典などから情報を取り出す練習をする。その際、一般教養、時事問題、簡単なエッセイなどを題材とする。前半では日本文化に関するドイツ語の文章を取り扱う。後半では国内の社会システム、EUの組織、ドイツやヨーロッパの歴史などのトピックスをはじめとして、さまざまな分野から文章を選択し、文法知識の補強や読解力の向上だけでなく語彙力のアップをめざす。

到達目標

初級文法の応用ならびに中・上級文法の習得を目指す。また社会生活に必要な語彙力の向上を図る。内容面では現代社会における問題と取り組むための素養を身につけることや情報を短時間で的確に取り出す能力を磨くことを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。(1)ドイツ語で一般教養について書かれた文章を、辞書などを使って読解することができる。(2)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	(2)に関しては筆記試験(60%)の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	40	(1)に関しては読解練習(40%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

読解練習は予習を前提としているので、担当しない場合にも必ず予習をしてくること。その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しません。プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に紹介します。

前提学力等

ドイツ語I(A,B)、(A,B)(全学共通教育科目)を履修していること。またドイツ語コミュニケーション(A,B)を履修していることが望ましい(履修していることを前提としたレベルの授業内容となっています)。

履修資格

講義名	ドイツ語コミュニケーション B						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1402284	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	237GER211							

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ A、 B、 A、 B）やドイツ語コミュニケーション A、 Bで身につけた知識を応用し、より高度な会話練習を行う。また留学生活で必要となる表現を学習する。聞き取り練習、書き取り練習やスピーチの練習などを通じて日常生活を始めとしてさまざまな状況に対応できるようにドイツ語の運用能力を磨く。

到達目標

留学先の国で生活するのに必要なドイツ語の運用能力を身につける。より高度なドイツ語文法の知識を応用してただ単純な短い日常会話文だけではなく、コミュニケーションの相手の意見を正確に把握することをめざす。相手に自分の考えを様々なドイツ語の表現を組み合わせる論理的に伝えたりすることができるようになることを目標とする。具体的には、以下のことを目標とする。（ 1 ）習得したドイツ語の表現や文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（ 2 ）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（ 3 ）習得した文法の知識を活用してドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) と (2) に関しては筆記試験 (5 0 %) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	50	(2) に関しては小テスト (1 0 %) 、 (3) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習 : 4 0 %) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語 I (A,B)、 (A,B) (全学共通教育科目) を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーション (A,B) を履修していることが望ましい (ドイツ語コミュニケーション A/B を履修していることを前提としたレベルの授業となっている)。

履修資格

講義名	ドイツ語留学対策						担当教員	Anja Sliwa
講義コード	1402287	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	237GER212							

授業概要

全学共通科目のドイツ語（ A、 B、 A、 B ）やドイツ語コミュニケーション A、 B で身につけた知識を応用しながら、自分の意見をドイツ語で論理的に表現する方法を学ぶ。具体的には日常会話の練習を始めとしてディスカッションやプレゼンテーションの練習などを行う。留学先の大学の授業等で必要となる語彙や表現も学習する。ただし、留学を計画していない人のためにも、単純にスキルアップができるように授業は構成されている。

到達目標

大学の授業などで必要となる語彙や表現力なども実践を通じて学習する。ディスカッションやプレゼンテーションなど、大学の授業などで必要となる、より高度なコミュニケーション能力を身につけることを目指す。具体的には、以下のことを目標とする。（ 1 ）習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。（ 2 ）参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。（ 3 ）参照するものがなくても、習得したドイツ語の表現や文法の知識を活用してより複雑なドイツ語会話ができる。（ 4 ）参照するものがあれば、正しい発音やより高度なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	(1) と (2) に関しては筆記試験 (30 %) の成績により評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(2) に関しては小テスト (10 %)、(3) に関しては口述試験 (30 %)、(4) に関しては会話練習 (学生や教員とのペア練習 : 30 %) の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。

授業外学習

宿題や小テストは授業の様子を見ながら適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Themen Aktuell 2 (Lektion 1-5) Kursbuch + Arbeitsbuch	Aufderstrasse Hartmut/Bock Heiko/Mueller Jutta/Mueller	Hueber Verlag	978-3-19-181691-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

ドイツ語 I (A,B)、 (A,B) (全学共通教育科目) を履修していること。また、ドイツ語コミュニケーション (A,B) を履修していることが望ましい (ドイツ語コミュニケーション A/B を履修していることを前提としたレベルの授業となっている)。留学を計画していない人もドイツ語の運用能

履修資格

講義名	人間文化論 A						担当教員	中井 直也 / 印南 比呂志 / 森下 あおい / 京樂 真帆子 / 福渡 努 / 松嶋 秀明 / 佐々木 一泰 / 上野 有理 / 中村 好孝 /
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	133LVD102, 134NUT102, 135LAH2011, 37BAC102							

授業概要

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択された。そこで掲げられたのが「持続可能な開発目標（SDGs）」である。「誰一人取り残さない」社会の実現のため、17の目標を設定し2030年に向けて実行することが宣言された。

本講義では、このSDGsをキーワードとし、人間文化学部を構成する5学科（地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科）に所属する専門領域の異なる教員同士の対談や、学科を超えた学生同士の議論等を行う。これらの取り組みを通して、自身の専門とする学問領域と他の学問領域との関連性や相違点を確認しながら、自身の専門とする学問領域の独自性や可能性を探りつつ、総合的かつ多角的な視野から「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて考察を深める機会を提供する。

到達目標

- (1) 自身の専門とする学問領域と他の学問領域との関連性と相違点を検討することができる。
- (2) 自身の専門とする学問領域の独自性や可能性を探ることができる。
- (3) 総合的かつ多角的な視野から「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて考察することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	35	ワークショップ課題（詳細については講義中に説明する）
上記以外	65	講義中に提出するレスポンスペーパー（詳細については各回の担当教員より説明する）

追加の情報等がある場合には講義中に説明するので、必ず確認すること。

授業外学習

特にワークショップ関連の予習・復習にしっかり取り組むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、適宜、必要な資料を授業中に配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、授業中に紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論B						担当教員	櫻井 悟史 / John Rippey / 木村 可奈子 / 高木 純一 / 未定*
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103							

授業概要

テーマ：「交流する文化、交差するまなざし」
文化は、さまざまな歴史的な要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ながらそのオリジナルな形を変容させてゆく。本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげて、その交流や変容の問題について論じる。本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。

到達目標

文化の交流や変容の諸相について理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	ミニレポートもしくは小テストに対する採点
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その都度、紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論B						担当教員	櫻井 悟史 / John Rippey / 木村 可奈子 / 高木 純一 / 未定*	
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	漢字と東アジア世界	日本人にとっては日々当たり前を使う漢字。中国で生まれたこの表意文字は長く東アジア世界の共通の書き言葉であり、異なる言葉を母語	2	漢字が使われたことがある国を調べ 今回の授業内容を復習する。 2
第2回	朝鮮通信使	江戸時代の朝鮮通信使と日本人の交流や、通信使来日によって起きた朝鮮ブームで生み出されたモノや影響について見ていく。(木村可奈)	2	朝鮮通信使について概要を調べる。 2 今回の授業内容を復習する。 2
第3回	交流と「情」	今より国外への旅が容易ではない時代、異国の人々との別れに際し人々は「どのように」感情を現したのだろうか。感情の表し方から見	2	自分が旅先で出会った人との別れに 今回の授業内容を復習する。 2
第4回	コミュニケーションの社会学(1)友人関係	現代日本社会における友人関係について、社会学の視点から取り上げる。(櫻井悟史)	2	・自身の友人関係について考察して 1 ・講義内容を自分の言葉でまとめな 3
第5回	コミュニケーションの社会学(2)恋愛	現代日本社会における恋愛について、社会学の視点から取り上げる。(櫻井悟史)	2	・講義の終わりに次の回で扱うト 1 ・講義内容を自分の言葉でまとめな 3
第6回	コミュニケーションの社会学(3)メディア・	現代日本社会におけるメディア・コミュニケーションについて、社会学の視点から取り上げる。特にSNSやネット炎上を扱う。(櫻井悟)	2	・講義の終わりに次の回で扱うト 1 ・講義内容を自分の言葉でまとめな 3
第7回	「異文化交流」としての日本中世史	数百年前の「日本人」は、私たち現代の「日本人」とはまったく異なる価値観・世界観を持ち、まったく異なる社会を作り上げていた。彼	2	事前に指定する文献を熟読する。 2 講義内容をノート等にまとめる。 2
第8回	宣教師の見た戦国日本	時は大航海時代。日本には多くの宣教師たちが渡来し新たな文物をもたらした。宣教師と日本人との「文化交流」や、宣教師たちが戦国日	2	事前に配布する文献を熟読する。 2 講義内容をノート等にまとめる。 2
第9回	流浪の公家が見た戦国社会	戦国時代になると、貴族たちは荒廃した都を離れて列島を流浪した。各地の戦国大名や民衆との「文化交流」や、貴族たちが彼らに対して	2	事前に配布する文献を熟読する。 2 講義内容をノート等にまとめる。 2
第10回	日米詩比較(1)	Let's read and share our impressions of traditional Japanese winter haiku, and translate them into English. (John Rippey)	2	Consider haiku which you are 1 Review the learning materials 3
第11回	日米詩比較(2)	Let's read and share our impressions of well-known English poems of winter, and translate them into Japanese. (John	2	Consider English poems which you 1 Review the learning materials 3
第12回	日米詩比較(3)	Let's write and share our own original poetry of winter! (John Rippey)	2	Consider and begin writing two 1 Review the learning materials 3
第13回	言語と言語学(1)	人間のコミュニケーションについて学んで考えます。(吉田悦子)	2	1 3
第14回	言語と言語学(2)	人間のコミュニケーションについて学んで考えます。(吉田悦子)	2	1 3
第15回	言語と言語学(3)	人間のコミュニケーションについて学んで考えます。(吉田悦子)	2	1 3

担当者から

講義名	人間文化論 C						担当教員	宮本 雅子 / 松嶋 秀明 / 中村 好孝 / 遠藤 弘史 / 横田 尚美 / 未定 *
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	133LVD104, 134NUT104, 135LAH203							

授業概要

人間文化論Cでは「人間を取り巻く生活環境」に焦点をあて、生活環境に関わる諸問題について考える機会とする。生活環境は、人間の生活と生存にかかわる人的・社会的・自然的諸条件等からとらえることができる。そこで生活文化系3学科(生活デザイン・生活栄養・人間関係)教員のそれぞれの視点から、人間が心身ともに健康で快適に生活していくための諸条件について論じる。
この授業では、まず、住生活・衣生活における快適な環境条件について5回講義する(宮本・横田)。次に、現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を取りあげながら、健康を維持・増進するための食生活について5回講義する(生活栄養学科教員)。さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになろうとしているかという現代家族論を5回講義する(松嶋・中村)。

到達目標

(宮本・横田)(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす人体を含む環境への影響に関心を持つことができる。
(生活栄養学科教員) 現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を踏まえ、健康を維持・増進するための食生活について理解することができる。
(松嶋・中村)(1)家族をみるための視点を身につけることができる。(2)現代的社会問題を家族との関連で理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

各教員がそれぞれ授業中に課題を出すことがある。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	発展演習						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1402621	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	3371CC301							

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。

到達目標

卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や討論への参加の状況や、テーマ選択、研究状況について総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	発展演習						担当教員	学科教員 / 棚瀬 慈郎 / 吳 凌非 / 山本 薫 / 河 かおる / 吉村 淳一 / Borjigin Burensain / John Rippey / Martin
講義コード	1402622	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	3371CC302							

授業概要

テーマ毎に区分されたゼミへ所属し、ゼミ担当の教員から指導を受ける。各ゼミの掲げるテーマに対する学習やフィールドワークをおこなう。研究演習への前段階として、卒業論文のテーマ選択、学習を開始する。

到達目標

卒業論文のテーマを決定し、ゼミ担当教員の指導のもと、主体的に研究をおこなう。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	発表や討論への参加の状況や、テーマ選択、研究状況について総合的に判断する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Public Speaking						担当教員	John Rippey
講義コード	1402624	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237ENG204							

授業概要

In this course, students develop their ability to deliver speeches in English. Students first read about and watch examples of public speaking and then extensively practice their own speeches. In this course, students strengthen three kinds of public speaking: impromptu speeches, extemporaneous speeches, and formal speeches. These three types of speech differ in degree of preparation. In an impromptu speech, the speaker has little or no time to prepare. An extemporaneous speech involves some preparation, after which the speaker speaks relatively freely. A formal speech involves careful written preparation and even some memorization, but an apparently natural speaking manner. All three types of speech are commonly used in educational settings; the course offers preparation for study abroad experiences as well as general strengthening of English productive skills.

到達目標

- (1) Students acquire greater familiarity with elements of successful public speaking in English.
- (2) Students become able to engage in appropriate responses to the written manuscripts and public speaking of others.
- (3) Students put their newly acquired knowledge to immediate actual use through guided practice, strengthening their own public speaking skills.
- (4) Students develop their expository writing skills by generating manuscripts for public speeches of increasing length and formality.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Learning goal (1) is measured by quality of regular response papers to homework reading assignments (20%). Learning goal (2) is measured through quantity of written and oral peer feedback (10%). Learning goal (3) is measured through performances of speeches and quality of delivery on mid-term and

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション A						担当教員	長谷川 拓彌
講義コード	1402901	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	137FRA120							

授業概要

フランス語IAの履修を前提とした、初～中級のフランス語の授業です。前期半年間に学習した初級文法の知識をもとに、より実践的なシチュエーションにおけるフランス語運用を目指します。ある程度まとまった長さの文章を読解するとともに、簡単な会話の実践、聞き取りや書き取りを行います。文法知識の定着を図ります。

到達目標

- (1) フランス語初～中級程度の文章を理解できる。
- (2) 授業の予習・復習を通じ、自学の習慣を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	定期試験(50%) (1) フランス語初～中級程度の文章を理解できる。
レポート課題		
上記以外	50%	小テスト(25%) 毎回の課題提出(25%)

学期半ばに小テストを実施する。

授業外学習

毎回の授業の予習・復習を求める。単語や文法事項など、自分で可能な範囲のことはすべて準備してから授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パシヨネマン1(四訂版)	阿南 婦美代、セシル・モラン	第三書房	9784808620493
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

フランス語IAを履修済であることが望ましい

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション B						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402902	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	137FRA121							

授業概要

この授業で直ぐに使える便利な構造を学ぶ。
 様々な日常生活のシチュエーションから便利なフレーズや語彙を学んでいる。
 そして役割演技の練習と採点を行う。

到達目標

会話ができるようになることを目標とします。
 「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	役割演技 X 4 = 40 + 参加 = 10

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション A						担当教員	長谷川 拓彌
講義コード	1402903	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	237FRA220							

授業概要

フランス留学を視野に入れた、中級フランス語の授業です。
初級文法で学習した知識を用い、ある程度まとまった長さの文章を読解していきます。文法知識の定着を図りつつ、現代フランス社会の実情に関する知見も養います。
なお、進度については、受講生のみなさんの習熟度をみつつ調整しますので、下記【授業計画】に必ずしも沿わない可能性があります。

到達目標

- (1) フランス語中級程度の文章を理解できる。
- (2) 授業の予習・復習を通じ、自学の習慣を身につけている。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	期末テスト(50%) (1) フランス語中級程度の文章を理解できる。
レポート課題		
上記以外	50%	毎回の課題提出(25%) 小テストの実施(25%)

学期途中に、小テストを実施する。

授業外学習

毎回の授業の予習・復習を求める。授業で習う予定の課のテキスト全文の日本語訳を作成すること。単語や文法事項など、自分で可能な範囲のことはすべて準備してから授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	A la page 2020 -時事フランス語 - 2022年度版 -	石井洋二郎、ミシェル・サガズ	朝日出版社	978-4-255-35333-3
2				
3				

初回授業に持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜プリント配布する。

前提学力等

フランス語IA、IBを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	フランス語コミュニケーション B						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402904	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	237FRA221							

授業概要

この授業はフランス語コミュニケーション Bの続きです。
様々な日常生活のシチュエーションから便利なフレーズや語彙を学んでいる。
そして役割演技の練習と採点を行う。

到達目標

会話ができるようになることを目標とします。
「話す」練習をしながら「文法」を身につけます。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	役割演技 X 4 = 40 + 参加 = 10

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	なし			
2				
3				

コピーを使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	フランス語留学対策						担当教員	Gilles Fernandez
講義コード	1402907	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	237FRA222							

授業概要

このコースは、フランス留学を希望する学生だけでなく、フランス語の知識を深め、能力を向上させたいすべての学生とモチベーションが高い学生のためのものです。

次のテーマを学びます：

- 休暇中の活動と経験について話す
- 過去について、子供の時の思い出を語る
- 地理と天候について話す
- 手紙やはがきの返事を書く
- 将来の計画について語る

到達目標

四つの能力のうち、特に口頭表現力と書く表現力の強化を目標とします。

この授業で、より複雑な文章と自分の意見をより詳しく正確に伝える力の習得を目指します。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	
レポート課題		
上記以外	50	プレゼンテーション +

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Moi, je ... コミュニケーション	Bruno Vannieuwenhuyse ; Jean-Luc Azra	アルマ出版社	978-4-905343-03-5
2				
3				

コピーも使っている。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	文化人類学概論[文化人類学概論A]						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402960	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1371CC102							

授業概要

文化人類学は、異文化理解のための学問であると同時に、自文化理解のための学問でもある。国境を越えて様々な人々が行き交う現代、文化人類学が生み出してきた異文化理解の方法論は、ますます重要性を持つものだと考えられる。
 俗に日本の常識は世界の非常識という。「世界の常識」というものが存在するかどうかは不明であるが、皆さんの身の回りの「常識」は、果たして「常識」なのだろうか。
 本講義ではこうした「常識」の自明性について再考し、「あたりまえ」的思考からの脱却をめざす。進度に応じて多少の内容の変更の可能性が
 ある。

到達目標

- 1) 文化人類学の鍛えてきた基礎理論を学ぶことで、異文化理解の基礎的な方法を身に着ける。
- 2) まずは偏見を持たずに外国の文化と接するための基礎的なものの考え方を身に付ける。
- 3) 一見すると我々の文化とはかけ離れている遠い国や地域の文化の中に我々の文化と同じ普遍性を見いだす。
- 4) 我々日本人が持つ「正しさ」や「当たり前」が、必ずしも普遍的な価値を持つものではないことを理解する(日本の文化を相対的に眺めるという視点を身に着ける)。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	文化人類学の基礎的な理論についての理解、また基本的な用語や研究についての知識を問う
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

各回の該当する教科書の部分は、事前に読んでおくこと

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	文化人類学カレッジ版	波平恵美子	医学書院	9784260013178
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	文化人類学特論						担当教員	棚瀬 慈郎
講義コード	1402980	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	3371LA301							

授業概要

人間は、その文化に固有の宇宙観、生命観に従って、人間の誕生、性、死を意味づけてきた。講義の中では、豊富な文化人類学的資料を提示し、そういった普遍的な人間事象が各文化においてもつ意味を考察する。
また現代的な医療システムの浸透は、人間の生と死のあり方を大きく変化させつつあるが、現代における誕生、性、死の問題についても検討する。

到達目標

性、誕生、死といった人間の普遍的な事象を考察することを通じて、文化の特殊性と、人間存在の普遍性についての考察を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	授業中に紹介した文化人類学のタームや理論についての理解度を評価基準とする。
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ポストコロナル論						担当教員	間 永次郎
講義コード	1402991	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	3371LA307							

授業概要

本講義の目的は、一見見えにくいですが、私たちの日常生活に満ちている様々なポストコロナルな (= 植民地後の) 主題を見つけ出し、その解決の糸口を歴史的・理論的・実践的観点から考究していくことにある。過去に植民地支配下にあったアジア・アフリカの多くの国々はなぜ現在も貧困や教育の問題に悩まされているのか? なぜ、私たちは普段口にしてるスーパーの食品や身につけている衣服がどこで・どのように作られているのかを知らないのだろうか? 環境破壊の起源とは? このような問いについて授業で考え、学びを進めていく。

授業では、履修者の関心を見て、インド人の哲学者ヴァンダナ・シヴァ博士の『生きる歓び：イデオロギーとしての近代科学批判』（築地書館）、あるいは、ラジ・パテルの『肥満と飢餓 世界フード・ビジネスの不幸のシステム』（作品社）のいずれかを教科書として選び、各章についてプレゼンテーションを行ってもらう。

「授業計画」については授業の進み具合や履修状況を鑑みて、適宜前後・変更する。

到達目標

本講義は次の4点を学ぶことを目的とする。

- (1) 植民地主義がいかに現在の私たちの日々の生活と密接に関連する問題であるのかを学ぶこと。(現状把握)
- (2) 植民地主義の歴史を学ぶこと。(歴史理解)
- (3) ポストコロナリズムの理論を学ぶこと。(理論の習得)
- (4) ポストコロナルな課題を解決するための諸実践についての理解を深めること。(実践的知識)

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	期末レポート
上記以外	80%	プレゼンテーション (30%) 授業毎のコメントシート (50%)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	『生きる歓び－イデオロギーとしての近代科学批判』	ヴァンダナ・シヴァ	築地書館	4806723487
2	『肥満と飢餓 世界フード・ビジネスの不幸のシステム』	ラジ・パテル	作品社	4861822904
3				

購入は任意。読書箇所は、毎回の授業で私の方で準備をして配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	『ポストコロナリズム』	本橋哲也	岩波新書	400430928X
2				
3				

各自、本橋の『ポストコロナリズム』を読んでおくことをおすすめする。

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	翻訳文化論						担当教員	呉 凌非
講義コード	1402992	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	337LAC303							

授業概要

翻訳は単なる手作業の一つだと思われがちですが、日本の科学研究に大きく寄与してきた翻訳自体も学問としてとらえることの重要性がかなり認識されてきました。国際コミュニケーション学科の学生は翻訳文化論を通して翻訳の基本を知ることができるのみならず、国際感覚を身につけることもできます。この講義は人間による翻訳とコンピューターによる翻訳の比較をしながら進めていきます

到達目標

- (1) 言語学関連の基礎知識を習得すること
- (2) 人間によることばの翻訳に関する知識を習得すること
- (3) コンピューターによることばの翻訳に関する知識を理解すること
- (4) 宿題を提出すること 成績評価

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	20%	出席、授業態度、課題などで判断します。
上記以外	10	

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業の際に紹介します。

前提学力等

履修手引きを参照のこと

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーションA [モンゴル語コミュニケーション A]						担当教員	高橋 梢
講義コード	1403051	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	137MNG150							

授業概要

モンゴル語は、日本語と文法構造が似ており、日本人には非常に学習しやすい言語である。モンゴル語は、広義にはモンゴル国以外にも中国内モンゴル自治区やロシアのブリヤート共和国などでも話されている。本講義では、現在モンゴル国で使用されているモンゴル語標準語（ハルハ・モンゴル語）の基礎文法の習得をめざし、テキストのほか、具体例を挙げながら説明する。説明をしたあと、その基礎文法をつかった簡単な会話の練習を行う。また、リアルタイムのモンゴル事情について紹介し、現代モンゴル文化に対する理解を促進することをめざす。

到達目標

- (1) モンゴル語の基礎文法を理解し、辞書が適切に使えるようになる。
- (2) モンゴル語で簡単な挨拶ができ、コミュニケーション能力がつく。
- (3) モンゴル文化への理解が深まり、自分で積極的にモンゴル関連の情報収集ができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	基本的な文法が理解できているか。
レポート課題		
上記以外	50	確認小テスト：20% 授業への参加度：30%

授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

復習をしっかりとすること。
発音練習を繰り返し行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ニューエクスプレスプラスモンゴル語	橋本勝	白水社	9784560088524
2				
3				

教科書のほか、適宜プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代モンゴルを知るための50章	小長谷有紀・前川愛	明石書店	9784750340432
2	内モンゴルを知るための60章	ボルジギン・ブレンサイン	明石書店	9784750342238
3	モンゴルを知るための65章【第2版】	金岡秀郎	明石書店	9784750336220

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを自習に役立ててください。

前提学力等

モンゴル語、モンゴルという国・地域、その文化や歴史等に「関心がある」ことが望ましく、前提知識や学力は特に求めない。

履修資格

講義名	モンゴル語コミュニケーションB [モンゴル語コミュニケーションB]						担当教員	高橋 梢
講義コード	1403052	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	237MNG250							

授業概要

本講義では、モンゴル語コミュニケーションAに引き続き、テキストを使いながら基礎文法や会話、発音について説明する。現地のリアルタイムの情報を提供し、「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を伸ばす。

到達目標

- (1) モンゴル語の基礎文法を理解し、辞書が適切に使えるようになる。
- (2) モンゴル語で簡単な会話ができて、聴解力、コミュニケーション能力が高まる。
- (3) モンゴル文化への理解が深まり、自分で積極的にモンゴル関連の情報収集ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	基本的な文法が理解できているか。
レポート課題		
上記以外	50	確認小テスト：20% 授業への参加度：30%

授業時間数の3分の1以上を欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

復習をしっかりとすること。
発音練習を繰り返し行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ニューエクスプレスプラスモンゴル語	橋本勝	白水社	9784560088524
2				
3				

教科書のほか、適宜プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代モンゴルを知るための50章	小長谷有紀・前川愛	明石書店	9784750340432
2	内モンゴルを知るための60章	ボルジギン・ブレンサイン	明石書店	9784750342238
3	モンゴルを知るための65章【第2版】	金岡秀郎	明石書店	9784750336220

図書情報センターに、テキスト・参考書類はいろいろ置かれているので、それらを自習に役立ててください。

前提学力等

モンゴル語コミュニケーションAを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	ウイグル式モンゴル文字史料講読[モンゴル語史料講読]						担当教員	
講義コード	1403063	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	237MNG350							

授業概要

本講義では、内モンゴル自治区をはじめ中国領モンゴル人居住地域で従来から使用されてきたモンゴルの伝統的な文字 ウイグル式モンゴル文字で書かれたモンゴルの歴史に関する様々な文献を講読する。それにより、キリル文字を導入した1950年代以前のモンゴル国も含めたモンゴルの歴史や現代に関わる文献史料の講読を試みる。

到達目標

モンゴル帝国期からつくられてきたウイグル式モンゴル文字による遺産とその重要性について認識してもらい、モンゴル文字の歴史的経緯をある程度把握しておくことが目的。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験に参加すること
レポート課題	20	小テストや中間テストに参加すること
上記以外	30	三分の二以上の出席と積極的な授業参加を評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「アジア文化論A」「多文化社会論B」やモンゴル語関連授業を取っていることが望ましい。

履修資格

講義名	比較宗教論						担当教員	間 永次郎
講義コード	1403075	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	1371LA205							

授業概要

本講義では19世紀より始まった「(比較)宗教学」(=学問として様々な宗教を捉える営み)の歴史と理論を学ぶ。これにより、諸宗教を感情論ではなく知的にとらえる方法と問題点を学んでいく。世界の様々な宗教についての知識を習得し、諸宗教の平和的共存の可能性を考えていくことは、現代のグローバル時代における重要な営みである。本講義の学びを通して、世界に無数にあるように見える宗教が、多くの場合、歴史的に互いに密接に繋がっていたこと、そして、宗教は決して「必然的に」対立するものではないことを見ていく。
「授業計画」については授業の進み具合や履修状況を鑑みて、適宜前後・変更する。

到達目標

本講義の目的は以下の三点にある。
(1) 世界の諸宗教の系譜とエッセンスを学ぶこと。
(2) (比較)宗教学の歴史・理論・方法を学び、宗教を比較する際に陥りがちな対象の「序列化」と「実体化」の問題点を適切に理解すること。
(3) グローバル時代に必要な諸宗教の平和的共存の道について考察していくこと。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80%	小テスト(30%)：授業2～3回に一度、小テストを行う。 期末テスト(50%)
レポート課題		
上記以外	20%	平常点(出席状況、コメントなど)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回レジュメを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	宗教学を学ぶ	井上順孝	有斐閣	464118268X
2	グローバル化時代の宗教文化教育	井上順孝	弘文堂	4335160992
3				

井上の『宗教学を学ぶ』は授業内容と密接に関わるので、各自、精読しておくことをおすすめする。

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	国際文化論						担当教員	間 永次郎
講義コード	1403300	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	1371CC101							

授業概要

かつて植民地主義が横行していた時代と対照的に、「文化相対主義」(=異なる文化の価値を序列化せずに平等に尊重する思想)の考え方はもはや現在社会のスタンダード、あるいは、「常識」といえるような地位を占めるようになった。一方で、私たちは国内外の社会状況を見渡すと、すぐに異文化尊重の発想とは程遠い現実に出くわす(少数民族の排除、南北問題、人種差別、ジェンダー暴力など)。なぜだろう?

本講義では、文化相対主義の理論の特徴とその問題点の所在を、グローバル化(globalization)との関係の中から考察していく。具体的には、第一に、文化相対主義の発想が生まれた歴史的背景とその意義について学ぶ。第二に、20世紀後半以降のグローバル化の波に飲まれる中で、既存の文化相対主義の考え方がいかなる挑戦を受けているのかを見ていく。

「授業計画」については授業の進み具合や履修状況を鑑みて、適宜前後・変更する。

到達目標

本講義の目標は次の三点にある。

- (1) 文化相対主義の特徴とその理論の限界を理解すること。
- (2) 世界の多様な伝統文化の諸価値を知り、私たちの「常識」を疑って、既存の知の枠組みを広げること。
- (3) グローバル化の意味と問題点を多角的に学び、その問題点を解決するための道筋を探っていくこと。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	期末試験
レポート課題		
上記以外	50%	平常点

成績評価は、期末試験と平常点が50%ずつとなる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	人類学のコンセンサス	浜本満他	学術図書出版社	4873614325
2	グローバリゼーション	マンフレッド・ステガー	岩波書店	4000269046
3				

授業毎に主要な参照文献をリスト化する。

前提学力等

特になし。

履修資格

